

平成 3 0 年 度

「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）



阿久比町総務部政策協働課

目 次

□宮津公民館（横松、萩、宮津）	1
□英比小学校体育館（板山、福住、福住園高台、高根台）	1 7
□宮津団地老人憩の家（宮津団地、宮津山田、陽なたの丘）	2 4
□白沢区民館（白沢、白沢台、メイツ巽ヶ丘）	3 4
□草木公民館（草木）	4 3
□中央公民館（坂部、卯之山、阿久比団地）	5 2
□勤労福祉センター（阿久比、棕岡、矢口）	5 9
□大古根公民館（高岡、植、大古根）	7 2

平成30年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月8日（火）午後7時～午後8時41分
□会 場	宮津公民館
□参加者	町側10人、地区側27人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

皆さんこんばんは。今日は雨が降ってきましたが足元の悪い中、お仕事お疲れの後、お集まりいただきまして、町の未来づくり懇談会を開催させていただきましてありがとうございます。感謝を申し上げます。私の記憶でいきますと、宮津地区で行うときは雨が多いわけございまして、山車でも龍の山車が出るとよく雨が降ると言われておりますが、それとは関係ないと思いますが、今日も雨が降ってしまいました。

まず最初に私の方からごあいさつと町からの情報発信ということで進めさせていただきたいと思います。

まずもって、日ごろからの町政につきまして、地区の皆さま方そして町民の方、議員の先生方には大変お世話になる中で進めているところであります。全体的にザクッと見た中で言いますと他の市町と比べても遜色のない発展をしてきたと私たちも認識しております。これも企業また町民の皆さんの活躍のおかげであると日ごろから感謝しているしだいでございます。本来ですとここで難しいお話をするよりも、面白いお話をした方がよいと思いますが、阿久比町を知っていただくということと、時間が非常に限られておりますので、早口でしゃべることになると思いますが、よろしくお願いいたします。

まずは当初予算につきまして、今年はだいたい93億円の予算を組ませていただいております。1ページめくっていただきますと2ページ目に棒グラフが出ております。これが年間の今までの一般会計の推移を表したもので、平成27年度は101億から始まっておりますが、この100億を超えている時というのは、やはり新庁舎建設の方へお金を使っている時でありました。そして、昨年度は90億、そして今年は93億という予算を配分させていただき、今ある住民サービスを維持しながら頑張っているところであります。ただ財政的には、やはり自主財源で賄っているわけではなくて、厳しいものがございます。また表紙に戻っていただいて、重点施策、重点課題でございますが、重点施策がいろいろ書いてありますけれど、この中で真ん中あたりのごみ処理事業がございます。

5億4,969万円と書いてあります。これが非常に大きく伸びているわけでありまして。それはなぜかと言うと、私たちのごみを焼却している大府での新しい焼却炉、そのためにその配分と言いますか、阿久比町の分担金を出さないといけないということで、大きく伸びておりますし、今後もこのランニングコストは掛かってまいります。そして今どういう状況かと言いますと、新しいごみ処理施設というのは、今からの人口が減ってくることを見越した上で、現在燃やしているごみより量を少なく、燃やせる量を少なくしている。これはどういうことかと言うと、建設費を浮かせるためでもありますし、人口に見合った形に

造るということであります。そのためには、人口が減っていく過渡期の間は、私たちがごみを20%削減することが東部知多衛生組合の話し合いの中で決まってきました。すべての町がそれを目標に頑張っているということであります。そのために、各市町が平成29年度からごみ減量化の施策の1つとして、家庭系のごみ袋の有料化の導入の議論を進めよとなっています。皆さんが使っている黄色いごみ袋の価格を上げることによって、住民にごみの出す量を減らす意識を強めようという政策、これは常滑市が数年前に始めて、最近では知多市も行っています。だいたい皆さん方がごみ袋10枚入りを100円前後で買っていたらと思うのですが、それが知多市では500円、常滑市も500円、東浦町は来年度から500円にする予定で動いておりますが、阿久比町としては2年間猶予をもたせました。この2年間で20%の目標が達成できるのであれば、値段を上げなくてもいいのではないかとこの考えを政策的に考えております。しかし、それが達成できなかった場合には、この手法も取り入れるということ了他市町にも宣言しております。ですから、今からの2年間は、阿久比町としてはごみの減量化ということを地域あげて頑張っていたかなければ、結局家庭への負担も上がってくるということになります。そこで考えたのは、黄色いごみ袋にプラスチックごみを入れている方がまだみえる。そのプラスチックごみを資源の方へまわしていただく、透明なごみ袋の方へまわしていただければ、この2割削減が可能であると考えております。そのために今年度からプラスチックごみの袋を今の価格よりも半額程度にするように指示を出してあります。そうすることによって皆さま方がプラスチックごみを黄色いごみ袋に入れるより白いごみ袋に入れてもらえば、安く済むわけでありまして、家庭においても得をする。そして、阿久比町にとってもごみが減量化できるという策を今年はやっていきたいと思っております。ここではごみ処理事業で5億5,000万円ほどかかるということを入れておいていただきたいと思います。

それから耐震をやっていただくということで、いろいろとやってきましたが、古い家がそのままになっていることが多いと思っております。そういうことで家庭用耐震シェルター設置支援事業を今年度から始めました。これはシェルターを購入された場合、町がそれに対して補助をする制度を設けましたので、まずは自分を守るシェルター事業を進めさせていただきたいと思っております。

次に重点課題と書いてありますが、今阿久比町が抱える問題の大きなものがこの3つであります。下にあるごみの減量化は先ほど話をしましたが、もう1つは、今日のテーマ「学校と地域とのつながりについて」教育委員会が説明をしますが、新給食センターの建設事業ということで、場所は中学校の西の多目的広場のところへ、今の予算でだいたい18億円ぐらいの学校給食センターを新しく造り上げます。それを32年の9月に供用開始したいという方向で進めさせていただいておりますが、今年、国に予算をつけていただけませんでした。それで、連休前に部長と一緒に文部科学省へ行きて、どういことなのかと折衝に行ってきました。今、子どもたちへの食に対して、これだけ話題になっているにも関わらず、学校給食センターへの予算が、国の順位ではずっと低く、トイレの方が上にあります。学校設備での順位が決まっております、給食センターについては予算がないので、それは各自治体でやれということであります。それはおかしいでしょうということで、代議士さんと共に行って、私たちの考えを述べてまいりました。帰りに、突然でしたが、財務省に寄ってきました。今、文部科学省と財務省はマスコミにとってはすごいです。

財務省に50人以上のマスコミが陣取っていて、そこを通っていかないと私たちが行きたいところへは行けないぐらいでした。よく新聞で騒がれている問題があるからであります。なぜ、そこへ行ったかと言うと、財務省の主計局、つまり日本の全予算を握っている、東大出のスーパーエリートが集まっているそこに、阿久比町の今日は萩の区長さんがお見えですけれど、萩の方が、阿久比高校の4回生と思いますが、その総務課長さんになられています。総務課長さんといえば雲の上の人なのですが、その方がお見えになるということで、直接、アポイントなしで行ってきました。

快くあがって来ていいよということでしたので、部長と二人で行ってまいりました。そこで、隣の文部科学省の悪口を言いながら愚痴を聞いてくださいということで、いろいろ述べて、忖度してくれとあの場では使えませんが、それは言いませんでしたが、その方がいらっしゃった時の阿久比町とはこんなに変わってきて、今は児童が減るのではなくて増えすぎてしまって、850人の東部小学校は想像がつかない、あと2年経ったら1,000人になりますよと伝えるとびっくりされていました。その給食を賄うところがないからお願いに来たのに、文部科学省に肘鉄食らってしまったと話をしました。と言うのは、文部科学省は頭を下げて財務省に行くのですから、その時に課長さんが少しでも阿久比のことを頭に思っておいていただけるように、今の阿久比町の困っている状況について説明してまいりました。

そして、次に愛知県有料道路コンセッション阿久比パーキング事業であります。まず、7月18日に、今あった下り線のパーキングが開店します。アクアイグニスという会社が、有名シェフのお店の店舗をそこでまずは開店させる。そして、阿久比町が関連している上りパーキング、だいたい下りパーキングの向かい側ですが、上りパーキングを造る。それは道路に造るパーキング。そしてその後ろに、分かりやすく言うと刈谷のオアシスのような、公園などの土地に造る「愛知多の大地」という名前が付いていますが、それを担当しているのは大和リースという会社ですが、大和リースさんがそれを手がける。民間が行う事業ですが、もちろん阿久比にとっては農地の問題とか都市計画の問題とか道路の問題とかあるということで、阿久比町も公の部分での関わりということで進めていく。これはある意味、知多半島の観光に、阿久比町だけではなくて、知多半島全体の中心になる可能性があります。と申しますのは、国際展示場を空港の方へ建設をしておりますが、その部長さんが前は阿久比のパーキングを担当していた部長さんです。そういう関係もあって、空港へ来る方たちをどうしたらパーキングへ寄ってもらうか、大名古屋から30分圏内のところの阿久比パーキングをどうするかという意味で、いろいろなご商売のチャンスにもなりますし、阿久比の名を売ることにもあります。いろいろな意味で、今まで阿久比町に無かった形のものを動かし始めたというのがこのパーキングであります。これも最初はあと14年たつと知多半島道路は無料化になる予定でした。愛知県では一番の稼ぎ頭でした。これを知事さんは民間へ運営権を渡すことによって、より発展させたいという考えがありましたので、無料化はなくなってしまいました。その代わりにあのパーキングを造ってほしいと、私どもが強く要請し、それがコンセッションが選ぶ条件に合ったということでありますので、なんとしても阿久比町としても成功させたいということで、さし当たって重点課題は、今言った新給食センターの建設事業、愛知県有料道路コンセッション阿久比パーキング事業及びゴミの減量化、この3点が一番であります。

時間が無くて申し訳ないですが、次の１ページ目は私の施政方針を述べてありますので、見ておいていただきたいと思います。やはりここでは、子どもへの教育、子育てという部分に対しても書いてありますが、今年は、何といても「この町で、笑顔は大きくなる」というのがキャッチフレーズでありますので、老いも若きも笑顔がもてるような町にしていきたい、そのように思っております。

次に、皆さま方は新聞で見られたと思いますが、４月１２日阿久比成長率トップという記事がでました。これはいろいろと誤解を生んでおりますので、少し説明させていただきます。１枚の資料としてあると思いますが、これは県内市町村民所得と書いてあるので、自分たちの家庭の所得が増えたのかと勘違いする。そうではなくて、これは国内総生産と同じようなもので、阿久比町の中でできた富の成長率ということで、阿久比町が４２．８％前年から伸びた。何が原因かという、１つはデンソーの中にあるデンソーウェーブとデンソーエレクトクスという会社が経営統合したことです。本社機能も阿久比にあり、情報通信機械ということもありますし、非常に生産価値が伸びた。それを２８，６００人の人口で割ったら、こういう数字が出る。これは阿久比町が出した数字ではありません。愛知県がすべての付加価値というものを、難しい計算方式のようですが、それで出してきた結果がこのような４２．８％。２位の豊山町、これはＭＲＪの飛行機を作っているので、当然ここは目に見えて伸びていて良いと思いますが、それ以上に１０％も上をいく成長率ということで、一躍阿久比町が出ました。この中にも書いてありますが、人口一人当たりの所得は飛島村が７３５万円でトップ、飛島村は人口が５，０００人も満たない小さな村でありまして、そこに種子島で使っているロケットの三菱重工とかいろいろと大きな会社がありますから、それを人口で割りますとこの金額になる。では、阿久比町はどうかというと、阿久比町は３６４万円ぐらい、飛島村の約半分ですね。少ないなと思いますが、しかし、名古屋市を入れた５４市町村のなかで、順位でいくと上から数えて１３番目になる。これはまさしく各家庭の平均所得でありますので、それだけ阿久比町は大企業があまり無い中でも、これが伸びているということは、町民の所得、サラリーマンなどが頑張ってくれて、かなり良い水準にきていると思います。とにかく市まで入れた中での１３位というのは、やはり元気のある町だと他の町から言われるゆえんだと思います。それが今年は数字としてはっきりと表れてきたということでございます。

最後に人口のことについてお話させていただきます。皆さまには、人口の釣鐘型のグラフの資料を見ていただきたいと思います。この上のグラフを見ていただくと、釣鐘型のグラフで団塊の世代の方、６５歳から７０歳のあたりが大きく膨らんでいます。これはご存知のように団塊の世代の方が非常に多かったということで、その後ずっと減ってきて、もう１つ、３０歳代４０歳代にまた膨らみがあると思います。これは本来ですと、団塊の世代の人たちのお子さんの年代です。阿久比町はこのようになっていますが、日本はどうなっているかというと、全国ではここは少ないです。このように膨らみはきません。これが今の少子高齢化の１番の問題になっている。団塊の世代の子どもさんが少なかったということです。それが自分たちが高齢になったときに、面倒をみてもらう人たちが少ないということが表れている。阿久比町の場合は、これを陽なたの丘などの阿久比町へ新しく入ってくる方たちがカバーしてくれました。まさしくこの人たちが税金を納めてくれる生産者年齢人口というところです。この人たちが頑張ってくれているおかげで、阿久比町は他の

市町に比べれば安定的に運営がされているということでもあります。そしてそれが2045年になりますと、だいたいデコボコが収まってきます。続にいう釣鐘状の形と言いますけれど、そのような形になってくる。と言うのは1番いいのは全部がドラム缶方式のような寸胴になれば、高齢者の人たちを次の代が面倒をみて、また次の代の子どもが面倒をみるという形で、行政としては非常に運営しやすい サービスも安定してくるという形になります。そういう意味ではこのグラフを見ていただくと、阿久比町は他市町に比べれば、少子高齢化の中にあっても優等生の方になるのではないかなと、私も認識しております。

(高齢化について)

各地区の高齢化率、少子化率について説明

5月4日の読売新聞に出た消滅予想都市人口減が拍車しているという記事で、前にもありましたが、5年前と比べたところ8割の713の自治体が加速しているということです。その間、国も私たちも一生懸命過疎化対策をやってきましたのですが、この流れは止まっています。驚くのは、消えていくのは奈良県が非常に多いです。人口が少ないところというのが、山に囲まれているせいか、奈良県が多い。私は思うのですが、邪馬台国をつくって、日本の国ができ始めた、1番最初のところが、1番最初に人口が減って、村や町が消えていくという、歴史の不思議さというものをなんとなく感じていますが、阿久比町では絶対にそんなことをさせてはいけませんので、何とか今の水準を維持したい。ないしは、今の水準から1割ぐらい少ないところで維持できるように、これからも行政としては頑張っていきたいと思っておりますので、皆さま方のご支援、力添えを頂戴したいと思います。時間になりましたので、私からのごあいさつと将来に向けての話などいろいろとお話させていただきました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

「学校と地域とのつながりについて」(配布資料に基づき教育部長説明)

こんばんは、教育委員会教育部長の田中と申します。よろしくお願いいたします。

今年度の未来づくり懇談会での懇談会テーマは「学校と地域とのつながりについて」ということで、これからの阿久比町のまちづくりにおいて、学校と地域とのつながりを高め、青少年の健全育成と地域力の向上に努めていきたいとの考えのもと、今年は「学校と地域とのつながりについて」のテーマとなっております。

本日は、皆さんと意見交換を行い、今後の参考にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(資料「平成30年度 阿久比町学校教育の重点施策」について説明)

阿久比町教育委員会では、毎年阿久比町の教育指針を定めております。皆さんは教育委員会がどんなことを目指しているのか、分かりにくいことがあると思いますが、阿久比町では幼保小中一貫教育をうたっております。その中で、資料の上の方で囲ってありますけれども、『自らを律し、自ら実践していく生徒「生きる力」を身につけた生徒』。こ

の生きる力とは「社会で役立つ学力、社会で生きていく上で必要な人間性、社会で生きていく上で必要な健康と体力」こういうものを生きる力として、身につけた生徒や子どもたちを育てていこうというのが、阿久比町の「めざす生徒像」という形にしております。その中で下の方に四角い枠で囲ってあります、平成30年度の阿久比町学校教育の重点施策のテーマとしましては、「全ての大人が関わって学舎を支えよう 地域から園・学校へ、みんなの力で育てよう～阿久比学園構想の実現～」ということで、今年度の教育委員会の教育指針としております。最近では、子どもたちの学力・学習意欲の低下や、規範意識の欠如、心の揺れや荒れ、そして、いじめ・不登校など、学校を取り巻く教育課題は山積となっているのが現状であります。

今年の初めには、阿久比中学校の生徒が電車で飛び込むという残念な事件もありましたが、阿久比町でこんなことが二度と起こらないように、町民を挙げて、みんなで子どもたちを育てていこうという決意で、教育委員会も頑張っておりますので、皆さんのご理解をいただきたいと思っております。これらの問題を解決していくには、一つ一つの課題に正面から向き合い、保育園や幼稚園、学校、家庭、地域がそれぞれ協働体となって、大人が真摯な態度で子どもに対して取り組んでいく必要があると思っております。大人たちが、指導者として、ひとりの人間として、同じ人間である幼児・児童・生徒と四つに組んで子どもたちを導いていく。このことが大切なキーポイントとだと思っております。これからの社会を担う心豊かでたくましい人間の育成のため、阿久比町全体が、子どもの「学舎(まなびや)」であり、関わる全ての大人が指導者であるという意識を持って取り組んでいきたいと思っております。

この表では、4つの上に伸びた矢印が表示してありますけれども、左から「基礎基本の定着と学力向上」、2番目に「家庭教育の充実」、3番目に「地域支援の充実」、4番目に「教員・保育士の力量向上」ということで、4つの柱をもって、取り組んでいこうという形をとっております。この4つというのは、1番左は、人としての基礎・基本を身に着け、学力が向上する。これは子どもが良くなるということで「子どもよし」。家庭教育の充実ということで、幼保小中一貫教育を理解し、家庭教育の充実を図るということで、ここは「保護者よし」。3番目は地域支援の充実ということで、学校支援をしていただくということで、「地域よし」。4番目が教員・保育士の力量向上ということで、「学校よし」。「子どもよし、保護者よし、地域よし、学校よし」四方よしということを目指して取り組んでいきたいと、この表が作っております。

次に、8ページをご覧ください。

(資料「平成30年度 児童・生徒数一覧」について説明)

(資料「年度別児童・生徒数一覧」について説明)

(資料「見守り隊登録者数」「こども110番の家」について説明)

先ほど、町長からも人口の話がありましたが、阿久比町では、今、子どもがありがたいことに増えている状況であります。全国では少子高齢化が進み、大きな問題になっておりますが、まずここで、子どもの現状について話したいと思います。

表を見て分かるように、陽なたの丘などの住宅開発により東部小学校の児童数が、現在

858人の27クラスと他の小学校と比較しても2倍、3倍と多くなっています。特に、小学校3年生が160人、2年生が174人、1年生が172人と3年生以下の低学年の子どもが多く、来年の1年生は190人、再来年になると200人を超えることが予想されています。また、その下の表に特別支援のところがありますが、東部小学校では1年生から6年生までに18人の特別支援教室に通う子どもがいます。クラスとしては4クラスありまして、このクラス分けについては、表の※印にあります。特別支援における学級区分は、1つ目は自閉症・情緒障害、2つ目が知的障害、3つ目が病弱・身体虚弱、4つ目が肢体不自由ということで、4つの区分に別れて特別支援教室が設置されております。子どもの数が増えると同時に、最近ではこちらの子どもさんも非常に増えておりまして、学校ではこの子たちに手がかかると、とても大変なことになっているのが現状です。教育委員会としては学校支援という形で、こういう子どもたちに支援をする、お手伝いできる支援員を配置しておりますが、なかなかその人数をかなえるのが難しい。特に、中には誰かが1人付いていないとどこかに行ってしまうたり、教室を飛び出したりする子もいるので、1人に1人の支援員さんが必要な場合もあります。ただ、こういう子たちも、だんだん年が大人になるにつれて、いろいろなことが理解できるようになりますので、いずれは1人でも生活やいろんな学習ができるようになりますが、小さいうちにしっかり子どもたちの支援をしてあげることが、必要なことだろうということで、現在こういう形になっております。

次に他の小学校を見ますと、だいたい人数的には、ほぼ横ばいの状態です。東部小学校が増えていますので、阿久比町の子ども全体の数は増加傾向であるということになっています。陽なたの丘から東部小学校の校門まで、毎朝子どもの大渋滞が起こっているというのをご存知かと思います。送り迎えだけでもとても大変なことで、学校の先生たちも、朝、立哨したり、PTAや見守り隊の方のご協力のもとで、何とか過ごしているところです。まだ増えていく予想がされているので、大変心配になっているのが現状です。

次に中段の表を見ていただきますと、こちらは年度別の児童・生徒の一覧になっております。平成26年度から平成30年度の5年間の数の表になっておりますけれども、中学生だけを見ますと、今のところ5年前の749人から703人に減少していますが、児童・生徒の合計では、5年間で378人増加しています。特に、小学生は424人の増加となっています。学校別では、この5年間で、東部小学校は375人の増加しており、ダントツの増加になっております。英比小学校で15人の増加、草木小学校で46人の増加で、南部小学校では唯一12人の減少となっています。全体では、今後数年間は更に増加することが予想されています。このように、児童・生徒数が増加する阿久比町において、地域の支援は大変ありがたいことなので、ぜひとも皆さんの協力で子どもたちを守っていただきたいと思っております。

一番下の表ですけれども、学校への地域支援としてまず考えられるのは、子どもの安全・安心を守ること、見守り隊の登録者数を載せてあります。これは平成29年度の実績ですが、東部小学校58人、英比小学校15人、草木小学校39人、南部小学校29人、合計141人の方が見守り隊への登録をしていただいております。東部小学校については、児童数が多いので58人というたくさんの方が登録していただきまして、本当にありがとうございます。

次に隣の表ですけれども、こども１１０番の家の登録件数になります。これは、東部小学校１５軒、英比小学校１８軒、草木小学校８軒、南部小学校１２軒、これは学区の面積によるのかなと思いますけれども。実際には阿久比町では１１０番の家に飛び込むケースは、あまり聞いてはおりませんが。他の市町では不審者情報というのがありまして、「刃物を持った男が追いかけてきた」とか「女性が男性に追いかけられた」とかいろいろなことがあります。やはり子どもたちは、１人では危ないということで、それぞれ学校の方では集団下校などをも考えておりますけれども、いざという時に１１０番の家があるというのは、心強いことだと思いますので、ぜひ皆さんも登録ができるのであれば、１１０番の家に登録をお願いしたいと思っております。

皆さんから、見守り隊や子ども１１０番の家についてご意見を伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。今年の事業の一つとして、東部の学区会長さんから見守り隊が目立ったほうがよいということで、昨年１％事業で提案がありまして、今年度、阿久比町統一の見守り隊のベストを作ります。夏ごろまでに作って、各学校に配布しようと思っております。

（学校と地域とのつながりについて地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

問い掛け）皆さんからこういうものがあつたらいいとか、子どもたちにはこういうことを注意して登校して欲しいなど、何かあれば、ぜひこの場で教えていただきたいと思っております。（教育部長）

質問）情報が足りないので、教えていただきたいのですが。見守り隊と１１０番の家は、逆に人数、件数としてどれくらい必要なのか。その基準がないと、多いのか少ないのか私たちは判断しづらいのですが。まず、それがどれくらいなのか教えていただきたい。（宮津）

答）はい、ありがとうございます。件数につきましては、まず見守り隊の人数ですけれども、見守り隊の人数は、常時すべての人がいつも出てきていただけるのであれば、それぞれの交差点ごとに立っていただく程度の人数で足りるのかなと思います。例えば、東部小学校から東部学区内という交差点までが、例えば３０人ぐらいいれば十分なのかなと思います。ただ、同じ方がいつも、毎日毎日立っているわけではありませんので、ＰＴＡの方は自分のお子さんがみえるので、わりと立つ頻度が高いのかなと思いますが。一般の方で見守り隊の方は交替で立ったり、都合によって立つ日や立たない日があつたりするので、できれば数としては多いに越したことはないと思います。実際に学校の方で、見守り隊の方の登録管理をしてもらっているので、例えば学校で順番や当番表などができるのであれば、それに見合った人数がはつきりしてくるのではと思います。今ここで何人いれば見守り隊として人数的に大丈夫かということは難しいので、常時、今の子どもたちの人数、特に陽なたの丘から東部小学校までの交差点ごとに１人ずつぐらいの方がいるといいのかなと思いますので、交差点がいくつあるのか、また横松や萩の方からも学校に来るまでに、交差点がいくつあるのか。交通指導員さんも要所にはおりますが、学区に１人や２人の指導員ではとても足りないので、ざっくり言うとその日１日で２０人から３０人ぐらい居るといいのではと個人的には思っています。それに対して登録者数が５８人ですので、すべての方が

毎日立つのではないとすると、毎日ある程度の方たちが立っていただいていると思いますが、多いに越したことはないと思います。

110番の家については、普通の家に入っていくのは、子どもも入りにくいので、ご商売をされているところが登録をしていただけるとありがたいと思いますし、逆に言うと、表通りは人目があるのでいいと思いますが、そうでない裏通りに入ったところで、子ども110番の家というシールが貼ってあると、子どもも逃げやすいのかなと思いますので、こちらの方も数がいくつあればいいかというのは、一概には言えないと思います。(教育部長)

意見) 今見守り隊の話が出たと思いますが、東部学区の見守り隊長をしておりまして、毎日とはいきませんが見守りをしています。今のお話から、東部小学校はさすがに児童が多いただけあって、58人を見守り隊は多いなというお話でしたが、実はこの数字はまったく当てにならないもので、実際に見守りをしている人は3分の1ぐらい。それも、朝は結構たくさんの方が立っていて、学校にまで一緒に行っていていただきます。実は、下校時はほとんど居ません。できるだけ私は下校時に行くようにしていますが、本当、どうでしょう下校時は2~3人ぐらいしかいません。当然登校時も、お話のように渋滞してしまうので、いろいろとあるのですが、下校時は子どもも授業が終わって開放的になっているので走ったりして、むしろ下校時のほうにたくさんを見守り隊の方が来ていただけるとありがたいのですが、現状はほとんど居ないので、私たちも苦慮しています。18日に見守り隊の総会を行います、この時にいかに下校時に来ていただけるか、みんなで話し合うことになっています。本当にどうしたものかと悩んでいる状況です。実態としては、私は下校時に希望としては10人から14、5人ぐらい立っていただければ、ありがたいと思っています。話題のように陽なたの丘は距離がありますから、ぽつんぽつんと角や信号のところに立っていただければありがたいと思っておりまして、町の方からも見守り隊に入っていて、見守りしていただけるようにPRしていただけるとありがたいです。(宮津)

答) ありがとうございます。東部学区の見守り隊長さんから貴重なご意見をいただきました。確かに帰りは、子どもたちは下校時刻が、みんな一緒に帰るわけではないので、学年によって帰る時間が違うということもあるので、立つ方の立つ時間帯を把握することが非常に難しいことなのかと思います。(教育部長)

追加意見) 地区別に帰る時間について学校から送ってきますので、その時間に出てもらえればいいと思います。(宮津)

答) その時間に立っていただける方が増えるといいですし、教育委員会の方も皆さんのほうにPRしたいと思いますし、地区の方でもやっていただける方がみえれば、ぜひ登録をよろしくお願いします。(教育部長)

(資料「平成30年度 各学校行事予定」について説明)(教育部長)

この表は、平成30年度の各学校において地域と関係がある主な行事予定を表にしてみました。ここは東部小学校区ですので、4月の入学式から3月の卒業式の間に各種行事が行われております。地域の協力となりますと、各小学校では月に1回土曜学習を行っております。そこでは地域のボランティアの皆さんが学校に午前中に来ていただいて、子どもの宿題とか勉強でわからないことを教えていただいたり、本の読み聞かせボランティアというものもありますので、いろいろとやっていただいております。

また、6月に開催しています「親子ふれあい教室」という行事もありまして、地域のボランティアの指導による、浴衣の着付け、切り絵、エコモップ作りなどをふれあい教室でやっているということで、またこんなことができるよという方がみえましたら、学校の方にも話をしていただいて、ぜひ協力をいただけるとありがたいと思っております。

東部学区では、平成28年3月に東部コミュニティが設立され、地域の連帯意識を育て、豊かで住みやすい地域づくりを目指し、活発に活動が行われています。昨年は、9月24日に「東部ふれあい広場」を開催して、フリーマーケットや小学校の金管バンドの演奏などいろいろなことを地域でやっていると聞いております。その他にも、コミュニティと学区会で「自然を見つめて一万歩」や「凧揚げ大会」など親子を含め、家族が楽しめる行事を東部学区では開催しています。先日、東部コミュニティの総会に顔を出させていただきましたが、毎年、東部学区レクリエーション大会をやっていたそうですが、昨年度は衆議院選挙の関係で残念ながらできなかったということではありますが、昨年は新たに運動場にクリスマスツリーの大きいものを作って、これもコミュニティの事業だということで、大変たくさんの方が見学に訪れたと聞いております。他にも4月は春祭りの時期ですので、多くの子どもたちが地区のお祭り、山車などに参加していると思います。そういったことも学校と子どもと地域のつながりになっていく行事だと思いますので、ぜひこれからも引き続き盛大にやっていただけたらと思います。

少しPRさせていただきますと、この表の中で、幼保小中一貫教育の事業で、毎年、6月と11月に、町内のすべての幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、役場、PTAなどによる、幼保小中高一斉あいさつ運動を実施しています。あいさつをするということは、人と人との顔がつながる第一歩だと思いますので、これからもあいさつ運動を続けていきますので、皆さんも参加していただけるとありがたいと思います。

その他に中学校の行事では、毎月、阿久比駅の清掃活動を地域貢献ということで行っています。それと、矢勝川のヒガンバナの球根を植えるボランティア活動に参加しています。昨年は6月4日に292人の阿久比中学校の生徒が参加しています。それと2月に、3年生が3年間の最後のボランティア活動として、自分が卒園した幼稚園・保育園に出向き、トイレ掃除や窓ふきや廊下の雑巾がけなどの清掃活動を行っています。こういうことを皆さんにも知っていただいて、学校としては地域とのつながりを深めたいということで、いろいろと事業を行っておりますので、皆さんもそういったことを理解していただいて、ぜひ学校の協力もよろしくお願ひしたいと思います。

最後になりますが、今年も住民税1%町民予算枠制度でいろいろな事業が行われますが、学校が関係した事業では、まず、毎年、高齢者やいろいろな達人の方が「あるある巡回講座」をやっていただいています。夏休みに学校で子どもたちに、自分たちの知識を伝えるということで、学校みたいに教室を行っています。矢勝川の球根植えも、この1%事業の

一つですし、音楽だ一いすきの団体が、各小学校や中学校で音楽会を毎年開催していただいております。学生やPTAの方以外でも見学ができるということで、そのようなところで一緒に音楽を楽しむというのも、良い事業だと思います。東部小学校は5月22日に開催されますので、音楽だ一いすきも見ていただけたらと思います。

これらと少し違いますが、地域支援ということで、株式会社デンソーが、「デンソーサイエンススクール」ということで、デンソーのOBの方が毎年小学校5年生を対象に、科学に興味を持ってもらうように、夏休みに町内4小学校で実施していただいています。また、シルバー人材センターでは、「夏休み宿題教室」として、高齢者の方が、習字や絵の宿題のお手伝いをしてくれる活動も行っています。これからも地域の方が学校とつながりを持って、いろいろなことをやっていただけると、子どもたちも成長できるのではと思いますので、よろしくお願いします。教育委員会としても、地域とのつながり、学校とのつながりということを目指して頑張っていきたいと思いますので、皆さんご協力をよろしくお願いします。

私からの説明を終わります。ありがとうございます。

教育長からあいさつ

私の方から一言だけお礼を申し上げさせていただきます。子どもたちが成長していくのに関われる人たちは、まず、一番大事なところで家庭の学び、そのあと地域の学び、そして学校での学び、それから仲間から学ぶということで、いろいろな場面で学ぶことがありますが、特に宮津地区、萩地区、横松地区では春の祭りを通じて大人の方々と子どもたちが、いろいろな関わりを持つ中で、夏祭りでは盆踊りの中で、それぞれの活動の中で地域の方たちといろいろな体験をする中で、小さいころから地域の方々に見守られながら学んでいくことが、成長の中での財産として体や心に持っていくしますので、今後ともよろしくお願いします。また、見守り隊を含めて地域の子どもたちに声を掛け合っていただくような形で、関わりを持っていただけることは本当にありがたいことです。下校時に見守っていただくことは難しいところもありますが、農作業や犬の散歩の間に子どもたちの帰りに出会っていただいて、子どもたちに関わっていただく時間を少しでも取っていただけると、大変ありがたいです。

今後とも温かい目で見えていただいて見守っていただくよう 目に余ることがあれば、学校を通じてお知らせください。今後ともいろいろとお世話になりますがよろしくお願いします。

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 民生費の中で放課後児童健全育成事業9,400万円ほど計上されていますが、簡単にどういう用途なのか。(萩)

答) この放課後児童健全育成事業の9,400万円は、各地区にございます学童保育事業費となります。東部学区には、昨年オープンしましたJAの跡地の学童保育、それと森下に

ございます学童保育、公民館の裏にも新しくできました。学童保育に使う事業費などをここで取り上げてございます。すべての各学区に学童保育がございますので、その事業費が主なものでございます。(民生部長)

質問) 東部学区は陽なたの丘で他の地区とずいぶん違っているんですが、共働きのご夫婦がたくさん見えるということで、いろいろと話を聞きますが、学童保育の受け入れとか、パーセンテージは分かりますか。待機児童とかいろいろと問題があると思いますので、学童保育の待機児童はどうですか。(萩)

答) 学童保育の待機児童は今のところ、希望通り受け入れをさせていただいております。特に東部学区は陽なたの丘の子どもが増えたということで、先ほど言いましたJ Aの跡地、宮津森下、また、公民館の裏の学童保育などとなりますが、今年4月から公民館の裏の学童保育は昨年まで1クラスだったのですが、この4月から2クラスに増やしております。もちろん学童保育の希望が増えたということでクラスを増やしております。現在は学童保育の待機児童はおりません。よろしくお願いします。(民生部長)

質問) 先ほど町長がごみの分別について、プラスチックごみを燃えるごみに入れているといわれました。テレビの方でいろいろ言われてまして、燃えるごみでも大丈夫だよとアナウンスしていることが多々あったと思います。うちの家庭でも汚れたプラスチックは燃えるごみの方へ入れていますし、そういったことは徹底していないと思います。阿久比町としては今後そのことを徹底するのかどうか、教えてください。(宮津)

答) プラスチックごみは基本的には燃やして処理をしています。ただ、燃やす場所が東部知多衛生のごみ焼却場で燃やしているのではなく、日鉄とかそういうところへプラスチックごみとして売りまして、そこで燃やしています。出来ればではなくて、プラスチックごみはあくまでプラスチックごみとして、白い半透明の袋に入れて捨てていただきたい。それについては、汚れているものを入れますと買ってくれる方ではねられてしまいますので、なるべくきれいにさせていただいて出していただくと、それを買っていただける。それがお金として町へ還元されていきますので、ご協力ください。燃やす方へお金をかけていくのが、逆にお金が戻ってきますので、ぜひご協力をお願いいたします。(建設経済部長)

要望) ぜひ、大きくアナウンスしていただきたいと思います。(宮津)

答) PRはさせていただきます。(建設経済部長)

補足説明) 今の説明だと燃やす方ばかりにいつてしまうように思われてしまいますが、一部は燃やします、一部は原料として液状にしたり、粒状にしたり原料の使い方はいろいろあるので、全部が全部燃やしてしまうわけではありません。おそらくテレビなどでおっしゃられたことは、ごみを普通燃やす時には、燃料を追加して燃やすぐらいですから、プラスチックごみなど入れて火力を上げてもいいのではないかという説もあります。日本の考

え方として、原料の少ない、石油の出ない日本としては、そういうものも原料として、資源ごみとして使っていますので、ご理解いただきたい。そして今回の場合は、黄色いごみ袋の燃やす方を20%削減するという目的があるわけですから、白いごみ袋を半額にすることによって、なんとかしたい。私としては、ごみ袋を値上げしたくないので、これが達成できないと、一緒に共同でやっている2市2町の決め事に反することになりますから、その時は2年後の結果を見て金額を値上げせざるを得ない。どう考えても5倍にはしたくない。何とかして2年間で成果を上げて、また環境係から地区を周り、説明させていただきますので、よろしくお願いします。(町長)

要望) 去年も発言しましたが、子どもの問題で自由契約児はもともと対象外で、それ以外で待機児童はないということで、それはおかしいと思います。事実上の待機児童、働きたくて働けない、働いても働き方が規格に合わないから、預かってもらえない子どもがどれだけいるか、ということ町としてつかんでいただきたい。民生部長さんは参考にさせていただくということでしたが、どうなりましたか。もう1つは、阿久比で本当にこの人口を維持して、住み続けていくためには、子どもの問題を根本から考え直す必要がある。高根台や阿久比団地や白沢台や宮津山田と宮津の区画整理、小廻間の池のところと陽なた丘を比べてみますと、はっきり違うことがある。前の団地は猛烈社員の時代なんですよ。ところが今の特に陽なたの丘はそうだと思いますが、パパさんが子どもを抱いて、奥さんが後ろから付いていく。パパさんがベビーカーを押して歩いている。子どもが3人いる家は珍しくないとか本当に違うと思います。この町で子どもが育ってよかったなと思える気持ちが残ったら、住民が割合定着する可能性がある。自由契約というような法律上の言葉ではなくて、働きたくて働けない、働いているのに預かってもらえない人たちの気持ちをつかんでいただきたい。まずはシミュレーションや実態の把握をしていただきたい。その点を町としての枠を考えていただきたい。この前、せっかく働くところが見つかって、自分はやりたい仕事だったが週に3日という勤務のため、預かってもらえない。社会的にも自分自身もやりがいのある仕事だと思ったのにおかしいと、そう言われたお母さんがみえる。こういう声に答えて、本当にこの町は子どもを大切にする。働きたい、預かって欲しいという声は本当に大事にしていきたい。なんとしても施策を考えていただきたい。これは非常に切実な声です。(宮津)

答) 厳しいお言葉いただきました。30年度から入園条件が変わったものがあります。働く先を見つけるために、その時だけでも預かって欲しい。でも働いていないからダメですよと、矛盾をきたすようなことがありました。この4月から就活中においても、3ヶ月間は子どもを預かるという入所条件になりました。働く先を探すのに3ヶ月間は就活していただいて、その間はお子さんをお預かりするという入所条件が出来ましたので、それを生かしていただきたい。いろいろと入所条件はありますが、非常に複雑となっています。いろいろな状況把握ということですので、ひとつの課題として受け取らせていただきます。(民生部長)

質問) 先日、祭礼の時に消防団の方に助けていただきまして、とても助かっております。

横松も人が少なく、なかなか交通整理に手が廻らないので、とてもありがたく思っていますが、その時に消防団の方に年々人数が減っているので人を出すのが難しいと言われました。広報とかで募集の案内を見るのですが、もう少し募集の方法を工夫して、小学校に行って消防団はすごいんだよとか、教育でも何でもいいので、募集の方法を変えて、なるべく増やすようにしていただけるとありがたいと思います。（横松）

答）ありがとうございます。消防団の募集につきましては、昨年こちらで「顔の見える地域づくり」のところでも、消防団員が少なく、何とか地域の方でも探していただきたい、ぜひ勧誘もお願いしたいということで、お願いしてまいりました。何とか募集方法を工夫して、団員らも地域の方でいろいろ募集を頑張っておりますが、今言われた小学校の方ということですが、今、保育園で防災や防火の教室を開いております。そういう活動をして、小さい時から消防団というものを意識付けしていきまして、一生懸命やっております。また、アピタさんには毎年協力いただきまして、出初式や観閲式を行いますと、はしご車の体験にすごい人数の方が待っております、消防団員の本人たちも、あれだけの方が集まって、見ていただいていることに生きがいを感じているのではないかと考えております。本当に消防団員、特に2分団が少なく困っておりますので、自分の地域に限らず、友人などにも声かけをしていただいて、入っていただけるように。私たちも頑張っておりますが、やはり地域の方の声というのは強いので、ぜひ地域の方からの声かけの方もよろしくをお願いします。（総務部長）

質問）幼保小中一貫教育について広報でも何回か見たことはありますが、これの狙いと効果、どんな効果が出ているのか、そのお話を聞かせていただきたい。もっと申し上げると、立派な政策を掲げられておりますので、政策の中にも各町民の方からあがった要望から政策に転化する施策と、町がリードして行く施策があると思いますが、いずれにしても政策を実行された後に、どういう成果が出たのか、足りない部分はどうやったのか、そういう議論は町の中でも議会の中でもされていると思いますが、その辺りの仕組みを一貫教育の話と含めて、どのようなチェックをされているのか、お聞かせ願いたい。（宮津）

答）幼保小中一貫教育のスタートにあったものは、中学校が1つになっていて、そこに4つの小学校の子どもたちが中学校へ行き、小学校には幼稚園、保育園から入学してくる。縦の子どもたちの成長を見守っていく中に、幼稚園、保育園、小学校、中学校、阿久比高校の子どもたちが関わってくる。子どもが上がっていくのに、出来るだけそれを支える先生、職員がどのような形でかわれるかということで、子どもの話題で町の中にいろいろな会話が成立するようにしていきたいという思いでスタートされました。それからすでに12年経っていますが、それなりに、いろいろなところで声が、また、関わってくる先生たち同士が子どもたちへ関わりを持てるということで、いろいろな形が活動として定着し、またそれが続いてきている。新たな活動を増やすのではなくて、現在あるものをもう少し広げ、また教員も町外から入ってくる子どもたちもいるので、現在5期目に入っていますが、それぞれ活動をしているということでご理解ください。またこれが、新たな子どもたちに良い影響を与えるようにもっていきたいと思います。一番の大きな成果としては、不

登校の子どもたちの数を抑えることができた。入口のところにおいては、それができるといことがあったり、小学校へ入る子どもたちが、保育園や幼稚園で給食などを子どもたちが年長になった段階でやっている関係で、十分活動が出来る段階で小学校へ入ってきますので、小学校の中でもスムーズなスタートが組めるということで、子どもの様子を良く分かり、育ちやすく育てやすいという形になっていくと思いますので、ご理解いただきたいと思います。(教育長)

要望) 例えば、学力とか非行の数とかを愛知県内の平均に対してどうかとか、そういったものを示されると。そういったものを示されると、チェック項目というか、何かそういうものを決めて、一緒に出されると私たちも理解しやすい。おそらく立派なことをされていると思うので、そんな工夫をされたらどうかと思います。(宮津)

答) ありがとうございます。検討してみます。(教育長)

質問) 仕事から、各市町村の空き家対策について質問がありまして、環境面だとか固定資産税の関係だとか防犯との関係で、知多半島だと南知多町が一番課題が多いはずだと思います。それが宅建業者と提携して空き家を解体、売却処分しようとして進めていくことを、ある程度行政がタイアップして進めていくのが、名古屋市がスタートしていると思います。去年は東海市が提携されて、もうすぐ大府市が提携すると思います。その点で阿久比町はどういう取り組みをされているのか確認したい。(横松)

答) 特措法ができて、それに沿って阿久比町でも進めているところです。宅建業者や不動産業者と協定を結んでということだと思いますが、町の方でも東海市や名古屋市のそれぞれの取り組みを参考にして、検討している最中でございます。若干、個人的な営利目的なところを気にしておりますので、まとまらないところですけども、検討させていただいております。(建設経済部長)

質問) 先ほど、子どもの数字が出ていたと思いますが、他の方が言われていたように見守り隊について、ざっくりとしたアバウトな返事だったのですが、実際下校時の東部小学校から陽なたの丘へ向かうところを見ていただけると、見守り隊がどれくらい必要かがわかるのではないのでしょうか。人数がどんどん増えていって、来年6クラス、再来年7クラスと1年生がなってきますよね。今の3年生が6年生になって、すごい人数になっていくので、下校時の安全について本当に心配です。雨の日は特に危ないし、この間保育園児だった子が、親の手に引かれずに自分だけで歩いていくので、陽なたの丘まで帰るとなると、かなり列が乱れたりとか、安全が確保できるのかとか。一度、下校時を見ていただいて、本当に見守り隊に協力していただいている方がどれくらい必要なのか、やっていただける方がどれくらいみえるのか、聞いていただきたい。子ども110番の家も資料に書いてありますが、実際子どもたちは110番の家を知っているのか。道すがら場所が分かるのか。子どもにここに逃げれるよと教えてあげないと、何かあったとき逃げられないのではないかと思いますので、学校と協力して、ここが110番の家だよとここに逃げるんだよと実

際に教えてあげないと、小さな看板だけぶら下げていても意味がないと思いますが、いかがでしょう。(南部学区)

答) 先ほども、下校時の見守り隊が必要だということで、正直下校時に立って私は見たことではないので、一度状況を把握したいと思います。それによって、どれくらい必要かということ、自分なりに理解させていただいて、学校にも話をさせて、地区の協力も得ていきたいと思っています。PTAにもお願いをすることが可能かなと思いますので、そちらへも依頼していきたいと思っています。子ども110番の家については、一応これは学校が警察と協議をして110番の家を指定していますので、学校の方も子どもたちには、ここが110番の家だということは伝えているということを私は認識しております。ですから、看板だけということではなく、子どもの帰る道や、遊びに行く中で、どこに110番の家があるかということは、学校に話しまして、子どもにも理解してもらいたいなと思います。貴重なご意見ありがとうございます。(教育部長)

5. 閉会あいさつ

本日は熱心に未来づくり懇談会ご参加いただきましてありがとうございます。今回は「学校と地域のつながりについて」のテーマで懇談会を実施させていただきました。今回のテーマは、身近で大変大事な内容であると思っております。これからの皆さまとの地域づくりに、努めてまいりますのでよろしくお願いします。それでは時間になりましたので、これで終了させていただきます。今日はどうもありがとうございました。(副町長)

平成30年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月9日（水）午後7時～午後8時46分
□会 場	英比小学校体育館
□参加者	町側10人、地区側27人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

「学校と地域とのつながりについて」（配布資料に基づき教育部長説明）

内容は同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

（学校と地域とのつながりについて地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

質問）英比学区の見守り隊15人が学校に登録している方のことを指すのか。その中で高根台は几人か。（高根台）

答）そうです。学校に登録している方のことです。高根台の方の人数は、名簿に住所がないので分かりません。（教育部長）

質問）自治会や老人会として、ボランティアでやっている人とは違うはずなので、もし分かればと思ったのですが。（高根台）

答）学校に相談し、ぜひ登録をお願いします。そうすれば、町としても見守り隊ベストの配布ができます。（教育部長）

質問）子ども110番の家を町としていつ制定したのか。（高根台）

答）最初は把握していませんが、学校と半田警察署が相談し、本人のご自宅の承認を受けて、半田警察署が登録する制度となっております。古くなった標示を新しくすることも可能と思われます。（教育部長）

質問）最初に登録した子ども110番の家はずっと変わらないのか。（高根台）

答）半田警察署の把握方法は分からないが、最初に登録した家の方が「やめます」や、新たに「私やります」ということがなければ、おそらくそのままになっているはずです。（教

育部長)

質問) 4月から自治会長をしています、私も把握していない。学校は子どもたちに110番の家のマップを渡して周知をしているのか。(高根台)

答) 児童に渡っているかは分からないが、110番の家を地図にしたものを学校から教育委員会もいただいています。教育委員会からも子どもたちに再度の周知をしてもらうよう学校に働きかけていきます。(教育部長)

要望) 英比学区は見守り隊の学校への登録が少なく、登録していないボランティアの方が多くいる。ぜひ、この方たちにも広く見守り隊ベストを渡してほしい。また、個人でなくとも、地区に渡してほしい。(地区不明)

答) ベストは予備も作成する予定ですので、増えていただくのはありがたいです。見守り隊登録者以外にもPTAさんにお渡しする予定ですので、よろしくお願いします。(教育部長)

質問) 新潟で子どもが殺害される痛ましい事件があった。このような事件に対し、学校ではどのような注意や教育をするか。(地区不明)

答) 情報に常に耳を傾け、子どもに気を付けるよう各学校で話しております。(教育部長)

(資料「平成30年度 各学校行事予定」について説明)(教育部長)

この表は、平成30年度の各学校において地域と関係がある主な行事を抜粋しました。それぞれの小中学校の4月の入学式から3月の卒業式の間の地域の方の協力によりまして行っている各種行事が載っています。表の下の方にありますが土曜学習を各学校でやっております。英比小学校では「学びーズ」という名称で行っていますが、おもに月の第1土曜の午前中にやっています。そこでは地域のボランティアの講師や学生ボランティアの方に、子どもの宿題とか勉強でわからないことを教えていただいている事業であり、ぜひ協力いただける方がお見えでしたら、協力していただきたいと思います。それ以外にも読み聞かせボランティアというものもやっています、図書サークルの方も学校に行って、子どもたちに読み聞かせをしていただいております。英比小学校にはビオトープがありますので、どんぼちクラブという団体がありまして、そちらの方が学校のビオトープの管理などをボランティアでやっております。表の中の6月には英比小学校でも「親子ふれあい活動」を毎年行っておりまして、地域のボランティアの方が活動の指導者になっていただいて、これまでに浴衣の着付け、切り絵、エコモップ作りなどをボランティアの方が学校へ出向いていただいて、やっております。英比学区では学区会と家推協の事業ということで、地域のふれあい活動も行っています。10月には家族ふれあいウォークを地域の皆さんとやっておりますし、1月には町内全域で行っており

ますが、たこあげ大会を英比小学校は英比小学校の運動場で開催しています。表の一番下の真ん中ですが、町一斉あいさつ運動を載せてあります。こちらの方は毎年6月と11月に町内のすべての幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、役場、PTAなどによる、幼保小中高一斉あいさつ運動を実施しています。あいさつをするということは、人と人の顔がつながる第一歩だと思いますので、これからもあいさつ運動を続けていきますので、皆さんも協力していただけるとありがたいと思います。11月2日は阿久比教育の日を定めております。この11月2日は、先ほど最初に町民憲章を唱和させていただきましたが、この町民憲章が定まった日が11月2日ですので、この日を阿久比教育の日と定めております。この阿久比教育の日の近く、1週間前後ぐらいに学校では学校公開日を設けておりますので、またそういうところにも、皆さんの参加がいただけたらと思います。

中学校のボランティア活動を紹介させていただきたいと思います。阿久比中学校では平成15年度から、明るい社会づくり運動との共催で、毎月1回早朝に阿久比駅の清掃活動を行っております。子どもたちは「朝ボラ」と言いますが、生徒同士が声を掛け合って雨の日も風の日も自分で参加していただいております。部活動がある日ですと、部活動のユニホームで参加している子もいると聞いております。阿久比町の玄関である阿久比駅をボランティアできれいにしていくというのも、良い活動であると思っております。また、毎年、半田との境に矢勝川がありますが、この矢勝川にヒガンバナの球根を植える活動を、阿久比中学校の生徒さんに手伝ってもらっています。昨年は6月4日に292人の阿久比中学校の生徒が参加しまして、15,000個のヒガンバナの球根を矢勝川の堤防に植えるボランティアもやっています。それと卒業が近くなると、3年生は自分が卒業した幼稚園・保育園に出向き、トイレ掃除や窓ふきや廊下の雑巾がけなどの清掃活動を地域とのつながりを深める意味もありまして行っています。こういうことを地域とのつながりを深めながら、学校と地域とのつながりを深めまして、これからの阿久比町の若い世代の方がすくすくと育っていただけたらと思います。

少し紹介になりますが、今年は住民税1%町民予算枠制度のアイデア事業としまして、見守り隊のベストを作ります。発明クラブの方が学校で科学の教室を行うという事業もあります。コラボ事業で「あるある巡回講座」がありまして、高齢者の方がそば打ちとか絵手紙とかを子どもに教えてあげようということで、夏休みにそういう活動を行っております。それと音楽もみんな一緒に親しめるということで、「音楽だーいすき」を行っていますが、今年はアグピアホールで新美南吉と音楽物語の公演もありますので、時間がありましたら参加していただけたらと思います。

企業では、株式会社デンソーが、「デンソーサイエンススクール」ということで、デンソーのOBの方が毎年小学校5年生を対象に、科学の授業をボランティアでやっております。また、シルバー人材センターの方が夏休みの宿題教室ということで、書道や絵を教えていただいております。そういったことを町内でも進めていって、地域と学校とつながりを深めていきたいと思っております。このように地域の方の支援により阿久比町の子ども達がすくすくと成長し、阿久比町の目指す生徒像に近づいていけるよう皆さんのご協力をよろしくお願いします。

私からの説明を終わります。ありがとうございます。

教育長からあいさつ

私の方から一言だけ追加させていただきます。私は、平成20年から英比小学校に勤めさせていただきました。その頃から、本当に地域の方が声をかけていただいたり、ボランティアの方が参加していただいたり、また祭りなどいろいろなことで子どもたちに関わっていただいております。あいさつなどもいろいろな形でやられておりますし、見守り隊として、朝子どもと一緒に学校まで来ていただいている方もみえますし、また今後も、引き続いてそのような形の中で子どもが育っていくことに力を貸していただける阿久比の大人の方々がたくさん出ていただくことを願っております。そのことが子どもたちを伸ばす元になりますし、それが子どもたちにとって財産・宝物になっていきます。学校はもちろん現場として子どもに直接関わっていきますけれど、どんな形でもいいので子どもと関わるところでお力添えをいただき、子どもたちの成長に関わっていただけるとありがたいです。家庭で親御さんが育て、学校で先生たちが育て、それを地域の皆さまに見守っていただくことが、今後これまで以上に大切になっていきます。今後ともお力添えよろしくお願いします。

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 将来人口について、30年後ではなく、10年後の予想推移を教えてください。(福住園高台)

答) 阿久比町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を平成28年3月に策定しております。そのときの推計で、阿久比町の将来人口を3つのパターンで想定しました。そのうち、現状に一番近いもので、平成25年の人口は28,670人。その中の0歳から14歳は16.2%、15歳から64歳は57.4%、65歳以上の高齢者率は26.4%と推計しております。これに近い数値で推移していくのではないかと考えております。(総務部長)

質問) うちにも中学生の息子がいますが、毎日重たいカバンを持って学校へ行かなければなりません。小学校1年生でも重いカバンを学校へ行かなければならないことは、何とかならないか。もちろん家でも勉強しなければならぬので、教科書を持って帰らなければならぬが、重くて危ないと感じる。このような意見は学校へも多く寄せられていると思いますがいかがでしょうか。(高根台)

答) まずこの学区の小学生の場合から話しますが、学区が広いこともあり、リュックでの通学を認めています。教科書などの学習道具は全部持ち帰るという形をとっています。中学生については、自転車の子どもたちはかばんもありますが、1、2年生はリュックを背負って、リュックの中に荷物を入れて通っている。基本的にはすべて持ち帰るという形をとっています。量が多いということで、大きな事故に至ったという話は聞いておりませんが、見ていてかなり重いなと思っています。(教育長)

質問) 英保育園の跡地について、なかなか良いアイデアが思い浮かびません。役場の方で何か良いアイデアがあれば教えてほしい。阿久比の特産品をそこでできないか。(福住)

答) 土地が字持ちの部分と町の部分とに建物がまたがっています。現在は資機材などが置かれています、まだどのような調整を図るかが明確になっておりません。なにかご希望があれば今ここでお聞きしたい。(民生部長)

要望) 希望はないが、阿久比町を代表する名菓か何かがあれば良い。(福住)

答) 今、北原保育園と英保育園が休園中です。北原保育園は土地も建物も町の所有で、英保育園は一部町の土地ですが他は福住さんから借りている土地です。数年前に半田医師会に購入してもらうよう斡旋を進めていましたが、上手く交渉が成り立たず、現在に至ります。現在は空き家のようになっていますが、町の備品などを収納している部分もあります。そのような中で、建物を取っ払ってしまって、福住さんが何かするという事になれば、町は建物に対して責任を取らなければならないということになります。中の阿久比町の土地と、縣神社への道の部分も解決しなければなりません。町としては、福住さんと話し合っていて、良い話があれば教えてほしいと歴代の区長さんから伺っておりますので、町としても気をつけていますので、福住さんと協調して進めて行きたいです。そこで特産品を作るのですか。(町長)

要望) よそへ持っていても恥ずかしくない特産品があると良い。(福住)

答) 商工会さんとも話をしております、人形焼きのアグピー焼きを1%予算枠で作成し、いろいろなところでやっておりますが、阿久比町産の米粉を使ったものを作ろうと試行錯誤しています。それができればパッケージを作っていこうかと思えます。小さな町にしては、6軒まんじゅう屋があります。まんじゅうを詰め合わせしたものは産業まつりなどでも好評です。これを阿久比PAでも、やってほしい。そこには一般道からのアクセスもできるようにします。南知多など南のほうからの問い合わせが多く、商工会には来ているかもしれないが、町には町内からの話は少ない。良いアイデアがあれば、ぜひお店を出してほしいと思っております。(町長)

質問) 高齢化率についてお聞きしたい。先日配られた介護保険医療の実施見込みという資料で平成30年の65歳以上が7,345人で、先程話があったように高齢化率が25.59%です。今後の見通しを見ると、平成31年度7,431人、平成32年度7,518人、毎年65歳以上が85人ずつくらい増えていくと理解していますが、人口構成を見るとだいたい300人くらいの比率ではないかと思えます。このあたりの見通しが、先程いろいろなシミュレーションを出されておりますけれど、自然減や社会減といったファクターがあると思うが、算数的に合っていないように思えます。私の属している福住園高台も40.74%の高齢化率です。見通しが甘く、不確かなのではないかと。どのようなシミュレーションなのか伺いたい。(福住園高台)

答) 高齢化率を含めて、人口推計が甘いのではないかというご質問ですね。先程の数字は、町から全戸配布した概要版の数字ですが、ここにも書いてあるとおり、団塊の世代を含めまして2025年を目標とした人口推計を出しております。国に算定のための計算式があり、それに過去の阿久比町の人口と人口推計を入力します。このようにして推計を算出しております。また、高齢化率というと非常に暗いイメージを持つかもしれませんが、ひとつ参考に、高齢化率が高く、高齢者が多くても、そこにいらっしゃる高齢者の方が元気であれば、なんの問題ありません。阿久比町は愛知県内でもトップクラスの介護保険認定率の低い自治体です。(民生部長)

質問) 現在、介護保険認定率が12.9%であることは、配布資料に記載のとおりですね。1年間に約85人しか高齢者が増えないというのは、今の人口で64歳の人で300人以上いるのにおかしいのではないかと。(福住園高台)

答) 時間の都合もありますので、担当に確認後、回答します。(町長)

要望) 私だけではなく、全体への公表をお願いします。(福住園高台)

質問) 経済成長率県内1位の件について、阿久比町は情報通信機械の生産拠点とのことですが、デンソーの増収による結果ですか。(福住)

答) 増収というより生産の付加価値の増加によるものです。どのようなことが起きたか説明します。デンソーとは別に、もともと草木にデンソーエレクトロニクスと、デンソーウェーブという会社がありましたが、デンソーエレクトロニクスとデンソーウェーブが経営統合しました。今建っている5階建ての立派な建物はデンソーではなく、デンソーウェーブの社屋です。そこでの従業員数は、デンソーが約1,000人、元デンソーエレクトロニクスが約350人と、デンソーウェーブの従業員約650人が一緒になり、急激に生産も付加価値も上がったということです。これが大きな要因です。それに加えて、宅地開発を行った陽なたの丘の個人所得についても、お仕事を頑張らせていただいていることが一緒になり、ここでの経済成長率が42.8%となっています。ちなみに2位の豊山町は、MRJという三菱重工業の新しい航空機を造りはじめたために伸びていると解釈しております。安城市や三好市などについては、自動車製造が要因と考えております。(町長)

質問) 福住園高台からふれあいの森へ避難路をつくっていただきました。これが本当に避難路か、本当に災害時に抜けられるか、という状況となっています。ふれあいの森のフェンスを切って作った扉に留め金が4つほど付いており、それを外すのに非常に時間がかかります。また、階段についても不安材料のある階段であり、なぜこのようなものができたのか疑問である。ただ単に予算がないためという説明を受けたが、一度現場を実際に見てほしい。我々はいざというときに逃げられない。今年自治会の担当になりましたので、気になっています。(福住園高台)

答) ご指摘ありがとうございます。そちらの避難路については、自治会から要望があり住民税1%町民予算枠制度により実施したと記憶しております。避難路を設定するにあたり、自治会長さんはじめ自治会の役員の方と相談をし、2年越しで検討をし、現在の方法としました。確かに階段が急ということは分かりますが、ふれあいの森の形状からして、あの方法しか選択できなかったということは、自治会の会長さんや役員さんは了解の上で設置しましたので、ご理解いただきたいです。(総務部長)

答) おっしゃっていることはよく分かりますので、まずは一度現場を見に行きます。ただ、2年越しで要望を受けており、様々な方法を自治会長さんと考えながら現在の方法で設置しましたが、土手の下に管が入っているため、そこへ設置すること自体が疑問はありましたが、もし入口での火災があったときに地形的に奥の道路への逃げ場がないということで設置しました。しかし、開かない扉を作っていてはいけませんので、もっと開きやすいよう改善することはできるはずですので、担当に一度見に行かせます。良い方法を考えます。(町長)

5. 閉会あいさつ

どうも今日は熱心にご弁論いただきありがとうございます。今日は、学校と地域とのつながりについてのテーマで懇談会を実施させていただきました。今回のテーマにつきましては、大変身近で大事な内容であります。これからも皆さんとの地域づくりに努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。交通事故などに気をつけてお帰りください。ありがとうございました。(副町長)

平成30年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月15日（火）午後7時～午後8時45分
□会 場	宮津団地老人憩の家
□参加者	町側10人、地区側28人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

報告）今日新聞で発表されましたので、皆さんにご報告とお願いをさせていただきます。町村長でつくっている愛知県町村会というものがございまして、その会長であった幸田町の町長さんがお亡くなりになり、次の会長を理事会で決めることとなったのですが、皆さま方からご推挙いただき、阿久比町長が行うということで、私が町村会長に就任いたしました。そうしますと、今度は全国の方の役職も回ってくると思いますが、それも受けるということになります。命がけとは言いませんが、本当に体力勝負になってくるぐらいの過密の移動も出てきますので、皆さん方とこうしてお会いする時間調整をする上において、1年の計画は作っておりますが、例えば日にちを変えていただくとか、出られない時は副町長さんに出ていただくとか、職員にも助けていただきながら、何とか阿久比町が恥をかかないように職責を果たしていきたいと思っております。町民の皆さま方のご理解いただき、最近顔を見ないと言われるかもしれませんが、違うところで一生懸命働いているということで、ご理解をいただきたいと思っております。その代わり国、県とのパイプは必ずや太いものとして、そちらからの情報をいち早く職員に伝えて、他の市町よりも先に、ちょっと先に手を打つということが、これが大きく今からの行政には必要かと思っておりますので、そういう仕事を兼ねて頑張ってきますので、ご理解いただきたいと思っております。

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

「学校と地域とのつながりについて」（配布資料に基づき教育部長説明）

内容は同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

（学校と地域とのつながりについて地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

要望）オアシス大橋から信号を渡って団地の方に入った、紅白接骨院をもう少し上がったところの緩いカーブで、東から入る歩行者と自転車が通る道のことですが、その道とつながる大通りに一瞬ガードレールが何もなく、自転車の人だと膨らんで曲がるのでいつ事故が起きてもおかしくないような状況になっています。特に朝は皆さん急いでいるのでとても危険です。この道は通学ゾーンとして、道を赤や緑に塗るなどいろいろな方法があると思うので、道幅を広げられないにしても減速できるように改善を早くしていただきたいと思

います。（地区不明）

答）オアシス大橋の東の交差点から東の方へ行った、区画整理をしたところのとの境は、道路幅が狭く、規定の道路幅を満たしていない状況ですが、今年度工事を始めます。まだ入札は行っていないですが、今年度完了を目指して工事を進めます。それによって歩道や車の流れが全て変わってしまいますので、それを見越して安全対策など工事の中で考えていきます。もうしばらくお待ちいただきたいと思います。（建設経済部長）

要望）あいさつ運動を年に２回していただいていると思います。もちろん子どもたちにあいさつをしてねというように教育していくのはとても大事ですが、大人がもっとあいさつをしていれば子どもたちはもっと自然にあいさつが出来ているはずだと思います。私が山陰の方に旅行した際、朝、散歩をしていたら地元の中学生在が屈託無く普通にあいさつをしてくれました。やはり大人の姿がそのまま子どもたちの姿に映っていると感じました。子どもたちの啓蒙も大事ですが、大人の方にも阿久比町としてあいさつ運動に取り組んでいるので、みんなでやりましょうというように広報や回覧板で周知して、子どもたちが楽にあいさつできるような環境づくりをして欲しいです。（地区不明）

答）ありがとうございます。あいさつは人と人との最初の接点になると思いますので、子どもだけでなく大人もしっかりあいさつできるようにしたいです。ありがとうございます。（教育部長）

質問）東部小学校の通学路は南北に非常にすごく長いですが、オアシス大橋の交差点から学校まで監視カメラが何台くらいこの道に設置されていますか。（地区不明）

答）阿久比町の中では７０台ですが、県道は少ないですね。ここに何台か設置されているかはすぐには出ません。（町長）

要望）新潟の事件もあるので、監視カメラを何台かつけていただきたい。それから、もう１点、郵便局の前に横断歩道がないのでつけていただきたい。あの通りは子どもが自転車で絶えず通っていて危険がある。それに、横断歩道はセブンイレブンとオアシス大橋にあるだけで全然無いです。郵便局の前はちょうど団地から宮津へ抜ける道に非常に良いものですから、横断歩道をつけていただきたい。（地区不明）

答）横川線をつくるので、それを踏まえて公安とも一度話をさせます。つける予定になっているかもしれないので。（町長）

（資料「平成３０年度 各学校行事予定」について説明）（教育部長）

この表は、平成３０年度の各学校において地域と関係がある主な行事予定を表にしてみました。ここは東部小学校区ですので、４月の入学式から３月の卒業式の間に各種行事が

行われております。地域の協力となりますと、各小学校では月に1回土曜学習を行っております。そこでは地域のボランティアの皆さんが学校に午前中に来ていただいて、子どもの宿題とか勉強でわからないことを教えていただいたり、本の読み聞かせボランティアというものもありますので、いろいろとやっていただいております。また6月に開催しています「親子ふれあい教室」という行事もありまして、地域のボランティアの指導による、浴衣の着付け、切り絵、エコモップ作りなどをふれあい教室でやっているということです。こんなことができるよという方が見えたら、学校の方にも話をさせていただいて、ぜひ協力をいただけるとありがたいと思っております。東部学区では、平成28年3月に東部コミュニティが設立され、地域の連帯意識を育て、豊かで住みやすい地域づくりを目指し、活発に活動が行われています。昨年は、9月24日に「東部ふれあい広場」を開催して、フリーマーケットや小学校の金管バンドの演奏などいろいろなことを地域でやっていると聞いております。その他にも、コミュニティと学区会で「自然を見つめて一万歩」や「風揚げ大会」など親子を含め、家族が楽しめる行事を東部学区では開催しています。先日、東部コミュニティの総会に顔を出させていただきましたが、毎年「東部学区レクリエーション大会」をやっていたそうですが、昨年度は衆議院選挙の関係で残念ながらできなかったということですが、昨年は新たに運動場にクリスマスツリーの大きいものを作って、これもコミュニティの事業だということで、大変たくさんの方が見学に訪れたと聞いております。他にも4月は春祭りの時期ですので、多くの子どもたちが地区のお祭り、山車などに参加していると思います。そういったことも学校と子どもと地域のつながりになっていく行事だと思いますので、ぜひこれからも引き続き盛大にやっていただけたらと思います。

少しPRさせていただきますと、この表の中で、幼保小中一貫教育の事業で、毎年6月と11月に、町内のすべての幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、役場、PTAなどによる、幼保小中高一斉あいさつ運動を実施しています。あいさつは人と人との顔がつながる第一歩だと思いますので、これからもあいさつ運動を続けていきますので、皆さんも参加していただけるとありがたいと思います。

その他に中学校の行事では、阿久比中学校では毎月、阿久比駅の清掃活動を地域貢献として行っています。それと、矢勝川のヒガンバナの球根を植えるボランティア活動に参加しています。昨年は6月4日に292人の阿久比中学校の生徒が参加しています。それと2月に、3年生が3年間の最後のボランティア活動として、自分が卒業した幼稚園・保育園に出向き、トイレ掃除や窓ふきや廊下の雑巾がけなどの清掃活動を行っています。こういうことを皆さんにも知っていただいて、学校としては地域とのつながりを深めたいということで、いろいろと事業を行っておりますので、皆さんもそういったことを理解していただいて、ぜひ学校の方の協力もよろしくお願いしたいと思います。

最後になりますが、今年も住民税1%町民予算枠制度でいろいろな事業が行われますが、学校が関係した事業では、まず、毎年、高齢者やいろいろな達人の方がいる「ある巡回講座」をやっている団体があります。夏休みに学校で子どもたちに、自分たちの知識を伝えるということで、学校みたいに教室を行っています。矢勝川の球根植えも、この1%事業の一つです。音楽だーいすきさんが、各小学校や中学校で音楽会を毎年開催していただいております。学生やPTAの方以外でも見学ができるということで、そのよ

うなところで一緒に音楽を楽しむというのも、良い事業だと思います。東部小学校は5月22日に開催されますので、音楽だーいすきも見ていただけたらと思います。

これらと少し違いますが、地域支援ということで、株式会社デンソーが、「デンソーサイエンススクール」ということで、デンソーのOBの方が毎年小学校5年生を対象に、科学に興味を持ってもらうように、夏休みに町内4小学校で実施していただいています。また、シルバー人材センターでは、「夏休み宿題教室」として、高齢者の方が、習字や絵の宿題のお手伝いをしてくれる活動も行っています。これからも地域の方が学校とつながりを持って、いろいろなことをやっていただけると、子どもたちも成長できるのではと思いますので、よろしくお願いします。

教育委員会としても、地域とのつながり、学校とのつながりということを目指して頑張っていきたいと思いますので、皆さんご協力をよろしくお願いします。

私からの説明を終わります。ありがとうございます。

教育長からあいさつ

新潟の方で小学校2年生の子どもが痛ましい事故に遭いました。阿久比町でそういった事件が起きないようにするためには、地域の見守り隊や学校、家庭が力を合わせて声を掛けていただいたり、見守っていただけたりすることが大切です。よろしくお願いします。

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 懇談会に来られない方の代弁です。その方のお孫さんが阿久比中学校に通っているのですが、阿久比中学校の南部坂がすごく急で、雨の日や雪の後はとても滑り、特に自転車を押して登っていく子や下りていく子が危ないそうです。その方は2日間お孫さんに同行して様子を見たそうですが本当に危なかったため、滑り止めなどつくってもらって歩きやすいようにして欲しいと言っていました。(宮津団地)

答) 確かに雪が降ったりしたときは危ないかなと思います。ただどういった方法で滑り止めをするかが難しいです。もちろん雪が降ったときは融雪剤を撒いて滑り止めをしますが、それだけでは完全な対応にはならないと思うので。どんなことが出来るか検討させていただきます。(教育部長)

質問) あいさつ運動のことで気になることがあるので発言させていただきます。私の家の前は宮津山田と陽なたの丘の子どもたちが団体で通る道になっているので、帰りの時にばらばらとくる子たちにおかえりと声を掛けるのですが、ちゃんと答えてくれる子どもたちと全く答えない子どもたちがいます。あるとき聞いたのですが、親が子どもに知らない人から声を掛けられても親しく答えるなど言っているらしいです。個人的に悩んでいるので、そのへんをPTAの中で話していただけないかと思ひまして。(宮津山田)

答) 町としましてはあいさつ運動を推奨していますので、学校の方で朝はおはよう、帰り

はさよならなどあいさつができるように子どもたちには指導していきたいと思います。(教育部長)

意見) 私は全てあいさつから始まると思っている一人ですので余計気になってしまって。
(宮津山田)

答) 女の子が殺害された事件の時に、テレビで、知らない人には逃げるようにして顔を合わせるなというようにコメントを言った人がいましたね。難しい問題ですね。啓発して頑張ろうと思います。(町長)

質問) 今の意見に関してですが、東部小学校の先生に同じようなこと言ったら子どもたちにあいさつをするなって言っていましたね。誘拐されたらどうするんですか、誰が責任を取るんですかって言っていました。それが当然。半田の議員さんも子どもたちがあいさつしなかったって小学校に怒鳴り込んでいったら同じように言われたって言っていましたね。今回未来づくり懇談会と言って、未来は何年先のことを言うんですか。5年先10年先20年30年。人口動態、税金、少子高齢化などこの先どうなるかと言われていますが、阿久比町の45年を見ていたら101.8%増えるとなっている。果たしてそんなに増えますか。確かに今のままだったら増えるかもしれないが、こういう将来的な見通しは町として検討はされているのでしょうか。(地区不明)

答) 今日渡した資料の、上の表の下に書いてありますが2045年：国立社会保障・人口問題研究所というところが毎年推計をして全国各地に出しています。阿久比町独自で出せるだけの能力がありませんので、こういうところの資料を基に説明などさせていただいておりますのでご理解いただきたいと思います。(総務部長)

答) 先ほど未来づくり懇談会の未来という話がありましたが、2045年、これは大体私も東京に研修に行ってもこのあたりの年を元にすることが多いです。これまでの間はどうかというと、こうなるまでの状況を想定していろいろ施策を行います。ですが、阿久比町は正直言ってここ数年で一気に人口が増えたので、今の日本全体の自治体の考え方とはちょっと違うことは事実です。他のところはかなり人口減少していて、5月4日の読売新聞では消滅予想都市人口の減が加速している、つまり、8割の713の自治体が消滅すると言って衝撃を与えたときよりももっと進んで、都市化が止まらないというのが今回データで出てきました。これは私たちが見てもとても非常にショックです。私も県町村会長になりましたので全国の町村会に行きますが、町村会の理事会に行ってもそういうところの町長さんや村長さんの発言に今の阿久比町とのギャップを非常に感じています。しかし、統計は今のこの周辺の住民からデータを取っていますので、大きく天変地異による人口の削減が無い限りは社会的な流入を考えても阿久比町の場合は今のところ大体このような形になるのかなと考えています。90歳以上の女性がなぜこれほど伸びているのかは分析できておりませんが。(町長)

質問) 防災のことについて、町の取り組みを教えてください。本庁舎、ホールも完成して、ホールは多目的で避難所として活用されると聞いております。ホールは町内外からたくさんの方が来庁すると思いますが、来た人に対して何かあったときの避難誘導の計画とか訓練とかはされているのでしょうか。阿久比川の上の橋が全部落ちることはまず考えられないですが、落ちた場合に、東部学区というか川から東側は孤立状態になってしまふのでそういうところへの支援物資の輸送体制の計画並びに訓練は町としてやっているのでしょうか。よろしくお願いします。(宮津山田)

答) ホールなどの避難誘導をやっているのかという件につきましては、3月に庁舎に限って避難訓練をやろうとしたんですが、避難訓練をやるにあたって防災扉だとかいろんなところの設備を使うものですから、委託している会社との日程調整など、なかなか問題がありまして、近いうちはやりますが、現在そんな状況になっております。(総務部長)

質問) やる予定はありますか。(宮津山田)

答) あります。3月にやるつもりだったのですが、確定申告の真っ最中にそんなことをやったらどうなるんだとご指摘がありまして。(総務部長)

答) 反対を受けました。(町長)

答) そういことです。申し訳ありません。(総務部長)

質問) なぜ全体の防災訓練でやらないのですか。(宮津山田)

答) 結局、煙などを遮断する設備が全部降りてきてしまいますから、それを入れるのに費用がかかるなどいろんな理由があってそう簡単にはパツとはできなかったのですが、考えてはいます。特にホールは本当に早くやらないといけないと思っています。400人をいかに誘導して外に出させるかという。

支援物資の輸送のことですが、今言われているように私としては橋が落ちる想定はしていないのですが、ヤマト運輸さんとも協定を結んでおりまして、避難所などへ物資を運ぶ協定を結んでおりますので何らかの形で配送できると考えております。(総務部長)

答) 橋につきましては中央道のトンネルの崩落がありまして、その後橋梁につきましても5年に一度の点検が義務づけられておりますのでそれに沿って阿久比町も各橋の点検、点検で見付かった悪いところの補修計画を立てて順次改修をしているところです。ただ、オアシス大橋につきましては管理を県の方がやっているところです。ただ、県につきましても同じように5年に一度の検査をして悪いところはその都度計画を立て修繕をしておりますので、その点は安心をしていただきたいと思います。(建設経済部長)

答) 特に、下に線路がある橋は非常に重要で、落下物で電車に何かあるといけないものですから大きな橋はかなり気をつけていると県からは聞いています。(町長)

質問) 今の地震に関連してですが、宮津団地の防災マニュアルを整備して体制を整えていきたいと思っているのですが、阿久比町のホームページでは震度7の被害予想はほとんど死亡者がいないような数字が出ていますし、町の一斉防災訓練でも安否確認の集計をしてもその後は何をするかという指示がありません。地区はどういうことをどこまでやればよいという指針はありますか。(宮津団地)

答) 被害予想についてですが、阿久比町独自では先ほど述べたように推計を出すことが出来ないものですから国なり県なりが出した数字を町の防災マップなどいろんなところで使っています。地区の対応が、今年も6月9日に各地区から3人程度の方に出席していただいて自主防災会の研修をやります。その際に毎年自主防災会の運営マニュアルをお渡ししています。その中に発災後の対応マニュアルが載っておりますので、一度それを見ていただいて、それ以上のことでどうすべきか分からないことがありましたら防災交通課や消防の方へご相談していただけるとありがたいと思います。(総務部長)

答) 8月に行われる防災訓練について、今回は安否確認フラッグではなく、実際に救助をする訓練を行いたいと思っているので研修の時に説明させていただきます。それから安否確認フラッグを出している割合ですが、非常に悪いです。地区によっては全然だめなところもありますし、また、80%以上の確率で出していただいたところもあります。災害対策本部長として言わせていただきますと、今阿久比町の住民がどういう状況に置かれているかということを真っ先に知るすべのひとつがこの安否確認フラッグなんです。それを地域から無線を使って災害対策本部の方に早く上げていただき、同時に私たちが県の方へその状況をすぐに伝えて救援物資、自衛隊への要請をするなど、これを元に動きますので、頑張ってくださいたいのです。ですから自治会長さんは地区の人数の内のどれだけの人が避難所に駆けつけているかどれだけの人がけがをしているかということを出来る限り早く災害対策本部へ流していただきたいです。

また、スコップ一本救命活動をやっているとして、スコップを1,000円でかなりの方に購入していただきました。阿久比町の場合は火災と木造建物が倒れたとき、梁やなんかをスコップで、てこの原理を利用してもらって救助していかないといけません。とにかく一番怖いのは火が出たときに消火がほとんど出来ないことです。地域では消火隊をつくってもらって9地区が消火隊のポンプを阿久比町から貸与し、普通の消火栓から吸い上げることができるようになっています。これの良いところは消火栓は水道水なので、ポンプで吸い上げた水は火を消すだけでなく、バケツに入れば飲めます。火消し隊をつくってもらうと本当の災害の時には自分たちで対応できますので大きな力になると私たちは考えています。とにかく暑い中ですが今後もまた訓練の方をよろしくお願いします。今回は女性の方にも参加していただけるようにということを防災の担当は考えているようですのでそれよろしくお願いします。(町長)

意見) 過去2回もそうですが、一方的に時間を切らないで欲しいんです。声が終わるまで。町長自ら言っているじゃないですか、町民のしもべですと。だからみんなが言いたいことがあるのに一方的に切るのは精神に反しますよ。(宮津団地)

答) そういった考え方もありますが、早く帰りたい方もみえると思いますので。時間をまずは切って、とりあえずそれを目安にやっております。(町長)

質問) 子どもたちの学習内容が2020年の教育改訂でかなり難しくなっています。本当に難しくなっています。普通にしているだけでは学力に遅れが出るような状況です。その反面、ゲームやスマホがとても発達してきて、それにかまけちゃう環境にあると思います。学校で先生方が子どもたちに教育してくださっても、家での生活が乱れてしまうと全く学校での教育が生かされません。私は以前小学校のPTAに関わっていたのですが、小学校によって学校から保護者への啓蒙活動の差異がすごく大きく、東部小学校の方もお願いしたんですけども、あまり保護者への啓蒙活動は行われませんでした。家庭が取り込まない限り、学校が頑張ってもなしのつぶてだと思うのでお願いしたいと思います。また、不登校に関する調査があり、睡眠時間が少ない子ほど不登校になっているということが言われていまして、それに取り組んだ中学校では子どもの生活が改善されて不登校がなくなったなど、かなりの改善があったということです。阿久比町も早寝早起き朝ごはんなどいろいろ取り組んでくださってはいますが、もう少し踏み込んだ睡眠教育を具体的にしたいと思っています。今日資料を持ってきましたので後でお渡ししたいと思っています。(宮津団地)

答) 生活の基盤は家庭にあると思います。以前、睡眠教育に一時期関わらせていただいたときに、早く寝ると脳を休めて体の調子を取り戻すことができるのでいつ寝るかはとても重要であると聞きました。子どもたちを育てるために睡眠は非常に有効です。それぞれ家庭環境が違いますが、睡眠について取り組むことを意識しながら教育をしていきたいと思っています。(教育長)

質問) 最後に乱暴な質問かもしれませんが、各地区への行政協力費の補助金が少なすぎると思います。宮津団地は年間で27万円です。宮津団地には高齢なグループなどあり、最近公園などの一斉清掃が危なくて出来ないという声が上がってきまして、もう斜面は危ないのでいいですという話がだんだん出てきています。だから、いわゆる都市公園維持管理委託というのを返上したいのですが。これは何か問題が出ますか。町へ返上です。年間8万円です。8カ所年3回やって。こういった現実を町はどう考えていますか。(宮津団地)

答) 都市公園の協力費清掃費の増額をお願いしたいということですが、私見で言わせていただいてもよろしいでしょうか。都市公園は地区の子どもたちが遊んでいただく公園です。今言われている富士塚公園ですとか、宮津山田で言いますと中央公園、それから陽なたの丘にしても中央公園、東公園などありますが、こういう公園は近所の方など子どもが遊んでいただける公園なので、できれば自分たちの子どもやお孫さんが遊んでいるということを考えていただいて、私の考えですけれども、基本的には皆さんでやっていただきたい、皆さんで清掃活動をして使えるようにしていただきたいというふうに私は考えています。(建設経済部長)

答) つまり部長が言いたいことは、やはり行政だけでは全てやっていけないということです。8万円が多い少ないいろいろご意見はあると思いますが、公園の清掃、草刈りはできたら地域の方に何とかご協力願いたいというのが一つです。それから、いざ災害が起きたときにはどうしても公園という公共的な施設も使いながらいろいろやらなければいけないことも出てきますので、そのあたりはできればご協力いただきたい。都市公園のトイレ清掃などは町の方でやらせていただいていますし、トイレ一つ作るにも1,000万以上の金額を町の方も投資しながらやっているの、町がやらなければいけないことは町としてもやっていきますが、維持をすることにおいてはやはり地域の自治会の力を借りてやっていきたいです。町民との協働という言葉をよく使いますがこれがひとつの協働の表れじゃないかなというふうに思っています。それから、実際災害が起きたときの最初の3日間、行政は全く動けません。私たちが訓練をやっても実際60%くらいしか集めることが出来ないと考えて計算しています。そうしますと今の本部体制を維持するのが精一杯で職員を23地区に分散させることは不可能なので、どうしても自治会の中でのリーダーを取っていただいている人たちによって最初は踏ん張ってもらうしかないというのが現実です。なので、できたら公園の維持については今までのようにお願いしたいです。税金が上がるなら、自治会さんともお話ししながら考えますが、今のところの予算編成見ていただいても分かるようにここわずか4年の間にどんどん支出の部分が伸びています。今私たちが力を入れなければならないのはまず子どものことです。これは待ったなしの状況になっていますのでそちらの方へ少し優先して使わせていただくことをご理解いただきたいです。(町長)

意見) みんなの公園はみんなで綺麗にするというのは当然そう思うのですが、斜面の草刈りをするのに高齢化が進んで現実できなくなってきつつあるというのは現実。今すぐではないですが。(宮津団地)

答) そういう危険性のあるところについてはまた自治会長さんの方にご相談を受けながら対処出来るような方法があればまた考えたいです。(町長)

意見) 元々算定基準が8カ所3回で8万円くらいでできるシルバーさんを参考にしているのが問題です。自治会がやるとお茶を出して、来ない人にはペナルティを課して集めるなど、そこまでやると20万円、30万円かかっています。(宮津団地)

質問) 人的資源のところへ予算を払って欲しいということをおっしゃっているのでしょうか(町長)

意見) 返納をしたら町としてそこを清掃するのではということです。3万円、5万円払うので逆にお願いしてもいいです。実際は20万円とかそれくらいのお金を使ってやっているの。平面だけだったらやれます。斜面は危ないのでやれないという人がいて、一部の人にしわ寄せが出てきている。(宮津団地)

答) やりにくいことについては先ほど言ったように自治会長に相談を受けながら考えます

が、公園自体を町が引き受けるということは今の状況では不可能だということを申し上げます。（町長）

意見）8万円が出来ないということですか。出来ないという人が出てきています。（宮津団地）

答）たった8万円とおっしゃいますが、阿久比町にはたくさん公園があります。その部分につきましてはどういう状況になっているか町の方で調べさせていただきます。つまり平坦な部分はやっていただけるということですか。（町長）

意見）平坦なところはもちろんやります。（宮津団地）

答）斜面のところだけを町の方で管理してもらいたいということなら、そういう言い方で言っていたかないと。先ほどの言い方だと全部返納して8万もいないから全部町の方でやってほしいということでしたので、それはご協力いただいて一緒に管理するべきじゃないかと申し上げました。（町長）

意見）考え方はみんなが使う公園だから協力をするけども、私的に斜面をやるだけでものすごく費用がかかりますよということです。（宮津団地）

答）それはもちろん斜面が都市公園になっているというところですね。そのあたりは個別に担当の方へ自治会長さんに来ていただいて、お願いします。（町長）

5. 閉会あいさつ

未来づくり懇談会熱心にご参加いただきましてお疲れさまでございました。今回は学校と地域とのつながりについてのテーマで懇談会を実施させていただきました。今回のテーマにつきましては大変身近で大事な内容であると思います。これからも皆さんとの地域づくりに努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。気をつけてお帰りください。（副町長）

平成30年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月16日（水）午後7時～午後8時45分
□会 場	白沢区民館
□参加者	町側10人、地区側24人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

報告）新聞で発表されましたので、皆さんにご報告とお願いをさせていただきます。町村長でつくっている愛知県町村会というものがございまして、その会長であった幸田町の町長さんがお亡くなりになり、次の会長を理事会で決めることとなったのですが、皆さま方からご推挙いただき、阿久比町長が行うということで、私が町村会長に就任いたしました。そうしますと、今度は全国の方の役職も回ってくると思いますが、それも受けるということになります。命がけとは言いませんが、本当に体力勝負になってくるぐらいの過密の移動も出てきますので、皆さん方とこうしてお会いする時間調整をする上において、1年の計画は作っておりますが、例えば日にちを変えていただくとか、出られない時は副町長さんに出ていただくとか、職員にも助けていただきながら、何とか阿久比町が恥をかかないように職責を果たしていきたいと思っております。町民の皆さま方もご理解いただき、最近顔を見ないと言われるかもしれませんが、違うところで一生懸命働いているということで、ご理解をいただきたいと思っております。その代わり国、県とのパイプは必ずや太いものとして、そちらからの情報をいち早く職員に伝えて、他の市町よりも先に、ちょっと先に手を打つということが、これが大きく今からの行政には必要かと思っておりますので、そういう仕事を兼ねて頑張りますので、ご理解いただきたいと思っております。

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

「学校と地域とのつながりについて」（配布資料に基づき教育部長説明）

内容は同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

（学校と地域とのつながりについて地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

質問）子ども110番のことですが、今、英比地区は18軒となっておりますが、私が確認したところによると、17軒と思うのですが、この18軒というのは字別にどのようになっていますか。（白沢）

答）おそらく1軒減ったというのは、白沢のサークルKが店を辞めてしまったので、ここが昨年度までは登録がありましたので、ここが無くなったと思います。あと、お店で言い

ますと、福住に泰和電光、阿久比団地にリファイン阿久比の渡辺建設、同じく阿久比団地に福住園芸、坂部に今井接骨院、NPOもやい、卯之山の松月堂や富士屋、白沢は花沢自動車、板山に榊屋、それ以外にも町議会議員さんの個人宅とか坂部の郵便局もあります。個人の方のご好意で登録してもいいというお宅もありますので、現在、白沢のサークルKを除いた17軒です。（教育部長）

質問）引き続き見守り隊について、先ほど英比地区に15人ほどみえますが、名前については個人情報の関係があるので問題があると思いますので、地区ごとや字ごとに何人か教えていただきたい。（白沢）

答）英比体育館での懇談会でも質問がありまして、私なりに地区によっての数を調べてみました。卯之山に2人、坂部に1人、阿久比団地に2人、福住園高台に1人、高根台で1人、福住で2人、白沢台で2人、白沢4人、これで15人になります。地区で見ますと板山とメイツ巽ヶ丘は残念ながら登録はいないということですが、先ほども学校への登録はしていないけれども、地区や大字の方で独自にやっている方のお話も聞きました。あえて学校には登録しないけど、見守り隊を毎日やっているよと前回の懇談会の中ではお聞きすることができました。しかし、先ほどもベストを配ることもありますので、できれば登録していただけると数が、こちらの計算した数と実際のが違ってくると足りなくなるということもあり得るので、できれば学校の方に見守り隊の登録をしていただきたいと思います。（教育部長）

質問）保育園の入所の件ですけれども、ちょっと聞くとところによると、阿久比は厳しくて入れない。例えば東浦では入れる人が、阿久比では入れないとかということを聞いたので、そのあたりの状況をお聞きしたい。（地区不明）

答）園の入所について厳しいということですが、今現在、私が把握している中では待機児童はいません。3歳から5歳の認定児童に関してはいません。ただ、0歳から2歳児は非常に多いということもありまして、その中で、条件に満たない方がいるということは聞いております。（民生部長）

質問）例えば、東浦の入所条件と阿久比の入所条件が同じなのか、厳しいのか。先ほども言いましたが、東浦で入れる人が、就労条件などの厳しい条件があるので入れないのか、だから待機児童はいないのか。（地区不明）

答）1つ言えるのは、0歳児から2歳児の関係もそうですが、社会保険に入っているという一つの条件があります。その辺が若干違うかもしれません。（民生部長）

質問）それは3歳からは条件になっていないのですか。（地区不明）

答）3歳からも条件になっています。同じです。しっかり就労されている、働いている条

件を満たした人が、優先的に入れるように条件をつけさせていただいています。（民生部長）

質問）その条件は東浦とか同じですか。（地区不明）

答）東浦ではその条件は解除されているかもしれません。（民生部長）

質問）先ほどから小学校とか中学校とか知多管内でいろいろ良い状況だと言われたので、その中で、待機児童はいないけれど条件を厳しくすれば、東京とかもいろいろ言われていますが、厳しくすれば待機児童にならないかもしれない。そのへんの縛りがどうなのかなと思います。

答）この４月から、入所条件も緩和されまして、就職を探すために保育園に入園させて欲しいという申し込みがありました。今までは、就活中は難しかったのですが、就活中でも３カ月間は入園できるという条件に緩和されましたので、入園に関しては窓口は広がったと考えます。（民生部長）

意見）知多管内で情報を共有している方がみえて、東浦なら大丈夫なのに、ここはどうなのかなと。詳しいことは分かりませんが。（地区不明）

答）民生部長が言っているのは、そんな大きな違いは無いですが、ただし、阿久比町の場合は、幼稚園を町立で運営しております。幼稚園とは就労していない方が行ける部分であります。保育園というのはお母さんがお勤めになって、保育ができないという家庭を私たちが措置しなければならないと法律的にも決められています。そういう要件的なものに対して行っておりますが、それを確認するために阿久比町の場合は社会保険に入っている、お勤めされているというチェックをしているということです。今、東浦町がしているかどうか確認をしておりますので分かりません。国の決められたことに関してきちんと職員はやっていると思っております。（町長）

質問）裁量的なところが若干あるのか、まったく四角四面なのか。そのあたりが分からないのでお聞きしました。（地区不明）

答）私たちは行政プラス民間も、２、３年の間に２つの民間保育園が入ってきて増えております。民間も利用しながら、待機児童ができないように一生懸命努めております。愛知県下でも急激な児童数の伸びということで、なんとか職員を頑張らせます。（町長）

質問）待機児童ゼロということは、聞こえは良いが、実情はどうなのかなと思ひまして。その辺を含めて、知多１番、県１番になるように頑張ってもらいたい。（地区不明）

（資料「平成３０年度 各学校行事予定」について説明）（教育部長）

この表は、平成30年度の各学校において地域と関係がある主な行事を抜粋しました。それぞれの小中学校の4月の入学式から3月の卒業式の間の地域の方の協力によりまして行っている各種行事が載っています。表の下の方にありますが土曜学習を各学校でやっております。英比小学校では「学びず」という名称で行っていますが、おもに月の第1土曜の午前中にやっています。そこでは地域のボランティアの講師や学生ボランティアの方に、子どもの宿題とか勉強でわからないことを教えていただいている事業があります。それ以外にも読み聞かせボランティアというものもやっています、図書サークルの方も学校に行って、子どもたちに読み聞かせをしていただいております。英比小学校にはビオトープがありますので、どんぼちクラブという団体がありまして、そちらの方が学校のビオトープの管理などをボランティアでやっていただいております。

表の中の6月には英比小学校でも「親子ふれあい活動」を毎年行っておりまして、地域のボランティアの方が活動の指導者になっていただいて、これまでに浴衣の着付け、切り絵、エコモップ作りなどをボランティアの方が学校へ出向いていただいて、やっていただいている活動もあります。英比学区では学区会と家推協の事業ということで、地域のふれあい活動も行っています。10月には家族ふれあいウォークを地域の皆さんとやっておりますし、1月には町内全域で行っておりますが、たこあげ大会を英比小学校は英比小学校の運動場で開催しています。表の一番下の真ん中ですが、町一斉あいさつ運動を載せてあります。こちらの方は毎年6月と11月に町内のすべての幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、役場、PTAなどによる、幼保小中高一斉あいさつ運動を実施しています。あいさつをするということは、人と人の顔がつながる第一歩だと思いますので、これからもあいさつ運動を続けていきますので、皆さんも協力していただけるとありがたいと思います。11月2日は阿久比教育の日を定めております。この11月2日は、先ほど最初に町民憲章を唱和させていただきましたが、この町民憲章が定まった日が11月2日ですので、この日を阿久比教育の日と定めております。この阿久比教育の日の近く、1週間前後ぐらいに学校では学校公開日を設けておりますので、またそういうところにも、皆さんの参加がいただけたらと思います。

中学校のボランティア活動を紹介させていただきたいと思います。阿久比中学校では平成15年度から、明るい社会づくり運動との協賛で、毎月1回早朝に阿久比駅の清掃活動を行っております。子どもたちは朝ボラと言いますが、生徒同士が声を掛け合って、雨の日も風の日も自分で参加していただいております。部活動がある日ですと、部活動のユニホームで参加している子もいると聞いております。阿久比町の玄関である阿久比駅をボランティアできれいにしていくというのも、いい活動であると思っております。それと、南部学区ですが、毎年、半田との境に矢勝川がありますが、この矢勝川にヒガンバナの球根を植える活動を、阿久比中学校の生徒さんに手伝ってもらっています。去年は6月4日に292人の阿久比中学校の生徒が参加しまして、15,000個のヒガンバナの球根を矢勝川の堤防に植えるボランティアもやっています。それと卒業が近くなると、3年生は自分が卒業した幼稚園・保育園に出向き、トイレ掃除や窓ふきや廊下の雑巾がけなどの清掃活動を地域とのつながりを深める意味もありまして行っています。こういうことを地域とのつながりを深めながら、学校と地域とのつながりを深めまして、これからの阿久比町の若い世代の方がすくすくと育っていただけたらと思います。

少し紹介になりますが、今年は住民税 1%町民予算枠制度で見守り隊のベストを作ります。発明クラブの方が学校で化学の教室を行うという事業もあります。コラボ事業で「あるある巡回講座」がありまして、高齢者の方がそば打ちとか絵手紙とかを子どもに教えてあげようということで、夏休みにそういう活動を行っております。それと音楽もみんな一緒に親しめるということで、数年行っていますが、今年は英比小学校ですと5月23日水曜日の午後1時30分から音楽の演奏会がありますので、これはどなたでも鑑賞することができますから、時間がありましたら参加していただけたらと思います。企業では、株式会社デンソーが、「デンソーサイエンススクール」ということで、デンソーのOBの方が毎年小学校5年生を対象に、科学の授業をボランティアでやっていただいております。そういったことを町内でも進めていって、地域と学校とつながりを深めていきたいと思っておりますので、また皆さんのご協力をよろしくお願いします。

私からの説明を終わります。ありがとうございます。

教育長からあいさつ

私の方から一言だけ追加させていただきます。阿久比町は本当に地域の方が声をかけていただいたり、ボランティアの方が参加していただいたり、また祭りなどいろいろなことで子どもたちに関わっていただいております。そのことが子どもたちを伸ばす元になりますし、あいさつなどもいろいろな形でやられておりますし、見守り隊として朝子どもと一緒に学校まで来ていただいている方もみえますし、また今後も、引き続いてそのような形の中で子どもが育っていくことに力を貸していただける阿久比の大人の方々がたくさん出ていただくことを願っております。学校はもちろん現場として子どもに直接関わっていきますけれど、どんな形でもいいので子どもと関わるところでお力添えをいただき、子どもたちの成長に関わっていただけるとありがたいです。今後ともお力添えよろしくお願いします。

要望) 本を貰っていただけないでしょうか。本で埋まっておりまして。身を切られる思いで、大量に本を処分しました。今は入手困難な本もありましたが、まもなく80歳になりますので、処分に困りますので。まだ大量にありますので。今特に貰っていただきたいのは百科事典で、いろいろな図書館にお願いしましたが断られてしまいました。図書館は図書館で決まった割付があって、スペースがないとのこと。私は県外の人間ですが、愛知県の方は非常に美しい心をお持ちで、頂いた物にはお礼をしないとイケないと、そういうことをおっしゃる方が見えまして、貰っていただきたい物がたくさんありますがなかなか差上げられない。(日生)

答) 一度個別に相談させていただいて、学校にも聞いてみます。ありがとうございます。
(教育部長)

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 先日的大雨、土曜日の夜から日曜日の昼ごろまで雨が降りました。白沢台の入口がS字になっておりまして、上り口のところにマンホールがあり、ちょっと雨が降るとマンホールから水が溢れて道路が洪水になります。先日もこれは小さい子には危ないなと聞いております。見に行きましたところ、大きなマンホールがありまして、その中の土砂が堆積しているのではないかと思います。これから梅雨に入りますし、台風も来ますので、マンホールに溜まった土砂を処分していただきたい。お願いします。(白沢台)

答) 白沢台の入り口というと、どのあたりですか。(建設経済部長)

答) 半田街道から行きますと名鉄のガード下をくぐって、知多半島道路をくぐって行って、上り口がS字になっていますよね。S字のところですよ。(白沢台)

答) 場所は分かりました。一度現地を見させていただいて、対処したいと思いますのでよろしくお願いします。(建設経済部長)

質問) 地域から町へのいろいろな要望とかがありまして、それは大体の場合が行政協力員を経由して、いろいろ直せとかいろいろな要望とかを町のフォーマットを使って出しています。各提出したものに対して、年度末になって町の方は予算をつけて、出したものには、これはやる、これはやらないと決められていると思います。提出したものに対して、その可否が今現在どのような形で回答されていますか。建設関係のものが多いたと思いますが、採用されるもの、採用されないものがあるんですが、それが提出者に対してどのようにその可否を、結論を伝えているかを聞きたいです。(地区不明)

答) 区長さんの方から要望書を出していただいて、ここが悪いとかここを直して欲しいとか要望が出てくるわけですが、それにつきましては、担当課で現地を見て、区長さんや自治会長さんに直接お答えをさせていただいていると思います。やれるものに対しては、だいたいいつごろになりますと、今年度やれないものに対しては次年度予算を取りますよという形で、できないものにはできませんとお答えを直接自治会長さんにしていると思います。(建設経済部長)

質問) 私も経験者なので、町からきちっとした回答をいただけなかったと思います。採用された部分については良いのですが、不採用の場合は不採用の理由が分からないのです。もう一度不採用のものは来年度提出するというルールがあるのですが、不採用の理由がきちんと分からないと、来年度出しにくいということもあります。一生懸命地図や文章を書いて作成しているのですが、簡単にダメだったよとかで、次につながる事が難しいことがあります。もう少し、失礼な言い方ですけど、一生懸命文章を書いた人に対する回答をきちっとした形で出せないものですか。こちら一生懸命文章作りますが、担当の方が「ああこれダメだったよ」という1発の声の回答でした。今年度もう1度出しても採用されるのか分からないし、はっきりした不採用の理由が伝えられない。このようなことでいいものなのか。忙しいのでいちいち文章で出すことはできないので、担当者が口頭で回

答することで済まされているし、どこからの回答も同じだと思いますので。この場を借りて、これでいいというならしょうがないですが、町の方の回答に改善点は無いものか、また検討できないものでしょうか。（白沢）

答）よくおっしゃることは分かります。これは私も東京へ行って、給食センターの補助金が貰えなかった。不採用と言うことですよ。不採用の理由は、一切国も県もお話はくれない。これが今の日本の行政がずっとやってきたかたちなんでしょうね。回答がしにくいということも理解できるところもあるんですよ。これが、例えば、要望が各地区、行政区の23地区出てきた時に、まず、緊急性のあるものについては当然、生命財産、生活を守るものについて予算をつけていくのは、行政としては当然のことだと思います。しかし同じランクの要望が出てきた時にどうするかというと、1つは政策的な部分があります。その時に私たちが考えるのは、今日は北部の方ですので、そちらに大きな事業の予算をつけてしまった場合、限られた予算の中で大きい事業のところを外せば、小さい事業を阿久比町中分配できるとなれば、それを採択することもあります。それに対してその大きな事業を理由をつけて止めるという、なかなか理由をつけることが難しいこともあります。ですから、1つには私たちを動かす時に、地区としてもこれだけの努力をして、例えば道路を拡幅する時に、地主さんに自治会また近隣の方にこれだけ話をつけてきたので、来年度や再来年度に予算化して欲しいという説明をするところと、ただこの道路を広げるから予算をつけてくださいと言ってきたとするならば、町としては、どちらを優先するかとすれば、当然自治会などが動いて、地主さんとも説明がついて、速やかにできるほうに動くこともあります。いろいろなパターンがあるので、こうだからこうだという理由をつけて、地区の方へ回答するのは、職員では難しいこともあるのかと思います。それに対して、町の方も重要だというものは年数を変えて毎年出していただく。十何年続けて要望を出していただいていた坂部の洞雲院の信号機の設置については、阿久比町も公安の方へ毎年毎年意見書をつけて出していましたが、できないものはできないということでした。今度は道路を奥の方へ、町が予算をつけて迂回させて、漫画喫茶の道路へ出る道を今年中に完成させることになりました。白沢だけでなく他の地区からもよく聞きます。何で外されたのかということと、いつやってくれるのかということをよく聞かれます。出てきたものはすべて没になっているわけではなくて、没になったものも精査してありますので、またそれを読みながら、重要なものになれば、予算をつけて動いていく形になりますので、ご理解いただかないといけない部分もあると思います。県や国はもっと冷たいです。県は一度落ちたものは復活するのは難しいと言われております。もっと厳しいです。どうぞご理解いただきたいと思います。（町長）

質問）民生費の歳出予算が出ております。民生費の1人あたりが、高齢者や障がい者などに対する福祉サービスなどにとありますが、それぞれ皆さんが自助、共助ということをもっと徹底していただけたら、こういう費用も削減される。これは社協でもおやりになっていると思いますが、自分の健康はまず自分で守るという考えとか、お隣同士、友達同士助け合う、共助の地域での助け合い、それから公共の援助をいただくという思想がどこにも出てこない。もっともっと徹底すれば、民生費の高齢者に対する費用が少なくなるのでは

ないか。運動をするのに案内がきますが、年齢制限があります。そういう催しに行きたくても、私の年齢になると全然該当しないです。みんな若い方で、それも結構ですが年齢制限をつけないで欲しいです。社協でもやっておりませんが、自分のことはまず自分でやる。最後に公助ということを、まったくPRされていないので、そういうPRをして欲しい。
(メイツ巽ヶ丘)

答) 例えば、2年前、この未来づくり懇談会で「高齢者と地域をつなぐ」というテーマでお話した時に地域でつながるために、サロンをつくりませんかと呼び掛けさせていただきました。その時点では9地区でサロンをやっていましたが、呼びかけをさせていただいた後に、さらに7地区でサロンを開催していただきました。いきいきクラブでのサロンや社協の小地域活動でのサロンが増えました。すぐに直結するわけではありませんが、介護保険の事業も保険料が7期においては据え置きになりました。それもおそらく、そういったサロンをすることによって高齢者の方も介護認定を受けずに生活できる介護予防ができたのかなと思います。昨年は健康づくりを呼び掛けて、行政を頼る前に自分のことは自分でやる、地域のことは地域でやるということが非常に大事なことで申し上げました。ご意見を参考にさせていただいて、これからも福祉の向上に努めたいと思います。ありがとうございました。(民生部長)

質問) 白沢台から巽ヶ丘まで自転車通勤をしております、セブンイレブンの反対側の日生のところに踏切があって、踏切側の道路は車幅が狭くなるところがあります。ちょうど後ろから車が来ましたので、狭くなるところの側溝へ行こうとしまして、折りたたみ自転車だったので車輪が小さかったのではまってしまって。1回転しまして、あわや大事故になるところでした。擦り傷を負った程度でしたが、その側溝のところは緑色の線、通学路ですかね。緑色の線のところにちょうど穴が開いていて、子どもでも落ちると思うんですけど、グレーチングか何かやってもらいたい。場所はセブンイレブンの東側の踏切を越えて、線路沿いを北へ行ったところで、ちょっと幅員が狭くなります。緑色の線が引いてあって、穴ではなくて側溝ですが、グレーチングが無いんですよ。枠があって、ちょうど坂になっていて、途中で穴が開いていて水が流れるようになっています。その部分だけグレーチングがないです。緑色の線が引いてあって、通学路だと思うので、子どもたちが通ると危ないのでお願いします。(白沢台)

答) 大体場所は分かりましたので、確認させていただきます。(建設経済部長)

質問) 阿久比町には阿久比賛歌の町民歌がありますよね。こういう会議をやる前には、町民憲章はよくやりますが、せっかくある阿久比賛歌を運動会とかでも演奏されないし、歌われないし。以前、阿久比中学校の先生が吹奏楽用に上手に編曲されていて、1度、60周年の時に歌ったと思いますが、町では朝礼の時に流しているということですが。町民歌を歌える人や知っている人はあまりいないのではないかと、ちなみにこういうので有名なものが、長野の県民歌です。長野県の学校で子どもに教えているそうです。いい大人になって東京にでも出た時に、長野県民が集まると、長野県人会でその歌を歌っていると聞いてお

りますので、せっかくいい曲があるのですから、広めるようによろしくお願いいたします。
(メイツ巽ヶ丘)

答) あの歌は町制施行30周年、今から35年前に完成しダークダックスが歌っている歌です。この阿久比賛歌をこういうご意見をいただいて、もともとレコードだった曲をCDにダビングして、23地区へお配りしました。そしてこれを利用していただくことは、かなり前のことですがやりました。60周年の時は子どもたちに来ていただいて、歌を歌っていただきました。その前には愛知万博の時に、阿久比の日の会場でやった時にこの歌を歌いました。最近確かにおっしゃるとおり、朝礼の時以外はあまり聞く機会がないので、本当に歌としてはいい歌で、歌詞も阿久比にちなんだことですので、教育長さんともお話をさせていただいて、いろいろなところで使えるように努力させていただきたいと思います。
(町長)

5. 閉会あいさつ

本日は未来づくり懇談会熱心にご参加いただきましてありがとうございます。今回は学校と地域のつながりについてのテーマで懇談会を実施させていただきました。今回のテーマは、身近で大変大事な内容であると思っております。これからの皆さまとの地域づくりに、努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。それでは時間になりましたので、これで終了させていただきます。今日はどうもありがとうございました。お帰りは気をつけてください。(副町長)

平成30年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月17日（木）午後7時～午後8時45分
□会 場	草木公民館
□参加者	町側10人、地区側21人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

報告）新聞で発表されましたので、皆さんにご報告とお願いをさせていただきます。町村長でつくっている愛知県町村会というものがございまして、その会長であった幸田町の町長さんがお亡くなりになり、次の会長を理事会で決めることとなったのですが、皆さま方からご推挙いただき、阿久比町長が行うということで、私が町村会長に就任いたしました。そうしますと、今度は全国の方の役職も回ってくると思いますが、それも受けるということになります。命がけとは言いませんが、本当に体力勝負になってくるぐらいの過密の移動も出てきますので、皆さん方とこうしてお会いする時間調整をする上において、1年の計画は作っておりますが、例えば日にちを変えていただくとか、出られない時は副町長さんに出ていただくとか、職員にも助けていただきながら、何とか阿久比町が恥をかかないように職責を果たしていきたいと思っております。町民の皆さま方もご理解いただき、最近顔を見ないと言われるかもしれませんが、違うところで一生懸命働いているということで、ご理解をいただきたいと思っております。その代わり国、県とのパイプは必ずや太いものとして、そちらからの情報をいち早く職員に伝えて、他の市町よりも先に、ちょっと先に手を打つということが、これが大きく今からの行政には必要かと思っておりますので、そういう仕事を兼ねて頑張りますので、ご理解いただきたいと思っております。

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

「学校と地域とのつながりについて」（配布資料に基づき教育部長説明）

内容は同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

（学校と地域とのつながりについて地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

質問）草木小学校を取り巻く現状や、阿久比町の中でどのような位置にあるのかというのを部長さんから説明があったので、かなりデータ的にも把握できました。今、私どもこの草木地区で、できましたら地域のコミュニティで何かお手伝い・支援など出来ることがあるなら提案したり協力したりすることが必要じゃないかと思っております。今、問題となっている見守り隊だとか、犯罪につながるような現状が草木でどの程度実際には起こっていて、小学校の先生たちがどれぐらいの危機感を持って困っているか。ある意味私たちはそうい

う状況が直接把握できていないし、小学校便りというのが月に1回、回覧板で見させていただけだというのがあまりネガティブな事件とか事例がほとんど私たちには伝わってきていないので、本当のところがよくわかりません。ここで私たちがもし可能ならばそのプライバシーだとかいろいろ並行して出てくるかもしれませんが、できたら学校側で本当に困っている事例や要望などがもしあれば、地域のほうで持ち寄って相談したらどうかと思っています。意見交換ができればと思っている。（草木）

答）ありがとうございます。学校では4役である校長先生、教頭先生、校務の先生、教務の先生がお見えですので、教育委員会とはそれぞれ月1回会議を行っております。そこでは学校でのいろいろな問題だとか教育委員会からの指導などをしています。この大きな事件というのは先ほども言いましたけど、中学校の事件がここ数年では大きな事件であったと思っています。生命にかかわるような事件だったものですから、特にマスコミの話題には拳がっているのですけれども、幸いにも他の市町と比べると、阿久比町は知多半島内でも子どもたちは非常に落ち着いて、穏やかに暮らしているということで、外から来た先生や引っ越してきた方が言うには「阿久比は良いところだ」という話は聞いています。特に今困っているというところは言い出せばキリがないものですが、教育委員会で今一番困っているのは東部小学校の子ども数の増加かなと思います。それぞれの学校で大なり小なり問題はいろいろあるとは思いますが、さしあたって今ということまでは各学校から聞いていないのが状況です。ただ、いろいろな子どももいたり、保護者さんもいますので、全てが平穏で過ごしているわけではないかなと。ただ、草木の校長先生と話す中では、この草木地区はいろんな方が、1字1小学校ということもあり、皆さんが協力的にボランティアの方もたくさん来ていただいていますし、高砂会だとかいろいろな団体の方も含めて学校に対して協力的にやってくれていると聞いております。教育委員会としてはその面では少し安心しているところです。ただ、いつ何時なにが起こるかわからないものですから、危機感を持って子どもの教育を見守っていきたくて考えています。（教育部長）

答）子どもたちの育ち具合を見てみると、私が町全体という立場で見ると、子どもの中にいわゆる通常学級と呼ばれる学級の中に、発達障害をそれぞれ抱えておられる子どもさんが何人かおられて、その子どもたちが例えば1人の担任が担当するのですが、その担任だけでは動けないという子どもも現実には随分は割合としては増えてきたのかなと。昔でいうと担任の先生が指示を出せば、怒ればそれについてすぐ動ける動きがあったが、からだの都合、こころの都合で育ち具合の中にこの部分が、なかなか指示だけでは動けない部分があると思います。興味があることがあるとそれに動かされてしまうことから現在、町にお願いして生活支援員を入れていただいて、草木でもありますがボランティアに学級の中に入っていただいて、そして関わってくださることによって他の子どもたちへの生活指導ができるという点で、特に草木においてはそういうような形が取れているかなと思います。ただ、いわゆる単学級、1つの学級で、小学校からは6年生まで、もっと言えば保育園から6年生まで9年間にわたって同じ学級のなかで子どもたちが組み換えなしの状態、いっているところもあるものですから、その人間関係もしくは親同士の間人間関係も大なり小なり影響が出ているというところもあります。その部分がうまくまわっていけばいい

いけれども、一つ間違ったりするとその序列関係がなかなか修正されないということもあるものですから、そのことが自分自身の自信を持ちきれないという姿があったりします。ただ中学校へ行くと大きい集団に入っていくものですから、そこからいろんな人間関係をつくっていくことができると思います。非常に落ち着いている部分もたくさんあるのですが、その中にもそういう部分があるということを感じています。（教育長）

質問）わたしの孫が小学校でお世話になっているときに、夏休みなどにごみ捨てに行きたがって、毎回ごみ捨てに行ってくれました。どうしてごみ捨てがいいのかなあと。お小遣いをあげるわけでもないと思っていたら、後でわかりました。ごみ捨てに行ったらご近所の方たちがあいさつしてくれて褒めてくれておしゃべりしてくれてということが楽しくて、ごみ捨てに行ってくれるようになったのです。それで孫に教えられたのですが、私は高砂会で保育園の餅つきだとか小学校へすいとん作りとかに行かせてもらって、とてもそれは楽しいのです。孫と同じような気持ちになったら私にできることは毎日すれ違う子に大きな声でおかえりなさいっていうあいさつをすることができるのかと。それがきちんとやることができれば変なおばさんと思われないうしろ、助けてとも言ってもらえるのかなと思います。私の孫娘が阿久比中学へ３年間お世話になったのですけれど、医療費の無料化で本当に喜んでおります。４月が終わって５月になった時には陸上部だったのですが膝が痛くなってしまって、医者通いが始まったのですけれども、医療費無料化で助かりました。あれから３年経ちましたけれども阿久比中学校は今でもよかったと言っています。前いた小学校でお世話になった倉敷市なんですけども中学校の医療費は無料じゃなかったのです。こんな小さな阿久比でも良いところは良いと今でも言います。ただその女の子がひとつだけ苦しかったって言うことがあるんです。卵アレルギーでそのときの給食が苦手だったんです。医療費も無料ではない倉敷市では給食は代選食があったので、新しい給食センターになりましたら代選してやってください。代わりのものを家から持って行っても良いって娘も言われていたようですけども、やっぱり難しかったですね。自分が卵が食べられないからといって、いいものを持っていったら、みんなから浮いてしまうので、玉子丼のときは黙ってご飯だけいただいたそうです。ぜひ給食センターができたら代選食をお願いします。保育園や小学校の低学年のころはひどいアレルギーだったんですけども、体力がつけばアレルギーは少しずつ良くなっていく。今ではうちの孫も卵を食べられるようになりました。（草木）

答）給食センターにつきましてはこれから建設していきますが、その中にアレルギー調理室という部屋も造っていきます。完成してすぐというのはなかなか難しいものですから、半年なり、１年経過した時点ではまずは卵と牛乳における対策をと思います。アレルギー２７品目あるといわれていますが、そのうちのやはり多いのは卵と牛乳だですので、そのあたりから手を付けて行くことを考えていますのでよろしくお願いします。（教育部長）

（資料「平成３０年度 各学校行事予定」について説明）（教育部長）

こちらは平成３０年度の各学校行事の中で主なもの、特に地域との関わり合いやボラン

ティアの方の協力を得ていることを一覧表にさせていただきました。この草木小学校での4月6日の入学式から3月20日の卒業式までいろんな行事があるわけですが、まず見ていただきたいのはこの表の下の方にも各学校で土曜学習をしております。この草木小学校では「クサスタ」という名前で行っていますが、月に1回土曜日の午前中にボランティアさんのお手伝いをいただいてこういった事業も行っています。それと町ではあいさつがやはり人と人とのつながりの最初であろうということで毎年、町一斉あいさつ運動を6月と11月に保育園・幼稚園・小中学校・高校も含めてあと、役場やPTAさんも協力して年2回あいさつ運動週間として事業も行っていますので、皆さんもあいさつをして、子どもに声をかけていただきたいと思います。この草木地区ですと、表の中にもありますが、いろんな行事をやっていただいております、特に草木地区は運動会が学校と地域の運動会が一緒になってやっていることは他の学区とは違ったところだと思います。他にも春祭りでは餅投げが盛大に行われることも聞いていますし、夏の盆踊りでは仮想大会をやっていることも聞いています。家族みんなが楽しめるような催しを地域の方が企画して子どもたちに楽しい思いをさせてくださっていると思っています。10月にはふれあい餅つき大会は草木独自の行事だと思っています。小学校もそうですが、中学校の行事で一番右の欄ですが、中学校も地域とのつながりがあります。毎月、駅前清掃を阿久比中学校の生徒さんがしてくれています。平成15年から明るい社会づくり運動との共催で行っている行事であります。阿久比町の玄関である阿久比駅をみんなできれいにしようということで、毎月行っています。半田の岩滑との境の矢勝川でヒガンバナの球根植えを中学校の方がボランティアで参加しています。昨年も6月4日に292人の中学生が参加して15,000個のヒガンバナの球根を植えました。2月に3年生が3年間の集大成で地域に貢献しようという事業のひとつで、自分が出た保育園幼稚園に行きまして、そこで子どもと遊んだり、トイレの掃除をしたりというようなことも阿久比中学校では行っております。あとPRにはなりますが、阿久比町では住民税1%町民予算枠制度でいろんな地域づくりのことをやっていることから、学校と関係する事業と言いますと、アイデア事業では先ほど言いましたが、見守り隊のベストを今年作ります。また「みんなの科学教室」を阿久比にある高齢者の団体の方がやっている事業も1%予算枠であります。コラボ事業では「あるある巡回講座」で夏休みに子どもたちにそば打ちを教えたり、夜の観察会といった事業も1%であります。それと音楽鑑賞で各小学校の体育館で「音楽だーいすき」という事業もあります。草木小学校については5月23日の水曜日ですが、10時半から体育館でありますのでこれはどなたも行くことができるものですから、ぜひ時間がある方は行っていただきたいと思います。あと、草木川環境保全で草木川の魚とりを子どもたちと毎年一緒に楽しんでいるところです。また花サークル草木さんが花いっぱい運動をやっていただいているのも阿久比町の1%を利用した事業です。草木の方がこうしてたくさんの事業に応募いただいています。会社の方でもこの地区には株式会社デンソーがあります。10月にはデンソーフェスタというお祭りもやっていますし、デンソーさんは毎年、全小学校5年生を対象に「デンソーサイエンススクール」ということで科学の授業をやっていただいています。以上紹介させていただきました。

教育長からあいさつ

私の方から少しお礼を申し上げます。草木の地区の皆さんにおかれましてはいろんなかたちで草木小学校の子どもたちに関わっていただき、声をかけていただいたり、見守り隊で朝に見守っていただいたりしながら子どもたちの成長に様々なかたちで関わっていただいている方がたくさんお見えになります。今後も引き続きできることで結構ですので、子どもたちに関わっていただき、声をかけていただき、子どもの成長にお力をいただけますとありがたく思います。日頃のお礼を込めてありがとうございますという感謝を申し上げ、今後ともよろしくお願いいたします。

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問 草木には空き家がありまして、それもかなりひどい状況で、また危ない状況です。通学路も変えていただいたところ。早く壊したいわけですが勝手に壊すわけにはいかないものから、何か良い方法があれば町の助言も得ながらやりたいと思いますが。（草木）

答）議会の方でも空き家の質問をいただいておりますが、法律が出来ておりますのでそれに則って町では所有者さんには通知をして、改善をしていただくようお知らせしているところでございます。その他の物件でもあれば町に言っていただければ調べさせていただきます。どこまで調べても所有者がいないというときには町で壊す手続きを取らせていただくこともありますので、気付いていただいた空き家などありましたらお知らせいただければ結構です。今、言われた物件については所有者の方に通知を申し上げているところですので、今しばらくお待ちいただきたいと思います。よろしくお願いします。（建設経済部長）

質問 草木地区内で防犯カメラが何基くらい設置されているのかというのと、今後いろんな意味で町長さんが言われている安全安心。これが役に立つようでは困るのですが、ひとつの防止対策にはなると思うのですが、これと併せてこの重点施策の中に河川監視カメラの設置という項目がありますが、これは具体的に言うと例えば阿久比川、この草木では草木川。こういうところの何か監視するようなお話しなのかどうか。それから具体的にこれがいつどういうふう、阿久比町全体のお話しでしょうけれど、その目標というのはどのような段階になっているのか。一点は草木地区内の防犯カメラ。今何基あって今後どういうかたちで進めていく計画があるのかないのか。それから河川監視カメラをどういうかたちで設置されていくのか。この2点をよろしくお願いしたい。（草木）

答）まず防犯カメラについては総務部長からお答えいたします。今現在、町が管理している防犯カメラは70基あります。その中で今資料が全部ないのですみませんが、草木でわかる範囲で言いますと、中島公園、花かつみ園、草木小学校、草木保育園、福池公園、柏原公園、東原公園、あと多賀前の交差点です。それと草木西交差点、今手元にある資料で

すとそれだけ付いています。それと今後の設置というお話ですが、保育園や学校などにつきましては今年補充して付けるようなかたちになっておりますが、ちょっと草木小学校は資料がなく申し訳ないです。今年数カ所増設するところがあるのですが、それが草木地区のどこなのかがこの場ではわかりません。ただ、町としては防犯のためには必要だと考えておりますのでよろしくお願いします。（総務部長）

質問）今年中に、今もお話しがあったように2件くらいは設置されそうだと。こういう理解でよろしいですか。（草木）

答）草木地区の中は記憶がないのですが、町内で今年の予算で確か7カ所くらいは付ける予定となっておりますのでよろしくお願いします。（総務部長）

答）河川の監視カメラということで今年度2カ所設置を予定しております。1カ所がこの草木川と阿久比川の合流地点。白沢の宝安寺の辺りに水位を監視するカメラを1カ所付けます。それからもう1カ所が福住の予定をしております。福住新橋の辺りです。今年度この2カ所を予定しております。（建設経済部長）

質問）小学校に関する事で2点ほどあるのですが、一問一答ということなので2点目は後からにします。1点目ですが、小学校グラウンドの排水状況と言いますか、U字溝のつまりがひどいところがありまして、草木小学校の南側に遊具コーナーと藤棚があるのですが、そのあたりがすごく詰まっています、水捌けがひどいです。先月に草木の少年野球のご父兄の方とU字溝の上の砂を取りました。多少良くなりましたが、昨日学校へ見に行ったのですが、更に遊具コーナーの辺りまで砂を取っていました。ただその遊具コーナーの下の辺りがかなりひどいです。排水をたどると多分、埋まってしまっていて見えないのですが、どこまで行っているのかわからないのですが、土の山があって土管があるのですがそこからまた更に掃除してもまたすぐに流れてきてしまうものですから、梅雨時期になってきますと、ひどくなってきますし、藤棚が涼しいところなので子どもたちの熱中症の対策になるところなので、そこがジメジメしていますと環境が悪いかなと思いますので、掃除の価格がどうなるかわからないのですが、ご検討いただきたいと思います。（草木）

答）側溝の件については、実は昨日、倉建さんからもしゃべったら漏水しているのではないかとということで、水が溜まっているところを調べに行ったら側溝のところが土で詰まっていて、それがずっと先のほうまで埋まっているということを聞いております。水の流れがどこかで止まってしまっていることがわかったものですから、今後その対策をしなければなりません。いろんなやり方があるかと思いますが、私は南部小学校出身なのですが、南部小学校だと夏の清掃の時にグラウンドの周りの側溝をPTAの方で毎年、土を上げるということをやっていますので、草木小のPTAの方が同じようにやっていただけるのかどうかですが、それができないということであれば業者さんにお願いすることも必要ですけど、それにどれくらいの費用が掛かるかは今から見積もりを取ろうと思いますし、それが今年の予算でできるのか、できないとなると来年度に予算要求をするのかというかたち

をとっていきたいと思っています。（教育部長）

質問）最近、草木小学校にお邪魔する機会がありまして、感じたことなのですが、非常に教室が懐かしい。というのは私たちが過ごした昭和30年代の教室とまさに一緒なんです。確かにコンピュータ室があるのですが、ここにはタブレットが30台くらい並んでいます。しかし鍵がかかっています。そこが全然使えない。パソコンすら使われていない。こういう中でこれでいいのかと強く感じました。IT化に対する考え方を伺いたと思います。（草木）

答）それぞれの学校にパソコン教室がありまして、その利用については学校に任せてあるというのが現状ですが、今まではデスクトップパソコンというかたちでパソコン教室でないと使えないようなものだったのですが、昨年パソコンの入れ替えがありまして、画面だけが外せるタブレットというかたちになっているものですから、それを教室や体育館へ持って行ったりできるようにしました。後はそれをどうやって利用していくか。それは学校の先生のお考えによるところです。（教育部長）

答）どの場面をご覧になったのかわかりませんが、パソコン教室も自由に出入りができるようにしておくと、多動のお子さんもいたりだとかなかなか管理が難しいということがあって、総合的な学習だとか社会科の学習だとかそれぞれの教員が必要な時に必要な使い方をしているのが現実です。先日も生活科の学習で、タブレットを子どもひとりひとりが持って行って、自分で見つけてきた虫を撮影してきてそれをみんなで紹介し合って、学習を進めていくというようなやり方もしています。この場で言わせていただいて恐縮ですが、昨年度も教室から飛び出してしまう子どもたちがいた学年にボランティアとして入っていただいて、そういう心配のあるお子さんの隣でしっかりとサポートしていただいたり、学校のほうで枝払いをしていただいたり、緑のカーテンを作っていただいたり、米づくりは通年サポートしていただいたりとか草木の皆様には学校教育に多大なるご支援を頂いており感謝しかありません。今後も様々な面からサポートしていただけるとありがたいです。先ほどの件についても、側溝以外にも校舎壁面の亀裂も心配だと教えていただくなどたくさんの方の目で、草木小をあたたく見守っていただいてありがたく思っております。（草木小学校長）

答）ありがとうございます。今のITの関係も、今年タブレットを導入したばかりですので、先生たちがいろいろ勉強していただいて、いろんな活用を考えていただけるのかなと思っていますので、もう少しお待ちいただけたらと思います。それと校舎壁面に亀裂があったりという話がありますが、阿久比町の学校が出来て、例えば英比小は数年前には100周年というかたちになっています。今の鉄筋コンクリートの建物が概ね40年から50年近くになる頃だと思っています。全国的に阿久比町だけではなくその頃に鉄筋コンクリートの校舎が建てられているのが現状です。将来的に子どもの安全を守るためにしっかりと校舎でなければならぬこともありますので、ただ校舎をひとつ建て替えようと思うと、多額の費用がかかるものですから、少しずつできるところから更新をしていき

いということで、鉄筋コンクリートを最大８０年くらい持たせてその間に悪いところを直しながら、建て替えを進める計画を作りなさいという国の指導もあります。阿久比町としては各学校の現状を知るために、今年度調査に入ります。それぞれの建物全部を建築士さんに見ていただいて調べた上で、優先順位をつけて町としてもどうやって学校を更新するか計画を作るようにしていきますのでよろしくお願いします。（教育部長）

質問）国保の問題やごみの問題について町長さんは頑張ってみえることがわかって嬉しかったです。私がこの草木で思うのは循環バスを何とかしてほしいということです。せめて南知多のように１時間に１本あれば、バスが来る時間が覚えられる。行きに循環バスを使っても帰りはバスがなく、タクシー券を使っています。草木は遠いので帰りのタクシー代が高くついてしまうので、ぜひ、１時間に１本お願いします。（草木）

答）ご意見は毎年いただいております。十分承知しておりますが、先ほど町長の話の中にもありましたが、循環バスに今年度３，７００万円、タクシーも１，８００万円。これだけの予算をつけております。１時間に１本あればよいとは十分わかっておりますが、限られた予算の中で昨年の１０月のダイヤ改正、巽ヶ丘の駅まで行く延伸など皆さんの意見を聞きながら考えながら改善をしている状況ですので申し訳ないですが、ご理解をいただきたいと思います。よろしくお願いします。（総務部長）

質問） 私の聞いたかったのはひとつだけです。西尾知多線の渋滞が既に始まっています。特に通学の時間、下校の時間帯がひどいです。渋滞が起こればどうなるかということ、抜け道として車が入ってきて、通学路に入ってくることも十分に考えられます。これが４車線になったり、今問題になっている衣浦の橋が新たに建設されたり、西知多道路が新たにできるということになれば、一層車の量が増える。草木の地域で言えば特にそういう問題が起きてくるのではないかと。それは大人の問題で、そういうことが起きてくるわけですから、当然それに対する対処をしなければならない。例えば通学時間帯の規制などを常に町として考えてほしい。県の問題も含んでくるのだらうとも思うが、そういう問題が起きてくることを頭に入れておいてほしい。（草木）

答）西尾知多線の渋滞ですが、板山の方から名鉄を越える橋、インターの信号、草木東の信号、それから小学校の信号など、こういうところで特に朝、夕方に渋滞があることは認識しています。県の方には渋滞対策をお願いすることにします。（建設経済部長）

答）すみません。先走ったところがありまして、先ほど学校の調査をすると言いましたけど、実はこの６月議会の補正予算にお願いしているところです。よろしくお願いします。（教育部長）

質問）未来づくり懇談会という趣旨でハード的なことソフト的なこと、阿久比町としてはかなり前向きに未来に向かって進んでいくことはよくわかりましたが、ネガティブなことでも問題があるなら抑えておかなければならないと思います。この草木という限られた地区

でもスペイン人、ロシア人、中国人の子どもさんがいます。その文化の差によって日常的に声をかけていますが、日本人の子どもなら伝わることも伝わらないと。草木小でもそういう子どもたちを抱えていて、言葉や意思の疎通が行われているのかが心配です。ごみゼロ運動が盛んに行われていますが西尾知多線の昭和橋から東70メートルくらいのところにあるごみ捨て場でボランティアをやっているわけですが、中国人の方がひょっとしたらルール違反をしているのではないかというネガティブな思いもあります。できれば防犯カメラで監視してほしいと思います。（草木）

答）まず学校ですけれども、今、草木小学校では中国人のお子さんが2人と、ブラジル人の方が1人の計3人の方が外国籍で学校に通っている状態です。スペイン人は草木小学校にはいません。今教育委員会としてはブラジル人の方は、ポルトガル語だと思いますが、その方については語学支援員をつけています。通常の会話は子どもたちと十分できるのですが、授業となると難しい言葉があるので語学支援員をつけています。中国人の方はほぼ問題なく理解ができるということなので学校の中ではそういうかたちの対応をさせていただいております（教育部長）。

答）監視カメラの件ですが、今言われたごみ捨ての犯人を捜すためということになってきますと、ちょっとと思いますが、町では町が付ける防犯カメラと地区が付ける防犯カメラがあります。地区が付けるカメラに対して3分の2、20万円が上限なのですがそういう制度もやっておりますので、もし、地区の方で防犯カメラを設置したいということがありましたら、防災交通課の方にぜひご相談いただきたいと思いますのでよろしくお願いします。それから「防犯カメラ作動中」というプレートがまだあったと思いましたが、それをあちらこちらに付けていただくこともひとつの方法かと思しますのでご検討のほどお願いします。（総務部長）

5. 閉会あいさつ

未来づくり懇談会ご参加いただきましてありがとうございます。お疲れ様でございました。今回、学校と地域づくりの地域との繋がりのテーマで懇談会を行わせていただきました。このテーマにつきましては身近で大変大事な内容であると思っております。これからも皆さんと地域づくりに努めてまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。それでは時間となりましたのでどうもお疲れ様でした。帰りは気を付けてお帰りください。ありがとうございます。（副町長）

平成30年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月22日（火）午後7時～午後8時44分
□会 場	中央公民館
□参加者	町側10人、地区側21人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

報告）新聞で発表されましたので、皆さんにご報告とお願いをさせていただきます。町村長でつくっている愛知県町村会というものがございまして、その会長であった幸田町の町長さんがお亡くなりになり、次の会長を理事会で決めることとなったのですが、皆さま方からご推挙いただき、阿久比町長が行うということで、私が町村会長に就任いたしました。そうしますと、今度は全国の方の役職も回ってくると思いますが、それも受けるということになります。命がけとは言いませんが、本当に体力勝負になってくるぐらいの過密の移動も出てきますので、皆さん方とこうしてお会いする時間調整をする上において、1年の計画は作っておりますが、例えば日にちを変えていただくとか、出られない時は副町長さんに出ていただくとか、職員にも助けていただきながら、何とか阿久比町が恥をかかないように職責を果たしていきたいと思っております。町民の皆さま方もご理解いただき、最近顔を見ないと言われるかもしれませんが、違うところで一生懸命働いているということで、ご理解をいただきたいと思っております。その代わり国、県とのパイプは必ずや太いものとして、そちらからの情報をいち早く職員に伝えて、他の市町よりも先に、ちょっと先に手を打つということが、これが大きく今からの行政には必要かと思っておりますので、そういう仕事を兼ねて頑張りますので、ご理解いただきたいと思っております。

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

「学校と地域とのつながりについて」（配布資料に基づき教育部長説明）

内容は同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

（学校と地域とのつながりについて地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

質問）通学路について、人が多く通うところや多く通わないところの場所の洗い出しをするべき。危険箇所を洗い出して、信号よりも危険箇所に見守り隊を配置するべきである。まず洗い出しをして、その後に対策を講ずるのはいかがでしょうか。（坂部）

答）ありがとうございます。通学路につきましては、毎年子どもの増減がありますので、毎年先生方に見ていただいております。全て思うとおりにはいきませんが、通学路とさせ

ていただいております。また、町としましても危険箇所があれば、そこを対策していけるようにしていきます。（教育部長）

質問）何年も言っていますが、阿久比インターから出て東へ行き、次の信号を右折したピアゴのところは、信号のない交差点です。高校生などの自転車通学の通学路となっています。大型自動車が信号を大きく回ります。もっと先の信号へ行くとか、左折をもう一度半田警察署に言ってもらえないでしょうか。危険性が高いので、もしも事故があった際には、地区の人へは阿久比町に要望していますとしか言えないので、もう少しきつく対応してほしい。（坂部）

答）そちらの交差点については、以前からご指摘をいただいております。警察にお願いしています。阿久比インターから来て、交差点を南に曲がらずに北からのほうが安全という意見もいただき、半田警察署に要望を出しておりますが、現在の状況が現実です。これからも半田警察署へ要望は出していきますし、地元から強い要望があることも伝えますので、よろしく願いいたします。（総務部長）

質問）神輿に補助金がつきました。ありがとうございました。私は坂部でお囃子の責任者をやっております。高根台の子どもも入りたいという声をいただきました。年々衰退しているので、学校教育というか、学校のクラブ活動などでアピールしてもらえると助かります。（坂部）

答）ありがとうございます。ほかの地区でもお囃子の担い手が減っていることは聞いております。学校クラブの中にお囃子クラブをつくるというお話だと思うのですが、学校の指導者や教員の中に、教えることのできる人がいませんが、声かけはできますので、指導の面でお力添えいただきたいと思います。字ごとに動いてもらっているので、字でお祭りの前にやっていただくことも大切かと思っておりますので、検討します。（教育長）

（資料「平成３０年度 各学校行事予定」について説明）（教育部長）

この表は、平成３０年度の各学校において地域と関係がある主な行事を抜粋しました。それぞれの小中学校の４月の入学式から３月の卒業式の間地域の方の協力によって行っている各種行事が載っています。表の下の方にありますが土曜学習を各学校で行っております。英比小学校では「学びーズ」という名称で行っていますが、おもに月の第１土曜の午前中にやっています。そこでは地域のボランティアの講師や学生ボランティアの方に、子どもの宿題とか勉強でわからないことを教えていただいている事業があります。それ以外にも読み聞かせボランティアもやっています、図書サークルの方も学校に行き、子どもたちに読み聞かせをしていただいております。英比小学校にはビオトープがありますので、どんぼちクラブという団体がありまして、そちらの方が学校のビオトープの管理などをボランティアでやっていただいております。このような活動に大変助けられておりますので、参加していただける方がいらっしゃいましたら、ぜひ学校に伝えてください。表

の中の6月には英比小学校でも「親子ふれあい活動」を毎年行っておりまして、地域のボランティアの方が活動の指導者になっていただいて、これまでに浴衣の着付け、切り絵、エコモップ作りなどをボランティアの方が学校へ出向いていただいて、やっていただいている活動もあります。英比学区では学区会と家推協の事業ということで、地域のふれあい活動も行っています。10月には家族ふれあいウォークを地域の皆さんとやっておりまし、1月には町内全域で行っておりますが、たこあげ大会を英比小学校は英比小学校の運動場で開催しています。表の一番下の真ん中ですが、町一斉あいさつ運動を載せてあります。こちらの方は毎年6月と11月に町内のすべての幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、役場、PTAなどによる、幼保小中高一斉あいさつ運動を実施しています。あいさつをするということは、人と人の顔がつながる第一歩だと思いますので、これからもあいさつ運動を続けていきますので、皆さんも協力していただけるとありがたいです。11月2日を阿久比教育の日と定めております。この11月2日は先ほど最初に町民憲章を唱和させていただきましたが、この町民憲章が定まった日が11月2日ですので、この日を阿久比教育の日と定めております。この阿久比教育の日の近く1週間前後ぐらいをあぐい教育週間として、学校では学校公開日を設けておりますので、皆さんの参加がいただけたらと思います。

中学校のボランティア活動を紹介させていただきたいと思います。阿久比中学校では平成15年度から、明るい社会づくり運動との共催で、毎月1回早朝に阿久比駅の清掃活動を行っております。子どもたちは朝ボラと言いますが、生徒同士が声を掛け合って雨の日も風の日も自分で参加しております。部活動がある日ですと、部活動のユニホームで参加している子もいると聞いております。阿久比町の玄関である阿久比駅をボランティアできれいにしていくというのも、良い活動であると思っております。それと、毎年、半田との境に矢勝川がありますが、この矢勝川にヒガンバナの球根を植える活動を、阿久比中学校の生徒さんに手伝ってもらっています。昨年は6月4日に292人の阿久比中学校の生徒が参加しまして、15,000個のヒガンバナの球根を矢勝川の堤防に植えるボランティアもやっています。それと卒業が近くなると、3年生が自分の卒園した幼稚園・保育園に向き、トイレ掃除や窓ふきや廊下の雑巾がけなどの清掃活動を地域とのつながりを深める意味もあって行っています。こういうことで学校と地域とのつながりを深めまして、これからの阿久比町の若い世代の方がすくすくと育っていただけたらと思います。

少し紹介になりますが、今年は住民税1%町民予算枠制度で見守り隊のベストを作ります。企業のOBの方が学校で科学の教室を行うという事業もあります。コラボ事業であるある巡回講座がありまして、高齢者の方がそば打ちとか絵手紙とかを子どもに教えてあげようということで、夏休みにそういう活動を行っております。それと音楽もみんな一緒に親しめるということで、「音楽だーいすき」を数年行っています。今年の英比小学校は明日の午後1時30分から音楽の演奏会があります。これはどなたでも鑑賞することができますから、時間がありましたら参加していただけたらと思います。企業では、株式会社デンソーが、「デンソーサイエンススクール」ということで、デンソーのOBの方が毎年小学校5年生を対象に、科学の授業にボランティアでやっていただいております。そういったことを町内でも進めていって、地域と学校とつながりを深めていくことで、すくすくと育ち、阿久比町の目指す生徒像に近づいていけるとと思いますので、皆さんのご協力をよろしくお

願います。

私からの説明を終わります。ありがとうございます。

教育長からあいさつ

私の方から一言だけ追加させていただきます。阿久比町は本当に地域の方が声をかけていただいたり、ボランティアの方が参加していただいたり、また祭りなどいろいろなことで子どもたちに関わっていただいております。そのことが子どもたちを伸ばす元になりますし、あいさつなどいろいろな形でやられておりますし、見守り隊として朝子どもと一緒に学校まで来ていただいている方もみえますし、また今後も、引き続いてそのような形の中で子どもが育っていくことに力を貸していただける阿久比の大人の方々がたくさん出ていただくことを願っております。学校はもちろん現場として子どもに直接関わっていきますけれど、どんな形でもいいので子どもと関わるところでお力添えをいただき、子どもたちの成長に関わっていただけるとありがたいです。今後ともお力添えよろしくお願いします。

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 今一番気になっているのは、防災上の地区の状況ですが、東南海地震のリスクが高まっていることもあり、坂部の半田街道から1本中に入った道が非常に狭く、急な法面が多く不安です。崩落して通行止めになることが考えられますが、対策はありますか。(坂部)

答) 法面は草が生えていることにより、土を削らない役割をしています。土が剥き出しだと雨で流れてしまいましたが、あまりにも草が生えていると見苦しいと思います。法面が崩れない工夫は難しい部分もありますが、防草シートをかけるというという手段もあります。狭い道路を広げると法面が急になるので、一概には答えられません。(建設経済部長)

答) 阿久比町内に急傾斜地はたくさんあります。それに対し、県から指定もされており、大雨が降ったら、県の知多建設事務所から逃げてくださいと言われ、町から区長さんへ連絡するところまでしか行政はやっておりません。人命を守るために連絡網を作っていることが現状です。阿久比町で予算をつけるということはとても難しいので、町村会を通じて、県が工事をやっていけるよう要望を出していきます。(町長)

質問) 阿久比町は発展している若い世代のまちという話ですが、以前に空き家について調査したことがあり、3～4年前にはマスコミもよく話題を出していました。今は災害が想定されますが、坂部には小さな道路が多く、それを塞いだらどうするのか、ということを踏まえて、空き家対策はどのように考えているか。(坂部)

答) 3年ほど前に、区長さんをお願いして地区を調査させていただきました。その結果は

現在のところ公表しておりませんが、空き家については法律ができましたので、町が所有者を調べ、適切な管理をお願いする通知をしています。所有者の分からない物件につきましては、法律に則って、最終的には町で壊しますが、壊すまでの件数はほとんどありません。昨年、高根台で例がありました。その方を調べまして九州にも通知をしましたが、最後にどうしても所有者がいらないという結果になりました。法律に則ってやっておりますので、時間はかかりますが、弁護士の名前で物件を処理しました。（建設経済部長）

質問）私の住まいの２件隣が空き家です。竹や庭木が大きくなりすぎて、電線に接触しています。まず町に相談すれば良いですか。（坂部）

答）町に教えてください。町から所有者へ通知をしますので、よろしくお願いいたします。（建設経済部長）

質問）見守り隊や給食センターのお話がありましたが、地域によって年齢構成が違いますので、充実している部分とそうではない部分があると思います。例えば、シルバー人材センターの登録を手厚くし、見守り隊にも派遣をすれば、人員補充となる。給食センターについては、子どもが増えており拡大とのことだが、子どもが減ったときに高齢者への宅配サービスなど、どのようなサービスが提供できるかということを踏まえて、ひとつのことではなく長い目で検討していただきたい。また、ピアゴ交差点についても、例えば時間帯で分けたら良いのではないかと思います。（阿久比団地）

答）給食センターについて回答します。おっしゃるとおり、今は子どもが増えておりますが、将来的に子どもが減ったときにどうするかを当然考えていかなければなりません。文部科学省も元々は給食センターを別の用途で使用することはあまり良く言っておりませんでした。高齡者のために施設を利用することについて、法律も緩和されつつあります。阿久比町ではすぐに給食センターを高齡者用にとは考えておりませんが、将来的には活用方法を考えていかなければならないと思っておりますので、よろしくお願いいたします。（教育部長）

答）ピアゴ付近の道路の件ですが、来月に町の職員と警察と建設のほうで町内の危険箇所を回ることが予定されていますので、先程の件と併せて、時間の規制についても、警察に確認と要望をしますので、よろしくお願いいたします。（総務部長）

答）シルバー人材センターについてですが、賃金が発生します。（民生部長）

質問）ボランティアの不足分をシルバー人材センターでカバーしてはどうか。ボランティアも温度差があるので、足りないところにシルバーを活用してはどうか。（阿久比団地）

答）いきいきクラブやシルバー人材センターへ伝えます。（民生部長）

質問) ピアゴ付近の道路の件ですが、午前10時から午後8時までの営業時間内に、歩いて横断する高齢者は坂部の方ばかりです。その他の若い方や遠くの方は自動車で来ます。それプラス通勤・通学の方です。私たちの意見としては、そこを曲がる大型車を止めてほしいということです。時間帯と言っても、私たちが考えても難しい部分があります。(坂部)

答) ありがとうございます。先程も申し上げましたが、来月に現地調査がありますので、強い要望があり、危険であると伝えますので、よろしくお願いいたします。(総務部長)

質問) 1つ目は、阿久比町が好きと言える情緒の形成は、保育園・幼稚園から小中学校までです。高校生になるとある程度、自分の道が確定してくる。ふるさと阿久比が本当に良かったと思える情緒を育成するためには、学校帰りに一緒に遊びあったり、趣味などを一緒に頑張ったりした仲間と真の友情が芽生え、それを父母や地域が見守り、愛情を注ぐことで、阿久比町に生まれて良かったという情緒が育つと思います。そういうことに対して教育委員会は、どうしたらそのような土壌ができるのかについて考えていただきたい。2つ目は、先生についてです。私も様々な学校行事に参加させていただきました。先生が少し失言やミスをすると体罰などと言われると先生が自信をなくしてします。先生はもっと頑張っているのに、強い指導力は育たないと思います。優秀な企業をいろいろな面でもっと教育に生かすことは、地域の中で、生涯に渡ってプラスとなるはずで。また、子ども会やお囃子の会は、教育の面においても絶対に衰退してはいけないということを学校の先生に伝えてほしいです。(坂部)

答) 教員もそれぞれ理想や夢を持って、子どもたちとの関わっております。中には、保護者から批判を受けることもあります。先生たちの自信が子どもたちに伝わります。各学校、各学級を育てていきたいので、これからも見守っていただきたいと思います。(教育長)

質問) 先程、ピアゴ周辺の道路の件がありましたので、補足します。阿久比インターから一般道に出る信号が渋滞しています。朝、坂部から知多市へ向かうとき西尾知多線が渋滞しています。阿久比インターを通過しても草木で渋滞しており、ローソンの交差点の南から北へ向かうところです。その信号とインターの信号が連携していません。警察に要望してほしい。(坂部)

答) ありがとうございます。ゼロの日にまわっておりますので承知しております。県道の交通量については、県も県警もしっかり調査しながらやっていると思いますが、この場で意見があったことを伝えますので、よろしくお願いします。(総務部長)

5. 閉会あいさつ

今日はお疲れ様でした。熱心に未来づくり懇談会に足を運んでいただき、ありがとうございました。今日は、学校と地域とのつながりをテーマに懇談会を実施させていただきました。

た。このテーマにつきましては、身近で大変大事な内容であると思っております。これからも皆さまとの地域づくりに努めてまいりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。それでは、時間になりましたので、これで終了させていただきます。お帰りの際、交通事故などには十分気をつけてお帰りください。ありがとうございました。（副町長）

平成30年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月23日（水）午後7時～午後8時57分
□会 場	勤労福祉センター
□参加者	町側10人、地区側21人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

報告）新聞で発表されましたので、皆さんにご報告とお願いをさせていただきます。町村長でつくっている愛知県町村会というものがございまして、その会長であった幸田町の町長さんがお亡くなりになり、次の会長を理事会で決めることとなったのですが、皆さま方からご推挙いただき、阿久比町長が行うということで、私が町村会長に就任いたしました。そうしますと、今度は全国の方の役職も回ってくると思いますが、それも受けるということになります。命がけとは言いませんが、本当に体力勝負になってくるぐらいの過密の移動も出てきますので、皆さん方とこうしてお会いする時間調整をする上において、1年の計画は作っておりますが、例えば日にちを変えていただくとか、出られない時は副町長さんに出ていただくとか、職員にも助けていただきながら、何とか阿久比町が恥をかかないように職責を果たしていきたいと思っております。町民の皆さま方もご理解いただき、最近顔を見ないと言われるかもしれませんが、違うところで一生懸命働いているということで、ご理解をいただきたいと思っております。その代わり国、県とのパイプは必ずや太いものとして、そちらからの情報をいち早く職員に伝えて、他の市町よりも先に、ちょっと先に手を打つということが、これが大きく今からの行政には必要かと思っておりますので、そういう仕事を兼ねて頑張ってきますので、ご理解いただきたいと思っております。

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

「学校と地域とのつながりについて」（配布資料に基づき教育部長説明）

内容は同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

（学校と地域とのつながりについて地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

質問）不審者情報とありますが、不審者情報は子どもの親にはメールなどで全員伝わっているんですよね。（地域不明）

答）学校のほうで、例えば警察から情報が入りますと教育委員会に届きますので、そのようなときに各学校へ教育委員会からこういった事件がありましたという情報を流すこともあります。そういったときには保護者さんが連絡網で各小中学校では楽々メールだとかそ

ういうメールがありまして、そういうもので皆さんに情報が伝わるようなこともありますし、あと個人でも半田警察署の安心メールというようなもありますので関心のある方はそちらへ登録していただくと、そういう情報が取れるかなと思います。（教育部長）

質問）各学校でサンキューメールというかそういうメールがあると思いますが、そういう情報が直に地域の人には入ってこないんですよ。本当に地域で見守ってほしいなら、地域の人にも入るような方法を考えていただけると。保護者はわかっていても地域の人からわからないというのがあるので、お知らせだけでもしていただけるとありがたいかなと思います。（矢口）

答）ありがとうございます。登録はどなたでもできるかと思います。（教育部長）

質問）登録してくださいというものの地域の人には登録する情報が基本的にはないですね。（矢口）

答）例えば広報とかで半田署から出るメールの登録をお願いしたいです。（教育部長）

質問）半田と阿久比では違いますよね。各学校で流すのもありますよね。（矢口）

答）学校については教育委員会から学校経由で流していますので、それを保護者以外の方が登録できると思いますのでそちらもPRさせていただきたいと思います。（教育部長）

質問）各学校の行事とかそういうのではなくて、不審者メールだけでいいので、地域に流れてくるような教育委員会が一括で流してくれるのが一番いいとは思いますが、そういう仕組みがあると安全かなという気はします。（矢口）

答）ありがとうございます。また検討させていただきたいと思います。（教育部長）

（資料「平成30年度 各学校行事予定」について説明）（教育部長）

今年度の各学校において主な地域との関わり合いがある行事ということで抜粋して一覧表を作ってみました。4月から3月までということで4月の入学式から3月の卒業式の間ボランティアさんに協力していただいているような行事を挙げました。左の下の方を見ていただくと、土曜学習が挙げてあります。これは地域のボランティアの方に協力をいただいて月に1回土曜学習をやっているのですが、南部小学校では「NGK（南部学習キッズ）」という名称でやっております。地域のボランティアや学生のボランティアの方が子どもの宿題とか勉強のわからないところを土曜日に教えていただいているということでやっております。これ以外にも読み聞かせのボランティアの方もお見えになりまして、週に1日程度、学校で読み聞かせをしていただいていることも聞いております。この南部学区では昭和59年3月に南部コミュニティが設立されまして、南部地域の住民が

自主的な話し合いをする中で新しい地域内意識を育て、住みよい地域づくりの推進を目指し、活動をしています。先日も総会がありました。南部コミュニティでは総務企画部、環境防災部、文化体育部、青少年部の6つの部会と阿久比・椋岡・矢口・高岡・植・大古根の4つの大字の支部によりまして地域の繋がりを深めるような活動をされています。こちらでも学校と連携を取っていろいろな行事を行っていただいております。主な行事としましては皆さんご存知ですけれども11月にある南部ふれあいウォーク、1月には凧揚げ大会も開催されておりまして、家族みんなが楽しめる催しを行って、地域と学校をつなぐひとつの手段となっております。総会の中では、2020年に南部小学校が100周年を迎えるということで、コミュニティも含めて学校地域が一体となって100周年をお祝いしたいというような話もありました。この表で下の真ん中にありますが、阿久比町幼保小中一貫教育の活動のひとつとして毎年6月と11月に町内すべての幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、役場、PTAの皆さんで一斉のあいさつ運動を行っております。やはりあいさつは人と人とのコミュニケーションの第一歩ということで、皆さんであいさつができていけるまちづくりが大切だと思っております。あと阿久比町では11月2日を阿久比教育の日としております。この11月2日は先ほど町民憲章を唱和しましたが、この町民憲章の制定日が11月2日で、この日を阿久比教育の日と決めました。この前後一週間では、各学校で地域の人たちが参加できるように学校公開も行っておりますので、皆さま学校に足を運んでいただけたらと思います。それとPRですが、阿久比中学校の活動を少し紹介させていただきたいと思っております。表を見ていただきますと、毎月駅前清掃ボランティアをしております。これは早朝に阿久比駅周辺の清掃活動を行って、子どもたちは朝ボラと言っておりますが、生徒同士で声を掛けあって雨の日も寒い日も部活のある日も、阿久比駅が阿久比の顔ということできれいにしようという気持ちで清掃活動を行っております。また、矢勝川でも毎年ヒガンバナの球根植えを中学生がボランティアで参加していただいております。昨年の6月4日には292人の阿久比中学校の生徒が参加してくれました。岩滑とのコラボのようなかたちになりますが、秋にはヒガンバナが満開になるのもボランティアの活動があってこそだと思っております。それと中学校では3年生になると2月に自分が卒園した保育園、幼稚園へ行って園児と触れあったり、園庭などの清掃活動も毎年やっております。中学校もこういったかたちで地域と学校が繋がるような活動がしたいということで、ボランティアに努めております。また阿久比町では住民税1%町民予算枠制度を使って、いろいろなことをやっております。学校と関わる行事としましては先ほど見守り隊の話をしていただきましたが、今年度、阿久比町統一の見守り隊のベストを作ることとを予定しています。各学校の方から登録者数を再度調べさせていただいて、夏くらいには各学校に統一ベストを配布したいと考えています。それ以外には1%で夏休みに地域の方が学校に来て、科学の授業だとかそば打ちや絵手紙など体験できる講座をやっていただいておりますし、昨日今日と学校では「音楽だーいすき」という事業もありました。南部小学校は昨日の昼からで、今日は草木小と英比小でやったのですが、これは児童の皆さんだけではなくて、地域の方も見学できる事業です。今年は昨日今日で終わってしまったのですが、毎年これもやっておりますので、またそういった行事で皆さんも音楽を聴いていただけるのもいいかなと思います。企業のほうでも株式会社デンソーが小学校の5年生を対象に毎年、「デンソーサイエンススクール」をやっていただいております。これもボラ

ンティアでデンソーのOBの方たちが学校へ来ていただいて科学の授業をしていただいております。こういったことで学校と地域との繋がりを深めて阿久比町の子どもたちを伸ばしていきたいと教育委員会としても考えています。先ほど言いました阿久比町の目指す生徒像に近づいていけるように皆さんの協力をお願いしたいと思っております。時間がきましたので私の説明を終わらせていただきます。ありがとうございます。

質問) 給食センターが新しくなるが、風揚げの会場も変わるのか。(地区不明)

答) 今、給食センターの予定地が一期一会のすぐ西側、ゲートボール場にかかるようになります。確かに今やっているところが風揚げ会場となっていますので、今後どうなるかというのは考えていかなければならないですが、隣の中学校の陸上部のちょっとした練習場のところはそのまま残りますし、中学校の運動場もひとつの方法としてあるのかなと思いますが、その辺はコミュニティさんと今後検討する必要があると思います。出来るのが32年の9月ですので、工事に入るのが31年度ですから、31年の最初のうちはまだいいので、31年の1月は大丈夫ですが、32年の1月はちょっと考えないといけないと思います。(教育部長)

質問) 今年度は大丈夫か?(地区不明)

答) 今年度は大丈夫です。工事の着工が来年度の年明け、年度明けから契約に入りますので工事もすぐにどこまでできるのか工事屋の予定を見ないといけないですけど、今度の1月は大丈夫です。(教育部長)

教育長からあいさつ

私のほうから少しお話しさせてください。日頃はいろんなかたちで各学校ならびに子どもたちに関わっていただきましてありがとうございます。子どもは家庭で育って、そして学校で更に自分の持っている能力を伸ばしていく。そこをつなぐ地域の方々のお力添えがあって、その3者の中で子どもはいろんな経験をしながらまた、お祭りなどで歳の違う地域の方々と揃いながら、子どもたちの持っている力が出せると思います。見守り隊に始まっていろんなかたちで学校もしくは地域の中で子どもたちを育てていただけていると思っています。またお力添えをいただいて阿久比町の子どもたちに力を貸していただけるとありがたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 十ヶ川の除塵機について質問です。現在、除塵機の担当をしております、阿久比川の下に十ヶ川って流れてますよね。普通の雨だったらいいのですが、大雨になると、泥とか草がすごい生えていて、根っこと一緒に流れてきて除塵機に引っかかって、機械を動かしても止まってしまうことがあります。通常の雨ならいいんですけど、ペットボトルと

か草とかごみがかかなりありまして、雨が降った後にごみの回収に行っているのですが、特に大雨になるとすごく大変です。写真を撮ってきました。ちょっと見にくいかもしれませんが、もう殆ど埋まっちゃっているんですよ。その整備と3年くらい前に除塵機の新しく更新でその話があったんですけど、それが今どうなっているかなと思って、質問です。（棕岡）

答）今の除塵機というのは前田川の除塵機、棕岡さんが管理されているものですね。除塵機は町内に3つ、3カ所あって矢勝川の除塵機を最初に手をつけて、この2月末に完成をしました。今年につきましては横松にある除塵機を県でやっていただくという予定になっております。私が聞いたところによりますと今年一年で何とかやれそうな予算がついたということを聞いておりますので、遅くとも来年度には前田川の除塵機を改修できると思っております。これは実際には、まだ予算時期ではありませんので何とも言えないところがあるのですが、県としては去年の矢勝川の除塵機のことがありますので、今年は頑張っ一年でやれる予算をつけていただくということです。来年度も何とか一年でやれる予算をつけていただくと私は思っております。今、写真を見させていただいております。これは川の堆積土砂ですね。こちらにつきましても県に要望させていただきますのでしばらくお待ちいただくようお願いいたします。（建設経済部長）

質問）この間、新聞に環状線のことを載っていたのですがけれども、県のほうはあまり気がないように読み取ったのですが、南部地区にとって環状線は発展するのに大変重要な路線だと思っています。どういう状況というか、早く造ってほしいのですが、どうでしょうか。（矢口）

答）環状線につきましては過去からずっと県に要望はしている訳ではございますが、やはり名鉄を越え、今の県道阿久比半田線に平面で交差をするというのは、なかなかあの構造的にも技術的にも不可能に近い形状になっております。それについて県のほうで構造、接続の仕方というものを考えていただいている状況でありまして、なかなか進んでいないというのが現状であります。（建設経済部長）

答）おそらく、この間大きく出ていた中日新聞の記事のことだと思います。私にも取材が来まして、話をさせていただいた。その後も半田市長と、武豊町長と、環状線に対しては武豊まで絡んでくるということで話をし、私が聞いているところによると半田市さんとしては今度の病院建設を運動公園に決定したということもあって、一時期N T Tのグランドへも造ろうかという意見も出たりしたものですから、そちらの亀崎から有脇、近くでは乙川ですがその人たちが行きやすいような道路、環状線を早く開通した方がいいからその動きを一緒になってやろうよという話を3者の中で、これは正式な会議で行ったわけではありませんけれど、そういう話で進めているということです。ですから近々市長さんとお会いして、この件でのお話しをしようかということにもなっておりますので、首長たちはチャンスと捉えて動こうとしています。ただ、記事の中で記者というのは短く書きますので私が述べたコメントが県の方がやる気がないと捉えられてしまったかもしれませんが、

そこだけの問題を述べたわけではなくて阿久比町にとっては東部線。あれも同じように東浦町の方が地域開発と絡めていこうということで、ちょっとつまづいているということがあります。ならば、南の西尾知多線のほうから北へ先に造ってください、阿久比としてはいつでも大歓迎で協力しますよという話のことも絡めながらやっていますが進んでいないことを述べたわけです。非常に愛知県全体の道路に対しての予算が減ってきていますので。それから今言った環状線については部長が言ったように県としてもどういう施工方法が一番ベターなのかというのは以前からの課題でありまして、それが動いているということでございます。よろしくお願いします。（町長）

質問）矢口のアグメントの処理場がありますよね。あそこの前の道を通って高岡に行きますが、区画整理をしているのか、ダンプやトラックが土砂を運んでいて道路がボコボコになっており通りにくいです。あれは区画整理が済んだら、業者が直すのか町が直すのかわかりませんが原状復旧してほしいです。（矢口）

答）矢口から行くと、知多半島道路を越えていく道路のことですね。業者には最初に写真を撮らせて、その現状に復旧するように指導していきますのでよろしくお願いします。（建設経済部長）

質問）もう一点いいですか。教育関係ですけれども実は新学習指導要領が発表されまして、数年後に新しい教育が始まり、いろいろな課題があるのですけれども、小学校では5、6年のところに英語が入ってくるんですよね。3、4年生では外国活動ということで授業数が増えるのです。今でもいっぱいいっぱい時間で時間が足りないのに、普段の学習のゆとりを出せるためには夏休みを1週間とか10日早めに切り上げてその分を授業日に充てる。普段の生活や学習環境が楽になると思うのですが、特に町長さんのおかげで各学校にエアコンが入りましたので、早めに授業を始めても良いのではと思います。他市町がやってないからということではなくて、阿久比町独自で変えていっても良いのではないかと。教育委員会で知教協といって知多全体でやっていくというのもありますけど、市町単独でやるはずですからその辺も考えていただきたいと思います。（矢口）

答）ありがとうございます。英語科については小学校5年生、6年生が、よくご存知だと思いますが、5年生、6年生についての時間確保は総合の時間を使ってのかたちになると思います。（教育長）

質問）総合の時間が使えるのはその移行期間だけですよね？だから新しいのが始まった時には総合からは使えませんよね？（矢口）

答）それはまたその時、そういうかたちを取らなくてはならないだろうと思っていますけれども、とにかく興味をもって子どもたちが英語の学習に進んで行けるようにALTの方にも入っていただいて、担任が授業をやるというかたちの中で、子どもたちに英語の楽しさを体験させるかたちをとっていけるかなと思います。いろんな面で授業がかなり厳しい日

程の中で、先ほど提案のあった部分については町長さんから宿題をいただいているところもありますが、基本は知教協の中で動いていく部分があるものですから単独で動ける問題なのかということも含めて検討はしていきたいと思います。（教育長）

質問）棕岡に来てまだ２年しか経っておりません。半田から引っ越してきたのですが、いろいろ見ていて、阿久比川の何箇所かでオニユリの花が夏に咲くんですね。そういう場所は半田にはありませんし、知多半島では殆どないと思います。阿久比はなぜか多いです。例えば、去年阿久比川水系の河川管理者が草刈りをしているときにアピタの北側のおおぐち歯科の東側の土手なんかは２０くらいしか見なかったオニユリの花が、去年は３００から４００見られたということです。前田川の土手のところをですが、オニユリをうまく育てると新しい観光地になるのではと私は思っているし、そのオニユリっていうのはユリ根として新しい特産品にもなるのかなと思っています。（棕岡）

答）うちの部は観光もやっておりますので、場所的にはアピタさんの北側の前田川の土手だと思うのですが、その土手でも北側の土手のことで、線路までの間ということですね。（建設経済部長）

意見）私が去年見た中では、役場から西へ行って、阿久比高校へ行く途中のミヤザキという金属廃品の辺りに少しあるし、役場から今度は東に行って線路を越した阿久比川の土手にも見ますし、矢勝川にも土地改良碑のところにもありましたし、宮津の東部小学校の東側のお寺さんの墓地にも。ふれあいの森に上がる池の土手にもあるのを見たことがありますし、知多半島でこんなに咲いているのは他にはないのではと思います。（棕岡）

質問）花の咲く時期は夏のいつごろですか。（建設経済部長）

答）７月１５日くらいだと思います。ヒガンバナは花が咲いてすぐに枯れてしまうけど、オニユリは花期が長いです。ヒガンバナは毒があります。（棕岡）

答）いいことを聞いたので、一回、７月の中旬から役場の職員でどういう状況かを見てみたいと思います。（町長）

答）今言われた場所を７月の中旬をめどに見させていただきますのでよろしくお願いします。（建設経済部長）

質問）こういう場に初めて来させていただいて、どんな話をするのかなと今日は興味を持って聞かせていただきました。テーマが未来づくり懇談会ということで、阿久比町の未来の話が聞けるのかなという期待を込めて、聞きに来たのですが、背景だったり今の目の前の話中心のように受け止めました。その中で将来を担う子どもの教育ってところで阿久比町の未来であり、日本の未来に繋がっていくということを考えると、この自然豊かな阿久比町の楽しさだったり、良さというのを教育を通じてどのように伝えていくか。そう

いった阿久比町の良さを意識した教育との繋がりというのが何かあるといいなと思います
てそのあたりをご意見いただけたらと思います。（矢口）

答）先ほど少しお話しさせていただきましたけれども、阿久比町では平成１７年から幼保小中一貫教育をよその市町に先駆けて行っておりまして、最近、一貫教育というのは、中高一貫だとか小中一貫のひとつの学校でやるというのが今は言われておりますけれど、阿久比町は始めたころはどちらかというと連携教育ということで、０歳から１５歳までの間にたまたま阿久比町では中学校が１つですから、将来はこの１つの中学校に阿久比の子どもたちがみんな集まってくるのでどこの小学校だとか保育園に行っても、そこで格差がないようにとかその接続のところを、保育園から小学校に上がる時期、小学校から中学校に上がる時期など。よく学校が変わる時にそこでちょっとつまずいたりする子がいるということで、そういうのをできるだけ阿久比町では解消しようという中で、阿久比町の一貫教育をやっています。それにはそれぞれの学校の先生だとか保育園の保育士とかが普段から意見交換を行って、現状を把握しながら、そこへ出かけて行って中学校の先生が幼稚園や保育園、小学校にも出掛けて行きますし、逆に保育園の先生たちが中学校や小学校にも出掛けて、どんなことをやっているかを確認します。上がってからも子どもたちがどういう生活を学校で送っているかというのを、実際に見ながら教育をしようというので現在やっています。おかげで一時期よりも例えば不登校だったり、いじめだったり他市の市町と比べると阿久比町においては少ないと思っています。なかなか数字でここが良くなったとか学力が上がったっていうのは、数字上ではなかなか難しいですけども、いろんな方から意見を聞きますと、陽なたの丘などに引っ越してきた方が、阿久比町の子どもを見て、阿久比の子たちはあいさつが出来たり、不良みたいな子が少なかったりとかということもありますし、教員の間でも阿久比の学校に来ることを希望される先生も多いと聞いていますので、そういった面で阿久比の教育の在り方というのは、この幼保小中一貫教育をベースにしながら、取り組んでいると思います。（教育部長）

答）もう少し補足させてください。中学校が１つというのが最大のポイントでありまして、４つの小学校を卒業した子どもたちが中学校へ同時に入って、そのまま３年間生活し、卒業します。その５年後に成人式でまたそのメンバーが集まるということがあるものですから、その成人式の半分のところに２分の１という、ちょうど小学４年生になるのですが、その子たちがアグピアホールといって成人式本番をやるところで今活動しているのですが、そういうところも踏まえて、町の中で子どもたちがいろんなことで顔を会わせながら生活する。自然からもらういろんな部分の優しさとか、人に対する行動の仕方とかあいさつとか、また地域の方々がいろんなかたちで関わってくださる中で、素直に受け入れる部分もあるし、返せる部分もある。それが中学校へ行き、自分たちの成長に繋がって行く中で、成人式を迎えるという、その年齢も変わってきますけれども、そういう自然から学ぶ、もらうもの、地域の人からもらうもの、学校の中から学べるものを子どもたちが受け取りながら育っていくようなかたちに持って行ってやりたいと常々感じておりますのでご理解いただきたいと思います。（教育長）

答) あと、未来づくりということでのお話しもありましたので、少し時間をいただきますが、施策的に言いますと、阿久比町は自然環境を大切に守りながらなおかつ、生活が快適に暮らせる利便性のあるまちづくりというのが私の政策方針の一番の柱であります。そういうかたちで進めていく中での子どもの教育に民生費の次に予算をたくさんつけています。子どもに対する私たち大人の役目を大変重要視して、知多半島内でも小学校のトイレ改修が今年の夏の工事ですべて阿久比町は完成します。先ほどおっしゃられたようにエアコン設置がされているのも阿久比町だけというように教育環境整備に努めています。情操教育で言いますと、ホタルを一番にやっています。ホタル以外にも稲の田植えとか、稲刈りとか、保育園の子どもたちにも手伝わせるようなかたちを取るとか。他には英比小学校では個人の方が寄付していただいて、ビオトープというものを作っていただいたというのがあります。また高根湿地にもかなり予算を使っておりますが、珍しい植物の観察とか。もうひとつはふれあいの森の隣に元気な農園を造りました。これは約80区画あるのですが、それを町民の方に畑をやりたい人にお貸しします。そこでアンケートに、孫と一緒に来て野菜作りをするのが楽しみだということもありましたので、隣に去年、屋内バーベキュー施設を造り、その畑から直接そちらへ行けるようなかたちのものも造っております。ですから政策的にはそういうかたちで阿久比の特色である自然、そこからまた食育関係の教育に至るまでですね、情操教育を含めて、子どもたちを立派な大人に育てるためには阿久比の環境は子育てにはよいということも阿久比のPRとして使いながら行っております。そういうようなことが、おそらく陽なたの丘などへ若い人たちが来ていただいた要素になっていることがお話を伺うとあります。では阿久比町は今後どうなるかということですが、時間がないのでなかなかお話しが難しいですが、何と言っても人口なんですよ。今私たちが東京へ行ってもどこへ研修に行っても、必ず総務省が行うのは人口がどういうふうに移していくのか、そして先日の新聞では消滅都市の発表から5年経ったときにどのようなかたちになったかが出ておりました。そうしたらそれが加速しているんですね。その間、政府は地方へ何億円というお金を使って、東京一極集中を解消しようとしたにも関わらず、数字的な結果からみると、大都市へまだ行っちゃっているんですね。そして消えていくところが多い。特に奈良県なんていうのは非常に小さい村が多くて消滅していくんです。そうするともう今、少子高齢化時代だと言っておりますが、そういう村はもう高齢化じゃないんです。高齢化の人たちはもう亡くなってしまって、その次に高齢化になる予定の人がいないから、とにかく全体の人口がどんどん減っていくだけのことであって、もう少子高齢化という言葉は、都会へ行くほど少子高齢化が大きくなってきます。最悪は東京都が今からどういうふうになるかというのが国としても一番心配しているというのが総務省の見解であります。そしてもっと驚いたことを言いますと、私たちの研修の中で実は東京一極集中が良いか悪いかということを今までは絶対に悪いとずっと聞かされてきたのですが、それをAI（人工知能）にデータをインプットしてその結果をAIに判断させたのです。総務省がですよ。そうしたらよかったですね総務省としては。一応、AIでもやっぱり一極集中は災害などを含めて危険であるということが出たので私たちにも教えていただけたと思うのですが、今までこれだけのことを私たちに言っておきながら、一極集中がだめだとか、地方創生だ地方創生だとお前たち頑張れ、お前たち頑張れと尻を叩いておきながら、最後はAIにまで頼って本当はどっちだったんだろうと迷いがあったことを昨年の研修の

時に聞いて、非常に私はびっくりしました。そのような日本の状況の中での阿久比町の人口増加は自然増加ではなかなか難しい。今はよその人口を引っ張っただけなんですね。先ほどおっしゃられたように、ここの地で子どもを育てれば非常に良い子が育つし、育てやすいよという環境が出来て、はじめて子どもさんを作っていただける人たちが増えることになりますので、そのようなまちづくりを将来的には考えていく。同時に幸いにも愛知県は産業が良いものですから雇用状態、やっぱり自分の住まいから会社、工場などへの距離の問題と通勤時間帯の問題、ここでどうしても道路を良くしないといけないという問題に結びついてくるんですね。もとは何かというと、自分たちの生活をいかに良くしてご飯を食べられる普通の生活ができる状態にするにはどうするか。それから、子どもを育てたい、そのような家庭にするためにはどのようにしてまちを作ったら良いかということ、阿久比町だけではなく阿久比町の周辺も考えながら、今言った雇用による問題と教育の問題を考えながら、阿久比町のこれからのまちづくりというものを考える。阿久比町を選んでくれるお母さんの方の中には子どもは将来、名古屋へ通学するようなときに非常に便利が良いということも条件に含まれておりました。それから人口の統計で見ても他よりも非常にバランスが取れている。これをいつまでも維持できるような準備をしていかなければならないと考えています。（町長）

意見）ありがとうございました。いろんなお話を聞けてすごく良かったなと思っていますけど、教育の立場の説明の中で、学校の先生で今すごく病気になる人も多いというところで、幼保小中一貫教育で、先生の負担がかなり大変になるのがちょっと心配になったところもあるのですが、私も20歳になる大学生の子どもがおりまして、ちょっと子どもから離れて、子離れ親離れといった感じで、離れた中で地域の人間として、逆に教育委員会のほうから地域のほうに「こういう協力をしてくれ」みたいな話があってもいいのかなと思ってですね、私も何かできることがあれば協力したいなという思いもありまして、先生だけでやれるものでは当然なくて、親であり地域でありというお話があって、自然の中で一緒にということがうまくできるかたちがあるといいなというふうに思いました。ありがとうございます。（矢口）

答）ありがとうございました。（教育長）

質問）重点課題の中に、愛知県の有料道路コンセッションのパーキングの件がありますけども、私もそこに農地があります。土地改良事業をやったところでそこにパーキングと。県や国の予算を使ってやったところでまたそこをパーキングなりというのはちょっと違うのではないかと思いますね。この計画も地元は何の説明もなし、新聞発表のようなかたちで発表されて、それから何にも全然、計画がどうのこうのとかそういうものは私たちに伝わってこないですね。町としては重点施策だとかたちですが、町はどういうふうに関わっていきたいのかと。（阿久比）

答）新聞発表されたのはもう一昨年9月、10月くらいでした。これは町としまして「寝耳に水」ということでありまして、心の準備を何もしないまま、いきなり新聞に「阿

久比町」の名前が大きく出たことに驚きました。中身の話聞いても事業者は何も喋ってくれない、県に聞いてもそれは事業者がやることだということでもなかなかどういうものやるんだ、いつからやるんだということを聞いても、教えていただけない状況でありました。いまだに中身についてはお話しがされていない状況はそんなに変わっていません。県、公社、それから事業者を含めて協議を進めている段階でありまして、その中でもなかなか中身については話していただけない状態ではありますが、町としてはこういった事業というのは、そんなにポコポコと民間事業者から、コンセッション以外のところも含めてですけれども、阿久比町内でこんな大きな事業をやりたいという、そういう事業はなかなか舞い込んでこない。町としても何かしら収益が、町に税金が落ちるそういう事業であればなるべく、全然無理なことなら別ですが、今回の事業につきましては県とか道路公社とかがいますので、これは良い事業ではないかということで町としてもこの事業に乗っかってですね、町民も使えるそういう事業、なんとかそういう事業にしていけたら町の税収も増えますし、理想としては刈谷のハイウェイオアシスみたいなイメージを持っていますが、皆さんが使えるそういう施設を造っていただければ、これは乗ってみたいということで町としては推し進めていく状況でございます。（建設経済部長）

答) ここで皆さんがお見えになるので、今回の事業をちょっと整理させていただきますと、これは元々、大村知事が旗を上げた事業でした。国もこういう制度を使ったことがなくて新しく民間会社に運用権を売ってしまうという事業。だから、特区として始まった事業です。そしてこの愛知道路コンセッション会社という会社をグループで集めて作ったのが前田建設を中心にして始まりました。それでどういうことをやるかと言うと、その運用権は1,337億円でしたか愛知県が売ってしまったわけです。そうしますと今度はその会社が通行料の決定をしたり、道路の維持をしたりすることはやっております。そこで今度のパーキングのことにつきましては7月18日にオープンするのですが、公社が行うというか、元々公社の契約である上りパーキングというかたちになるんですね。それは写真で出ていたよりも少ない駐車場のところですが、まずそこは全体的に国の力でもやれる権限を持っているところですので、道路建設と同じですので造ります。問題はその奥に造る「愛知多の大地」は任意事業という言葉を使っておりますので、これは今言ったコンセッション会社、民間の会社が開発をして行うと考えていただければいいです。ですから下りパーキングのリニューアルが第1段階、第2段階が公社のパーキングをまずは確保して設計に入るのが第2段階。その次の第3段階というのが1番大きな問題で、また造る場所が先ほど言ったように優良農地として農水省が行ったところ。そこが全部開発ができないかというところではありません。手法がいろいろあると聞いております。その手法のどの手法を使うかというのは、まだ最終決定がされているのかどうかはちょっと私もわかりませんが、しかし私が愛知県知事に言ったのは、知事がとにかくこういうふうなかたちでやりたい。そして単なる売るだけではなくて、その地域の人たちが潤うというか地域にも産業においてもためになるという条項の部分が入って、コンセッション会社を決める時のプロポーザルの条件として愛知県が出したのが、この条件の中に私が阿久比のパーキングを載せてくれと言いました。それまでは無くてですね、武豊に一つインターチェンジを増設することが愛知県からの原案で最初に示されました。そしてその後、阿久比としてはそ

んなことならば14年間今から経つと本当は無料化になるだけの収支決算が出ている筈なんです。けど14年間、阿久比町の町民は300円400円払って、その後無料化してくれたほうがよっぽど私個人としては喜びも多いし、町民の中のかんりの人もそういう考えの人もいるから、ということで話し合いをしました。5市5町の首長とも話をいろいろしたところ阿久比だけが反対してもいけないだろうし、阿久比にもインターチェンジはいらないけれど、何かないかということで阿久比の地域の人たちが入れるような、外からも入れる、パーキングとしても使い道ができるというような施設のことは入れてほしいという要望では出しました。そうしましたら大府と阿久比にパーキングを造ると。それで前田建設グループが言ったのは、知多の種と言いますかね、そういうようなかたちで要所においてそれを造って地域の活性化を行うということが採用された条件としてあったということは聞いています。ただ、やってみて思ったのは民間と公との動きは、公ほど動きのスピードが遅いと言われておりましたが、それ以上に今回のコンセッションの場合は非常に民間の動きが緩慢だというふうに私は思いました。その間、阿久比町としてもじっとしていたわけではなくて、愛知県にも通いまして、そこで方法として取ったのは愛知県から職員を1人派遣してもらう。建設部から派遣してもらうということを強引にお願いし、今1人の県の職員を、阿久比町へ常駐させまして、阿久比町の職員としてこの問題に取り組んでいます。それから先ほども言いましたが、阿久比町にとってはどうなんだということは、これは千載一隅のチャンスだと私は捉えております。それは阿久比町だけではなくて、知多半島の観光の発信の場所として少なくとも空港に来る人にとってというか、そのお客を考えた時には空港へ行くあそこの分岐から大高の間の上り線でどこかにこういうものを造らなければならないと。そういう中でそれが阿久比町に矢が当たった。このチャンスは逃さずにやることによってまた波及してくる部分というのが必ずあると思います。そのためには阿久比町としてはそこへの接続道路の問題だとか、そこへの都市計画における土地利用の問題だとかも出てきます。将来に渡ってのいろいろなかたちで出てくるひとつの種として大きな、ここで種を持っていくことができたものですから、なんとかこれを成功させたいとは思っております。町がお金を出せばやれる事業ではありませんので、町は殆どお金を出しません。民間が全部やっていく事業です。だから例えば土地改良をやったときは、町がかなりの予算を投入し、計画から始めて設計からすべてに対してお金を使っていましたが、今回は民間がそのところはやっていきますのでそのあたりが、例えばそれができる許可権限が県にあるのか国にあるのか少なくとも町にはないと思いますので、そういうふうなかたちのことを絶えずアンテナを上げて、それと同時に地域の活性化というこのことを県にも国にも申し上げているということです。ですから最後にお話しをしたかったのは、今回町村会の会長に就任しましたが、これはある意味そういう大きな事業を抱えていることに対して、情報を頻繁に入れやすくするということを、また東京へ行ったときに国交省に寄って来ることができるものですから、そういうかたちで地元にはなかなか椅子に座っていることができないかも知れませんが、違う面で阿久比町のために働かせていただく、覚悟を持って今回は受けさせていただいたということです。今から農家の方にご理解をいただかないとできないことでありますし、またその内容自体がわかっておればもっといろいろお話ができるのですが、先ほど言ったように、中をどういうふうにしていくかという構想などについてはまだ私たちも聞いていない状況ですのでご理解いただきたい。

それから、今度、観光協会の総会ではコンセッションの部長が新しく代わりましたので、その部長さんと呼んで、今の進捗状況などについてもお話を伺うということで、町としてはできる限り町民の方にオープンでお話しができるようなかたちを取ってご理解いただきたいと思っております。（町長）

要望）この前、町長さんに知事さんにアポイントを取ってくれと言いましたら、私にはとてもできませんと言われましたけど、今度は町村会長になられましたので、アポイントのほうをよろしくお願いします。（阿久比）

答）知事さんに関しては県会議員を通していただくことがルールになっています。（町長）

5. 閉会あいさつ

今日は未来づくり懇談会に熱心に参加いただきましてありがとうございます。お疲れ様でございました。今回は学校と地域との繋がりについてのテーマで懇談会を実施させていただきました。このテーマにつきましては身近で大変大事な内容であると思います。これからも皆さんと一緒に頑張ってまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。それでは時間となりましたのでありがとうございました。（副町長）

平成30年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月24日（木）午後7時～午後8時46分
□会 場	大古根公民館
□参加者	町側10人、地区側24人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ（他公務のため順番変更）

同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

報告）新聞で発表されましたので、皆さんにご報告とお願いをさせていただきます。町村長でつくっている愛知県町村会というものがございまして、その会長であった幸田町の町長さんがお亡くなりになり、次の会長を理事会で決めることとなったのですが、皆さま方からご推挙いただき、阿久比町長が行うということで、私が町村会長に就任いたしました。そうしますと、今度は全国の方の役職も回ってくると思いますが、それも受けるということになります。命がけとは言いませんが、本当に体力勝負になってくるぐらいの過密の移動も出てきますので、皆さん方とこうしてお会いする時間調整をする上において、1年の計画は作っておりますが、例えば日にちを変えていただくとか、出られない時は副町長さんに出ていただくとか、職員にも助けていただきながら、何とか阿久比町が恥をかかないように職責を果たしていきたいと思っております。町民の皆さま方もご理解いただき、最近顔を見ないと言われるかもしれませんが、違うところで一生懸命働いているということで、ご理解をいただきたいと思っております。その代わり国、県とのパイプは必ずや太いものとして、そちらからの情報をいち早く職員に伝えて、他の市町よりも先に、ちょっと先に手を打つということが、これが大きく今からの行政には必要かと思っておりますので、そういう仕事を兼ねて頑張ってきますので、ご理解いただきたいと思っております。

3. 懇談会テーマと質問事項等についての主旨要約

「学校と地域とのつながりについて」（配布資料に基づき教育部長説明）

内容は同趣旨のため省略（5月8日（火）宮津公民館参照）

（学校と地域とのつながりについて地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

問い掛け）この中で見守り隊に参加されている方はお見えになりますか。（教育部長）

答）これだけの人数の中で1人というのは、やはり最初に町民憲章の中にボランティアでいろいろな活動をしていこうと言っている割には少ないのかなという気がします。私は南部小学校の見守りとか図書の読み聞かせとか学校によくお邪魔させてもらっています。やはり、みんなが関心を持ってやっていることは、子どもたちは反応がとても良い。私は、

自慢ではないですが、前田川の橋のところで毎朝登校時に立っていますが、車で行く人だろうが、自転車だろうが、子どもだろうが、誰にでもこちらから大きな声で「おはようございます」と自動車の人は聞こえないかも知れないけれどやってきました。その中で、中学3年生になる親子が中部保育園の時代から、毎日毎日、通るたびに顔をあわせるたびに、大きな声で「おはようございます」とあいさつしていました。最初は親御さんも子どもも全然知らん顔でした。でも、中学校に行くようになってから、やっとお母さんもニコッと「おはようございます」と返事をしてくれるようになりました。今は、アピタで会っても子どもが「〇〇じい」と言ってくれるようになってきました。だからそういう意味でいくと、少し時間がかかるかもしれないけれど、根気よく続けていくことや多くの皆さん方が関心を持っていただくことが必要なのかなという気がして、高岡の人たちにも堤防のところで、ちょっとだけ、誰かが見てるよ見守ってるよという雰囲気が出てくれば、防犯にも役立ちます。そういう気がして毎朝、子どもたちと元気にあいさつをさせていただいております。（高岡）

答）ありがとうございます。やはりそういったことが、また地道にやることが大切だと思います。今日ここにお見えになる方々も、また声をかけていただいて、子どもの見守り活動に協力いただけたらと思います。（教育部長）

（資料「平成30年度 各学校行事予定」について説明）（教育部長）

こちらは、今年度の各学校の行事で、ボランティアさんの協力を得てもらっている主な行事を一覧表に作ってみました。4月の入学式から3月の卒業式の間に学校では、ボランティアさんに協力していただいているいろいろな行事を行っております。この表の下の方を見ていただくと、土曜学習があります。それぞれの学校で土曜日、月に1回午前中程度ですが、それぞれの学校で行っております。南部小学校では「NGK（南部学習キッズ）」という名称で土曜学習を行っております。こちらは地域のボランティア講師だとか学生ボランティアが、土曜日の午前中に子どもの宿題だとか勉強のわからないところを教えてもらっています。毎週水曜日の朝に、子どもたちに読み聞かせをやっていただいている、なんブックさんもみえます。またぜひ皆さんもこういった活動に参加していただけたら、ありがたいと思っております。この南部学区では昭和59年3月に南部コミュニティが設立されまして、この南部コミュニティは地域の住民が自主的な話し合いをする中で新しい地域的意識を育て、住みよい地域づくりの推進を目指して活動を行うこととなっております。南部コミュニティでは総務企画部、環境防災部、文化体育部、青少年部の4つの部会と阿久比・棕岡・矢口・高岡・植・大古根の6つの大字の支部において、地域の絆を深めるような活動が毎年行われています。主なものでは11月に南部ふれあいウォークや1月に凧揚げ大会など、親子が一緒に楽しめる活動を行っているということでもあります。先日も南部コミュニティの総会に行きましたが、そこでの話で、2020年に南部小学校が100周年を迎えるということになります。学校地域が一体となってこの100周年をお祝いしたいという話が総会の中でありました。この表の一番下の真ん中に、町一斉あいさつ運動を載せさせていただきました。阿久比町としましては6月と11月に町内すべ

ての幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、役場、PTAなどの皆さんで阿久比町一斉のあいさつ運動を行っております。またこの活動にも皆さん参加していただけたらと思います。あいさつは人と人とのコミュニケーションの第一歩だと思いますので、こういう活動を更に進めていきたいと思っています。また、阿久比町では11月2日を阿久比教育の日と定めております。この11月2日は先ほど町民憲章を唱和しましたが、この町民憲章ができた日が平成15年11月2日ということで、この11月2日を阿久比教育の日ということにしております。学校ではこの前後一週間を、あぐい教育週間ということで学校公開などを行っておりますので、学校の方にも足を運んでいただいたり、地区の祭礼、夏祭り、盆踊りが子どもたちと地域とのふれあう機会ということで考えています。PRになるのですが、中学校の欄を見ていただくと、阿久比中学校ではボランティア活動ということで、毎月駅前清掃ボランティア、俗に子どもたちの間では朝ボラと言っておりますが、これを毎月行っております。生徒同士で声を掛け合って雨の日も風の日も毎月1回、阿久比町の玄関である阿久比駅をきれいにしようという気持ちで清掃活動を行っております。また、矢勝川でも毎年ヒガンバナの球根植えを中学生もボランティアで参加しています。昨年の6月4日には292人の阿久比中学校の生徒が参加させていただきました。それと中学校では毎年2月に卒業を控えた3年生が自分の卒園した保育園、幼稚園へ行って園児と触れあったり、園の清掃活動も中学校では行っております。こういったことで学校と地域が繋がるような活動を進め、阿久比の子どもたちが健全に育っていくと良い町になるのではないかと考えております。少し紹介ですが、今年度の住民税1%町民予算枠制度のわくわくアイデア事業で、先ほども言いましたが、阿久比町統一見守り隊のベストを作ります。それとこの1%事業を使いまして、小学校5、6年生を対象にした夏休みのみんなの科学教室を行います。これは発明クラブという団体や会社のOBの方がやっていただけることになっております。それと、わくわくコラボ事業では毎年「あるある巡回講座」ということで、夏休みに子どもたちにそば打ちや絵手紙などを教えてくれる事業もあります。昨日と一昨日で終わってしまいましたが、「音楽だーいすき」という事業も1%でやっておりまして、こちらの方は小学校の体育館に、プロの音楽家に来ていただいて生の演奏を子どもたちと一緒に地域の方も参加してやっております。企業の方では株式会社デンソーが「デンソーサイエンススクール」ということで、毎年小学校の5年生を対象に科学の授業をボランティアでやっていただいております。また、シルバー人材センターでは、「夏休み宿題教室」として、高齢者の方が夏休みに、習字や絵の宿題のお手伝いをしてくれる活動も行っています。こういった形で学校と地域が力を合わせて子どもたちを伸ばしていくことが、これからは続いていけたらと考えております。地域の方の支援により子どもたちがすくすくと成長し、阿久比町の目指す生徒像に近づいていけるように皆さんの協力をお願いしたいと思います。時間がきましたので私の説明を終わらせていただきます。ありがとうございます。

教育長からあいさつ

私の方から1つだけお礼を申し上げさせていただきます。日頃はいろいろなかたちで学校へ地域の方が関わっていただいて、子どもが家庭で生を受け、そして社会の入り口として学び、また学校で社会性を身に付ける段階の中で、地域が受け皿のような中で下支えをし

ていただいています。またいろいろなことで学校と関わっていただくことや、地区の祭礼などでいろいろな学びを作っていただくことで、子どもたちは成長し、地域の方が日ごろから動いていただいていることに心から感謝しております。引き続き、いろいろなかたちでできる協力をしていただけるとありがたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 小学生の数について、先日懇談会などで話がありまして、東部小学校の数には驚きました。全体的に児童の数が増えていて学校のほうも、東部小学校は私が知っている限りでは1学年に1クラスしかない小さな学校だという記憶でした。運動場もプールを作るため入口の近くにあった家の方に引っ越してもらってプールを作るという状況の中で、1年生が5クラスある、他の学校に比べても十分すぎるほど大きくなっているのに、非常に苦労されているのではないかと思います。しかもこれが、ずっと続くわけではなくて、また人数が減ってくるところを考慮しないと、なかなか投資の仕方が難しい。非常に苦労していることがあったり、紹介したいことがあれば教えていただきたい。(大古根)

答) 確かに東部小学校の問題が教育委員会でも重要な問題だと思っております。当初、陽なたの丘が出来たころ、子どもたちをどうするかということで、今の東部小学校に通わせるのか、英比小学校に分けるのかという議論は、その当時、まずされたと聞いております。ただ大字の地区が、学校が分かれることによって、子供会やPTAなどの組織が2分されるということはあまりよくないということで、今まで東部小学校でなんとかというかたちで現在まで来ております。ただ、こちらの方もいろいろとシミュレーションする中で、3年前に東部小学校の12クラスを増築して、これで何とか乗り切れるだろうと3年前は考えて教室を作ってきました。ただ、それ以上に住宅の急激な、名鉄さんの販売がありまして、先ほども1学年400人の学年が出来るといいましたが、その内の200人が東部小学校の児童で、再来年に学校に上がる年代になります。今でさえ東部小学校の数の多さで学校の方も苦労されていますし、子どもが増えることによって先生も増えますし、運動場も限られた運動場で子どもが増えますので、去年の運動会も、保護者席はない状態で、立ち見のような状態で実施しました。体育館のほうでも、先日の「音楽だーいすき」のコンサートがあったんですが、保護者の方は後ろのほうに2列ほど座席があったぐらいで、それ以外は子どもで埋まってしまう状態だと聞いております。ただ、今まで東部小学校で何とかしたいとやってきて、地域や保護者の方にも東部小学校でという話できているので、そこで急に英比小学校に分けるというのは、非常に住民の方の理解を得るのは難しいところがあると思っております。ただ、何もやらないわけにはいきませんので、教育委員会として他に方法はないかということで、当然足りなくなる分については、さらに増築ということも考えていかないといけないですし、ひとつの方法としては学校を選択する選択性という方法もないわけではありません。ただ選択性を導入した場合に、今通っている子どもたちと新しい1年生の子どもたちが、隣同士が隣の子は東部に通っているけど、私は英比

に通うということが実際あり得るのかどうか、そういったことは一度住民アンケートか何かをして、英比小も選択できますよと皆さんに問いかけて、それも1つの手段かなと思っています。ただ今の流れでいくと、あくまでも東部小学校で陽なたの丘はやっていこうとすると、足りなくなる部屋数は増築などしてやっていかなければいけない。先ほども言いましたが、区長さんからもお話がありましたが、これは一時的なものになります。東部小学校の子どもが多い時期は、1学年200人いる年は再来年の1年生になります。その先がどうかというと、かなり急激に減っていきます。陽なたの丘が売れつくしていますので、そこで子どもさんが2人3人という家庭があったとしても、今までみたいに、どんどん外から入ってくることはありませんので、子どもの数は必然的にピークを超えると、東部小学校は2、3年過ぎると3分の2ぐらいの児童数に減少することは分かっております。だから、校舎を建てたからといって、その校舎の利用価値はせいぜい5年から長くても10年ぐらいかなと思います。その校舎を造るために多額の費用がかかるため、直近の課題ではありますが、どうしたらいいか教育委員会では検討中ですので、よろしくお願いします。（教育部長）

答）このような状態になったというのは、1つには国の政策が消費税を上げるのを先延ばしにしたこと。名鉄さんとも話をしましたが、私は売るのをブレーキかけてくれと頼みました。インフラ整備のスピードと名鉄さんが売るスピードが乖離してしまうと問題が生じてくるので、合わせながらと要望しました。消費税がここで上がりますよと決めておきながら、政府がかわったり、いろいろなことで先延ばしになって、消費税が上がる前に売ってしまうという考え方で、ブレーキどころか逆にアクセルを踏んでしまったような形になってしまい、またそれが売れてしまった。これで消費税が上がるとなると、上がってからはおそらく住宅も少し冷え込むと、もう少し前に冷え込む予定だったんですけれども。東部小学校へ学区割をせずに学校を造りましょうと、お金がかかっても仕方ないと決断して、1学年に2つで12教室造ることは1つの小学校を造ると同じなんです。だからそれだけあれば教育長とも話して何とかなるだろうと。ところがそれ以上の動きになってしまって、職員室も先生が入れないような状況がきてしまっているような状況下にはあります。このことは教育委員会も一生懸命考えている最中ですので、先ほど言ったのは、こういう手法もあります、こういう手法もありますとレクチャーしただけで、阿久比町はこれで行きましようとはまだなっておりません。もう少し時間をかけて考えていかなければいけないと思っています。（町長）

質問）半田市民病院が岩滑新田の南側の今、市場があるところに建てるのが、県が入ることによって決定したと聞いております。乙川の一ノ草病院を西に下りて、阿久比川で止まっている。そして、植大の南側になりますが、新美南吉記念館の辺りで道路が止まっていると。そのことで、最近中日新聞に記事が載っていて 私は詳しくは見なかったんですが、私が聞きたいことは、市民病院がいつ移転してくるか。道路はそれと共に、亀崎の人や乙川の人が遠くなってしまうことがあって、早く阿久比町として道路を県に要望する絶好のタイミングがやってきたと、一般の住民は思っていると思うので。その辺りをせっかく未来づくり懇談会ですので、それが遠い将来のことなのか、私が死んでからのことなの

か、あるいは近い将来にその道路もできて、市民病院もできることは非常に関心の高いことではないかと思っています。その辺りの町長のやる気と、県への絶好の機会なのに、機会を逃すことが無いように。先ほど東京へ行く機会が増えたと言っていましたが、ぜひ名古屋の方にも通っていただいて、愛知県をなんとか、県道にも阿久比が一部入ってということで、いつ出来るのかということを知りたい。（植）

答）言われているのは環状線、町では環状線と言っていますが、これは去年も話が出ました。町議会の一般質問の方でも何度も質問として出ている問題であります。町としましては、早く造ってほしいということで、何度も何度も毎年県の方には要望させていただいております。ただ、それがいつごろできるのか、町の立場としては言えないと考えております。やはり1番の問題は、線路をどうやって越してくるのかということところが1番難しいことだと思ひまして、県の方もそれを検討している段階でありますので、今ここで、未来づくりということなんですが、そのことは回答をご容赦いただきたいと思います。（建設経済部長）

答）これは先日、中日新聞の方から取材を受けておひまして、それでも私が述べているところでありまして、町でも進める、進めてもらいたいと県へ要望はしていきますが、それと同時にこれは良いチャンス、明るいニュースだと思ひております。これにつきましては、半田市長さんとも話を進めていくべく、話し合いをすることになっておりますし、半田さんの方から、武豊町さんもおひしておりますので、武豊と阿久比と半田で要望活動を進めていこうという話は先日もしたところであります。ですからマイナス要因ではなくて、これは明らかにプラス要因として働いていく、県としても今まで以上に重要路線と考えていただけると思ひますので、ご期待していただきたいと思います。（町長）

要望）それに関連して、数年前に植地区のある方が県に要望書を出した。矢勝川に石橋というか橋を造ってくれという要望があつて、その時漏れ聞いたところによりますと、橋1本造るのに、この規模だったらだいたい2,000万円ぐらいでできるよと聞いておひしましたが、県の方には2,000万円という予算はないのでとても無理ですという話でした。実際に橋は、通常の橋ではなくて石橋という形で橋を造っていただいて、その総工費が1億数千万円、1億2,000万円より工事屋いわく予算は上がってしまったなと聞いておひしますので、2,000万円の橋ができなくて何で1億数千万円の橋はできるのか。それが国の、日本の不思議みたいなことで、高ければ出来てしまうのかということでもあります。何が言いたいかというと、県は予算が無いと言われるだろうと、ところが、国が乗り出してくるとそういう橋も出来てしまうということだろうと思ひますので、県はそこまでの予算が無いのかも知れませんが、数年で石橋ができしまったと。過去にもこういう実績がありますので、ぜひ道路の推進を町としてもお願いしたい。（植）

質問）いつもと同じように、参加した方からの言う時間が少なくて、今日も自分なりに発言したい内容をまとめてきたんですけども、それはちょっと置いておいて、お金のことでお尋ねしたいと思います。平成30年度の予算の中で、歳入で町債が4億8,420万円、

そして歳出の方で公債費が6億8,514万円ですか。この比較だけで見ると2億ほどまだ返済がされていかないということになるんですが、この関連で5月15日に町広報の1ページの下の方に、町のいわゆる借金ですね、129億8,000万円という内容が書かれています。このお金のやり取りというのは、いつになったらよりゼロに近づいていくのか。町の未来を考えるのであれば、考えを教えてください。（高岡）

答）突然で数字の細かいところを質問されても難しい部分があるのですが、分かる範囲で簡単に説明させていただきますと、歳入の町債というのは今年度お金を借り入れる金額、借金する金額です。それに対して歳出の公債費は過去に借りたお金を返済していくその金額です。そこが、今言われる2億円ほど差があるといわれるものは、過去のものを随時返しているということです。（総務部長）

質問）そのレベルでいくと5月15日の町広報に書いてある町債現在高129億8,665万円とは、いつになったらゼロになるんですか。（高岡）

答）当然返済の計画は出来ております。今言われる129億円は全体の数字です。今、言われている金額は特別会計、下水道とか上水道とかすべてのものを加えた金額です。すべて借金というのは、長いもので30年。30年償還ということで借りていまして、今の状況ですと、すべてその期限にはお返しできる計画で、健全財政になっておりますので、今のところご心配いただかなくても何とかなると考えております。（総務部長）

質問）そこで私が聞きたいのは、130億のお金を借りているということは、利息を払っていくということですよ。それで毎年一般会計に負担が掛かるわけですよ。（高岡）

答）一般会計ですと90億ですが、その90億に対する利息は一般会計に掛かります。（総務部長）

質問）だから、そういうものの負担が掛からなくて済むように、借金の残額が無くなるのはいつですかということを聞きたい。（高岡）

答）借金が良いか悪いかということは、なかなか難しい部分があります。この町債というのは、すべて借りて利息を付けて、すべて町が返済するというものばかりではなくて、借りた借金に対して交付税というものが、そのところを考慮して交付税を増やしていただける制度もあります。例えば1,000万円借りて利息をつけて1,100万円返すという形が一般的な形ですが、いろいろ率は変わりますが、1,000万円借りて1,100万円返す時に、交付税の方でその半分をみていただける。そういうこともあるので有利な借金をして、運用していくという制度がありますので、なかなか行政の仕組みというものが皆さん難しいと思いますが、町も闇雲になんでも原資が無いからといって借金をするばかりでなくて、そういう長い目で有利な借金の仕方、返済の仕方があります。例えば、常滑市が急遽、新庁舎を建てると新聞にも載っていますが、あちらの方も確か建設費の7割ぐら

い、交付税の緊急防災減災対策債という借金をすると、その借金の7割か8割を交付税で見ますよという、その期限が32年度に完成しないと適応にならないということで、常滑市は建設に向けて猛スピードで取り組んでいる訳です。そういう形の借金もありますので、なかなかご理解いただけないかもしれませんが、なんでもかんでも借金して返済に困るといような阿久比町は財政状況ではございませんので、よろしくお願いします。

質問) 通常われわれがする借金というのは、この中ではどれくらいですか。要するに利息を払って借りているものはどれくらいですか。(高岡)

答) 今突然言われましても、細かい数字はありませんので、またその辺のところは調べておきますのでよろしくお願いします。(総務部長)

答) 庁舎も建てたり、いろいろなものを造ったり、借金もして、それが将来の人や子どもたちに負担がいくのを心配されての質問ですよね。私も説明しろと言われても説明できません。だから、年1回皆さんに発表する、国の制度で決まっている健全化判断比率の指標などが4つか5つありますが、それを皆さんに公表しています。その結果は、町が健全だと思っているだけではなくて、国の制度の数値によって大丈夫ですよと皆さんにお知らせする制度で、数年前から公表させていただいています。皆さんにはご理解をいただかないとちょっと難しいのかと思います。よろしくお願いします。(町長)

5. 閉会あいさつ

本日は熱心に未来づくり懇談会にご参加いただきましてありがとうございます。今回は学校と地域のつながりについてのテーマで進めさせていただきました。今回のテーマは、身近で大事なテーマであると思っております。これからの皆さまとの一緒になって地域づくりに努めてまいりますのでよろしくお願いします。それでは時間になりましたので、これで終了させていただきます。今日はどうもありがとうございました。お帰りは気をつけてください。(副町長)